

第4章 若者意識調査の結果

I. 回答者のプロフィール

1 居住区 [問3]

・居住区

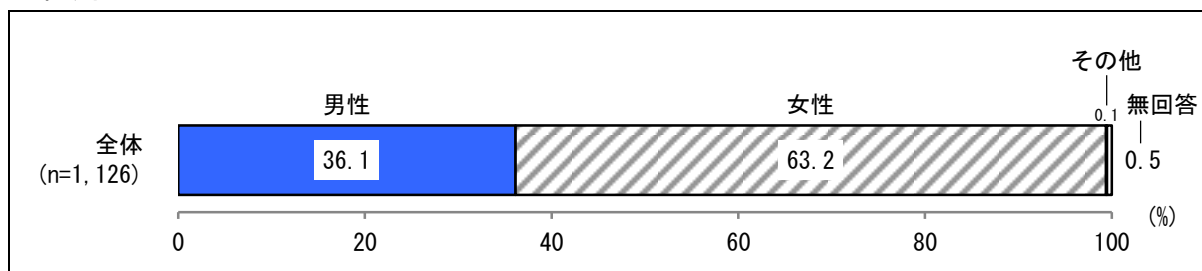
		全体		男性		女性		15～29 歳		30～39 歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
1	北区	77	6.8	26	6.4	51	7.2	33	6.2	41	7.3
2	都島区	58	5.2	25	6.1	33	4.6	25	4.7	32	5.7
3	福島区	40	3.6	13	3.2	27	3.8	15	2.8	24	4.3
4	此花区	23	2.0	8	2.0	15	2.1	9	1.7	13	2.3
5	中央区	42	3.7	11	2.7	31	4.4	16	3.0	23	4.1
6	西区	46	4.1	16	3.9	30	4.2	15	2.8	30	5.3
7	港区	29	2.6	10	2.5	19	2.7	18	3.4	11	2.0
8	大正区	28	2.5	10	2.5	18	2.5	14	2.6	13	2.3
9	天王寺区	30	2.7	12	2.9	18	2.5	16	3.0	13	2.3
10	浪速区	35	3.1	16	3.9	19	2.7	12	2.3	23	4.1
11	西淀川区	29	2.6	16	3.9	13	1.8	12	2.3	16	2.8
12	淀川区	63	5.6	22	5.4	41	5.8	23	4.3	39	6.9
13	東淀川区	82	7.3	32	7.9	50	7.0	46	8.6	36	6.4
14	東成区	39	3.5	10	2.5	29	4.1	23	4.3	14	2.5
15	生野区	40	3.6	13	3.2	27	3.8	24	4.5	15	2.7
16	旭区	37	3.3	7	1.7	30	4.2	20	3.8	17	3.0
17	城東区	83	7.4	29	7.1	54	7.6	40	7.5	43	7.6
18	鶴見区	62	5.5	22	5.4	40	5.6	32	6.0	28	5.0
19	阿倍野区	43	3.8	19	4.7	24	3.4	20	3.8	22	3.9
20	住之江区	36	3.2	15	3.7	21	2.9	19	3.6	17	3.0
21	住吉区	61	5.4	23	5.7	38	5.3	27	5.1	33	5.9
22	東住吉区	50	4.4	20	4.9	30	4.2	28	5.3	22	3.9
23	平野区	70	6.2	26	6.4	43	6.0	37	6.9	30	5.3
24	西成区	15	1.3	5	1.2	10	1.4	8	1.5	7	1.2
	無回答	8	0.7	1	0.2	1	0.1	1	0.2	1	0.2
n(回答者数)/構成比(%)の合計		1,126	100.0	407	100.0	712	100.0	533	100.0	563	100.0

※性別・年齢が未回答を除く

2 性別 [問 1]

■回答者の性別は、「男性」が36.1%、「女性」が63.2%となっている。

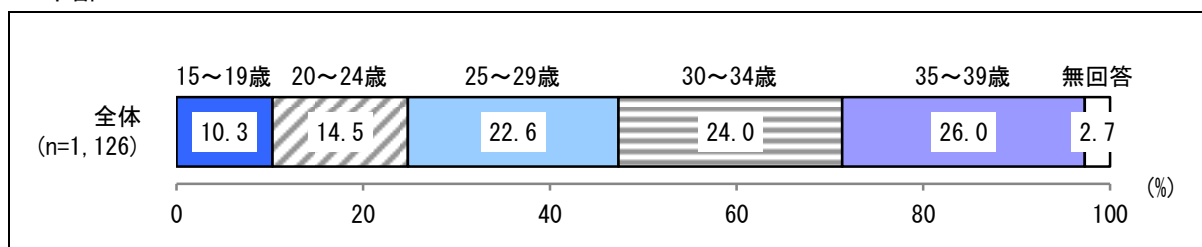
・性別



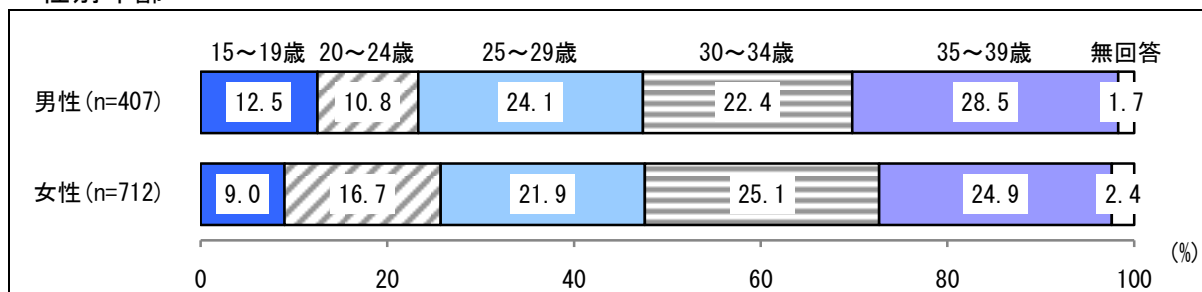
3 年齢 [問 2]

■回答者の年齢は、「35～39歳」が26.0%で最も多く、次いで「30～34歳」が24.0%、「25～29歳」が22.6%となっている。

・年齢



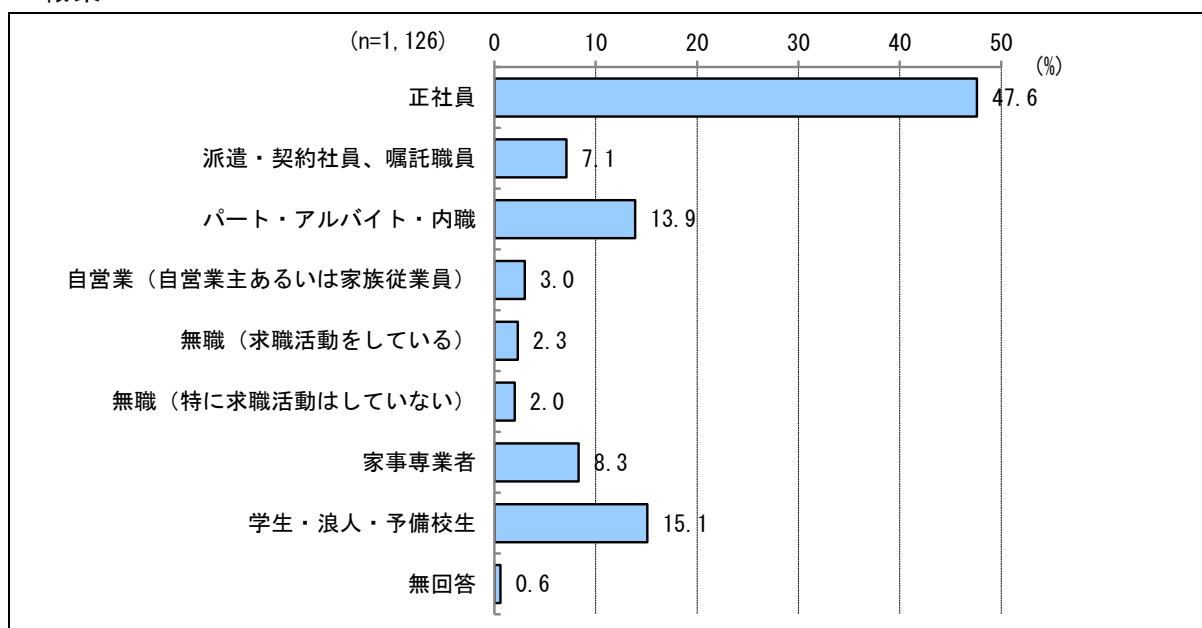
・性別年齢



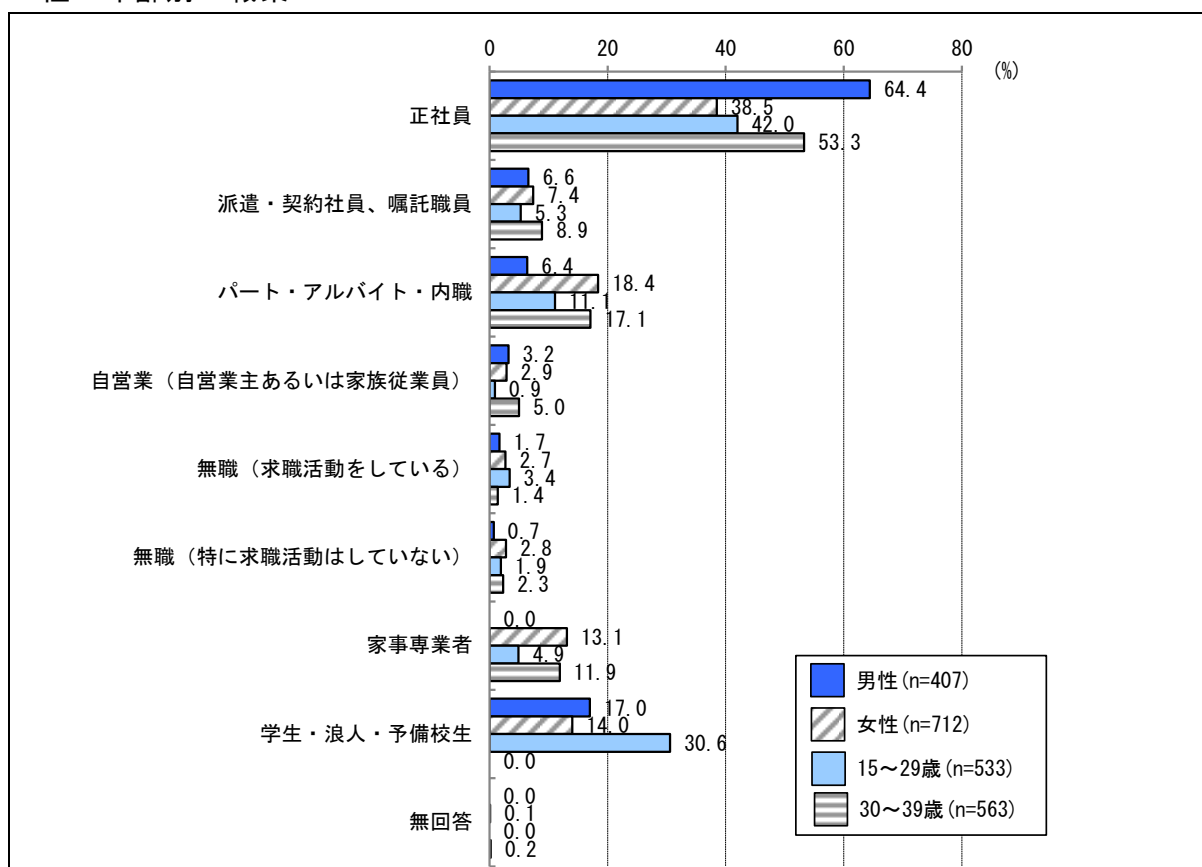
4 職業 [問 4]

- 回答者の職業は、「正社員」が47.6%で最も多く、次いで「学生・浪人・予備校生」が15.1%、「パート・アルバイト・内職」が13.9%となっている。
- 性別でみると、男性は「正社員」が64.4%を占めている。女性も「正社員」が38.5%で最も多く、次いで「パート・アルバイト・内職」が18.4%となっている。
- 年齢別では、15～29歳は「学生・浪人・予備校生」が30.6%で最も多く、30～39歳は「正社員」が53.3%で最も多くなっている。

・ 職業



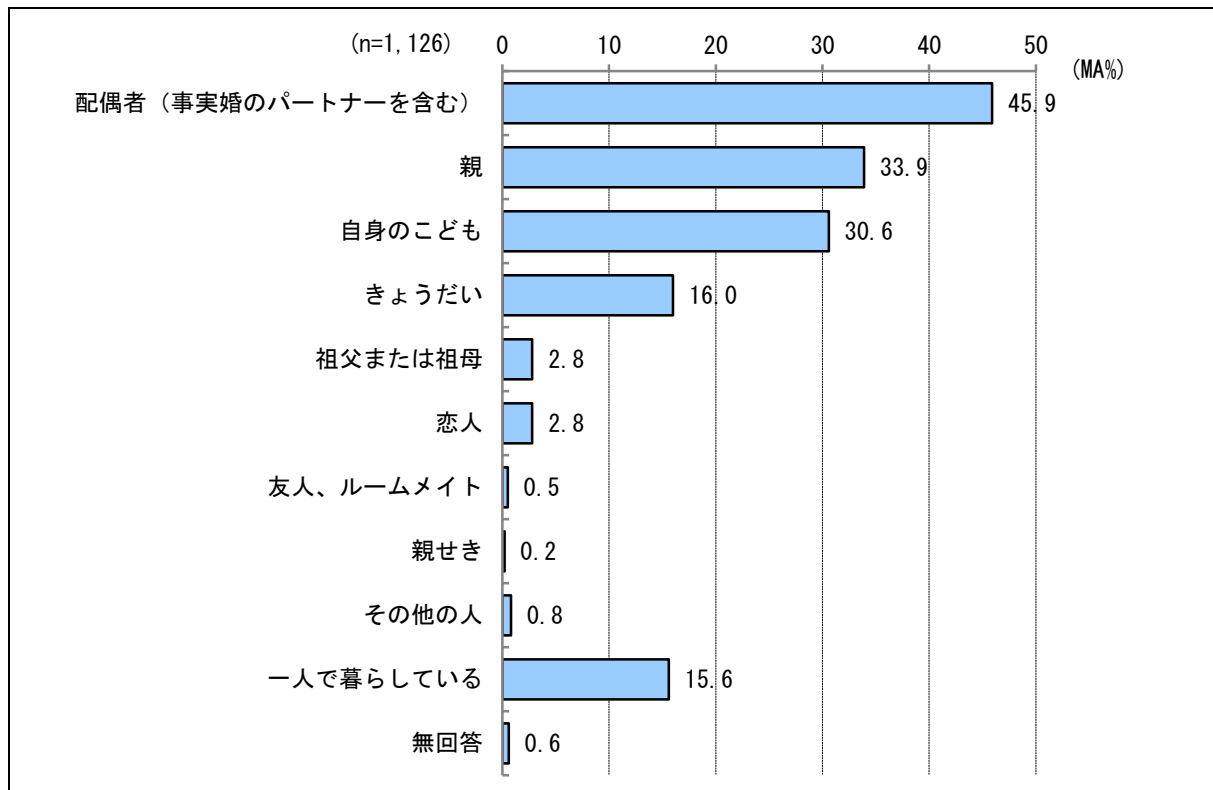
・ 性・年齢別 職業



5 同居者 [問 5]

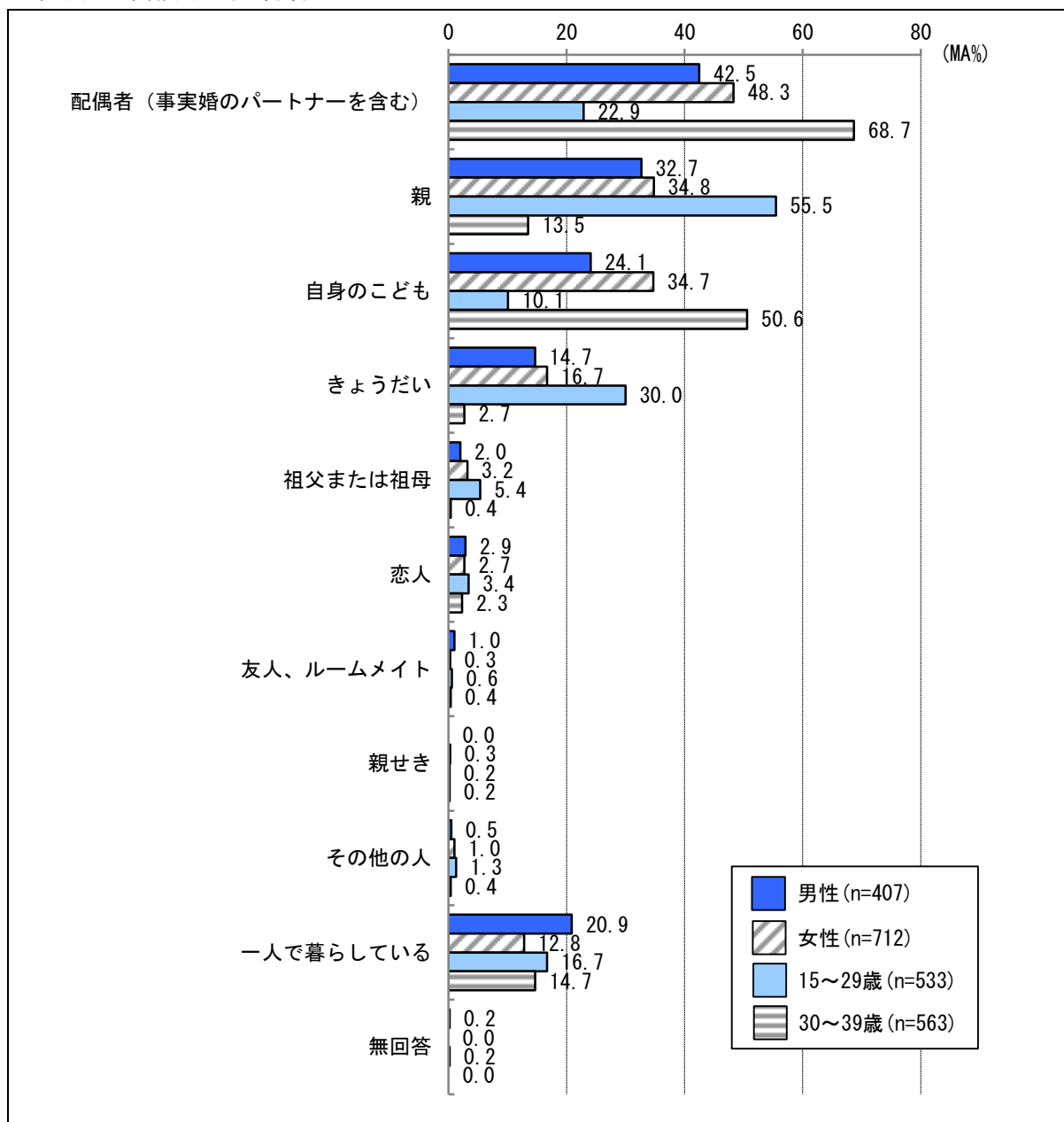
■回答者の同居者は、「配偶者（事実婚のパートナーを含む）」が45.9%で最も多く、次いで「親」が33.9%、「自身のこども」が30.6%となっている。

・同居者



- 性別でみると、男女とも「配偶者（事実婚のパートナーを含む）」が最も多くなっている。
- 年齢別でみると、15～29歳は「親」（55.5％）が最も多く、次いで「きょうだい」（30.0％）となっている。30～39歳は「配偶者（事実婚のパートナーを含む）」（68.7％）が最も多く、次いで「自身のこども」（50.6％）となっている。

・性別・年齢別 同居者



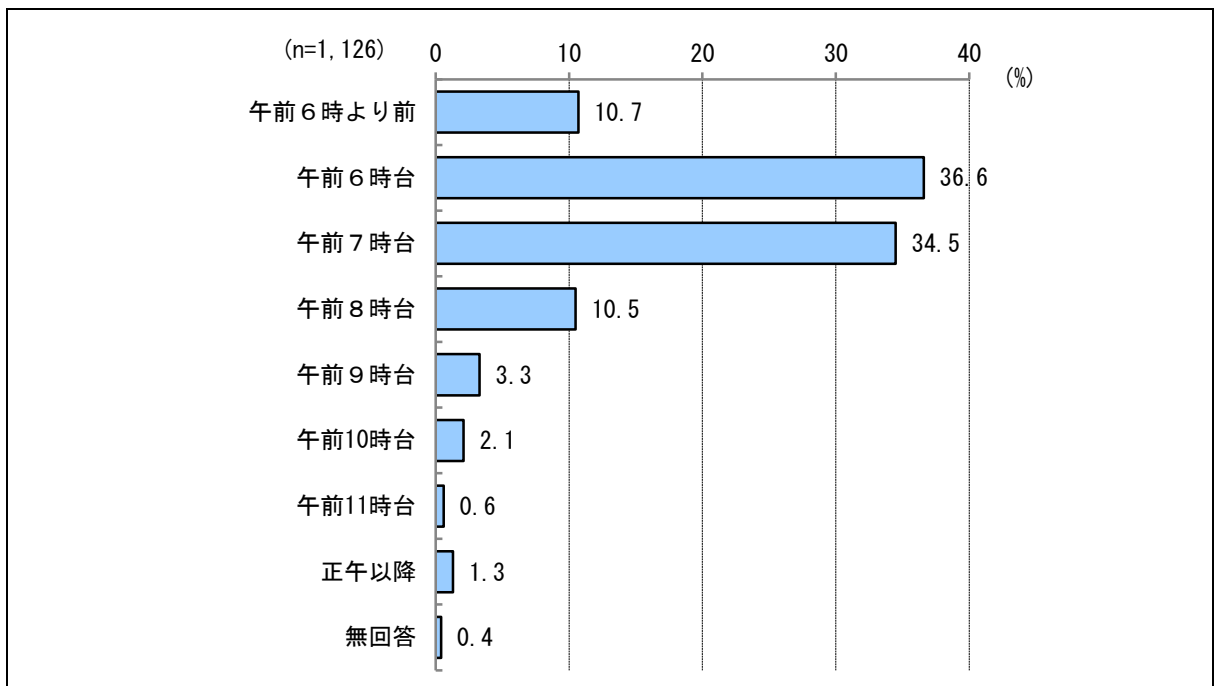
Ⅱ．毎日の生活について

1 起床時間

問6 あなたはふだん（平日）何時ごろ起きますか。（もっとも近い時間の番号に○は1つ）

■ 平日の起床時間は、「午前6時台」が36.6%で最も多く、次いで「午前7時台」が34.5%、「午前6時より前」が10.7%、「午前8時台」が10.5%となっている。

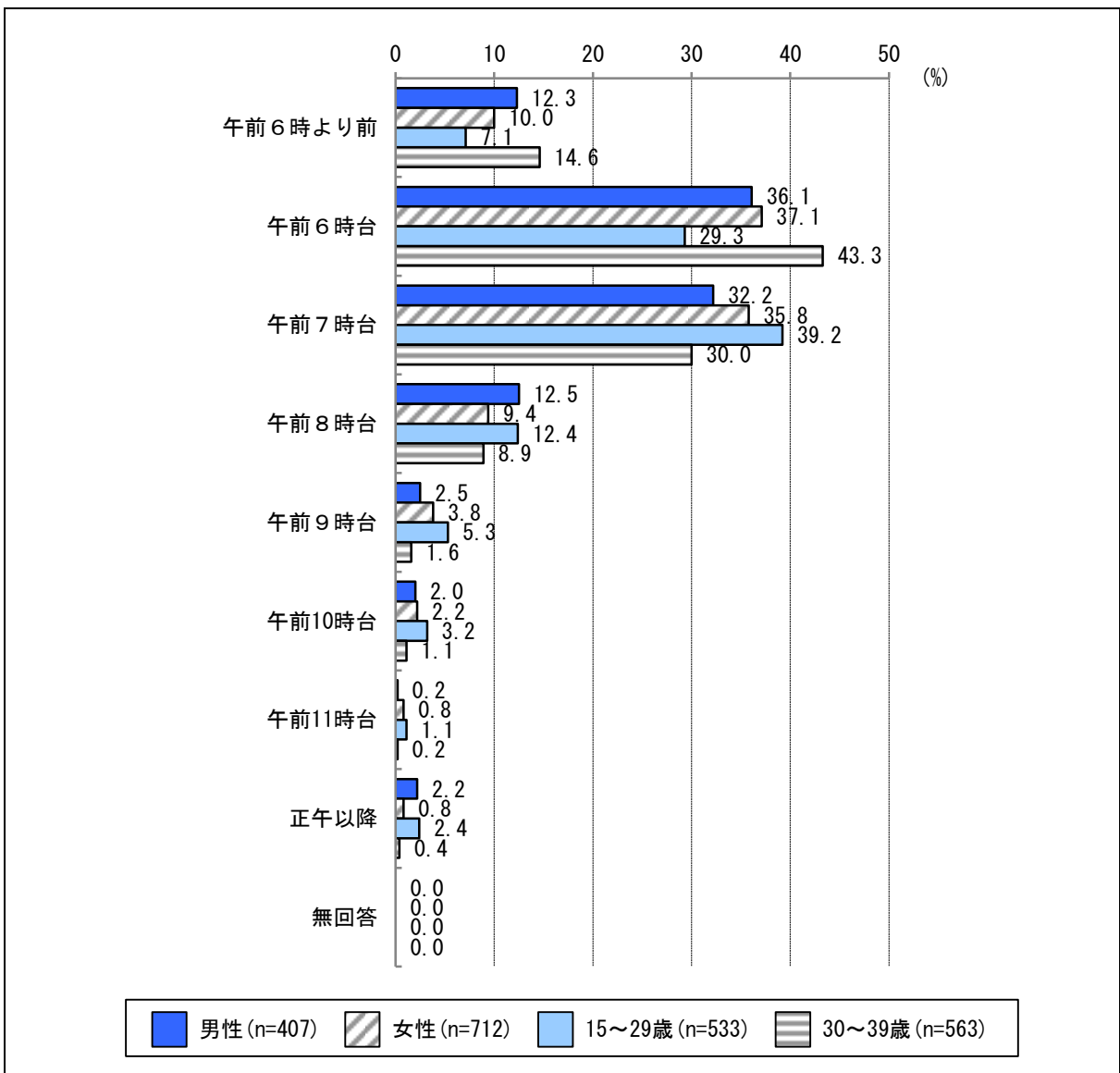
・起床時間



■性別でみると、男女とも「午前6時台」が最も多くなっている。

■年齢別でみると、15～29歳は「午前7時台」（39.2％）が最も多いが、30～39歳は「午前6時台」（43.3％）が最も多くなっている。

・性別・年齢別 起床時間

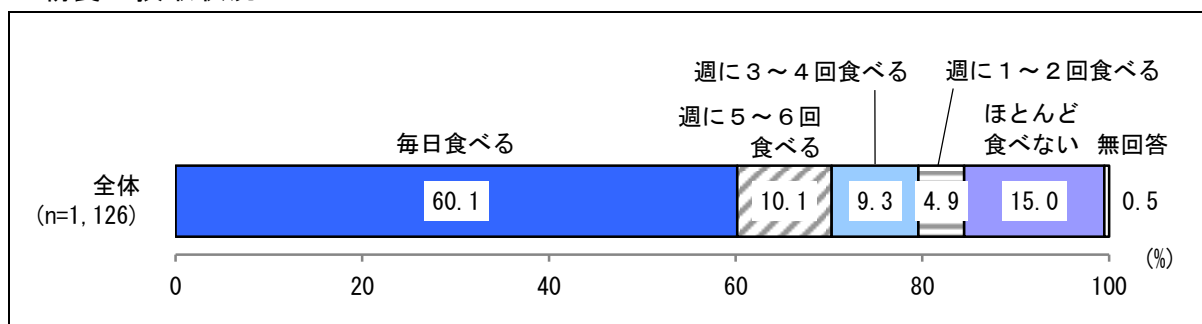


2 朝食の摂取状況

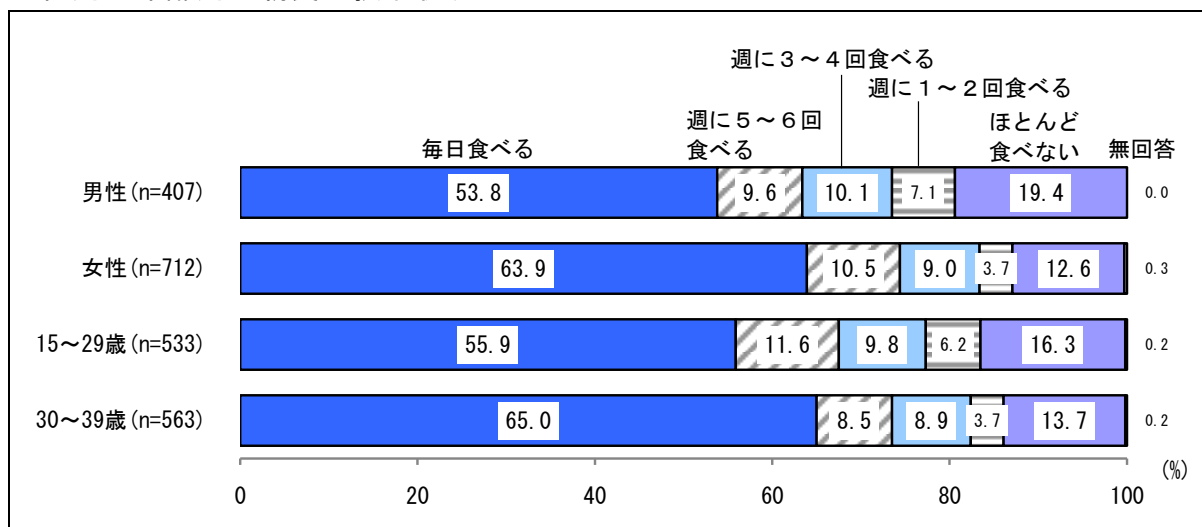
問7 あなたはふだん朝食を食べますか。（○は1つ）

- 朝食の摂取状況は、「毎日食べる」が60.1%で最も多く、次いで「ほとんど食べない」が15.0%、「週に5～6回食べる」が10.1%となっている。
- 性別でみると、「毎日食べる」は男性（53.8%）より女性（63.9%）のほうが10.1ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「毎日食べる」は15～29歳（55.9%）より30～39歳（65.0%）のほうが9.1ポイント高くなっている。

・ 朝食の摂取状況



・ 性別・年齢別 朝食の摂取状況

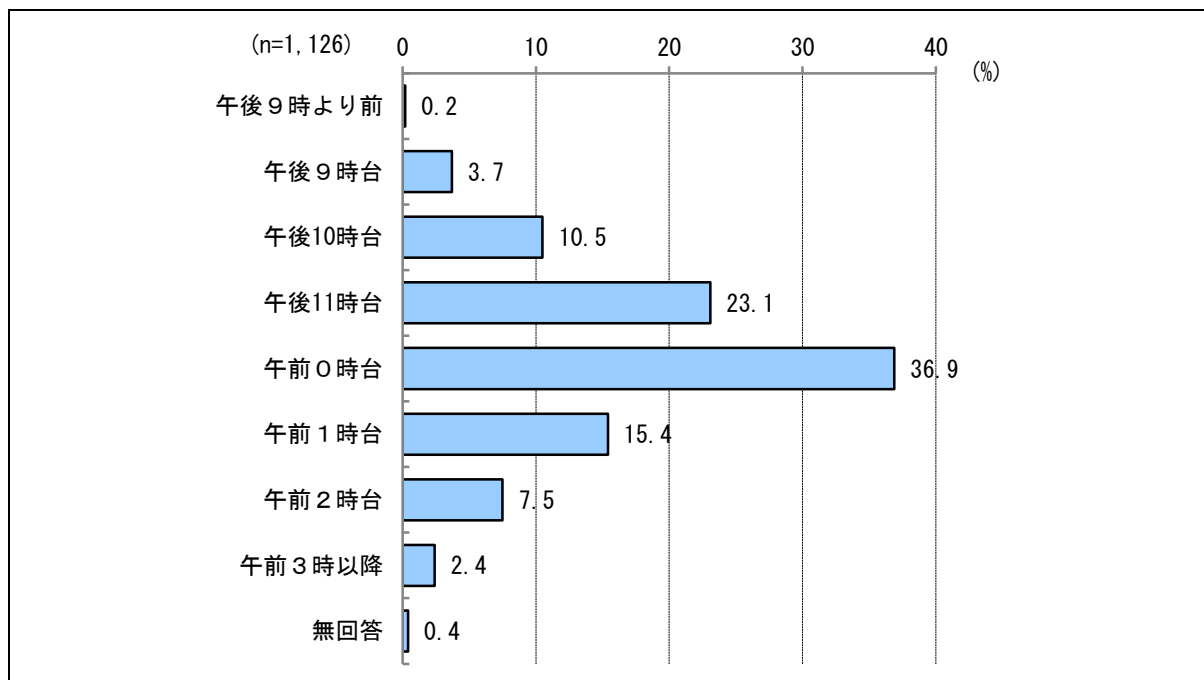


3 就寝時間

問8 あなたはふだん（平日）何時ごろ寝ますか。（もっとも近い時間の番号に○は1つ）

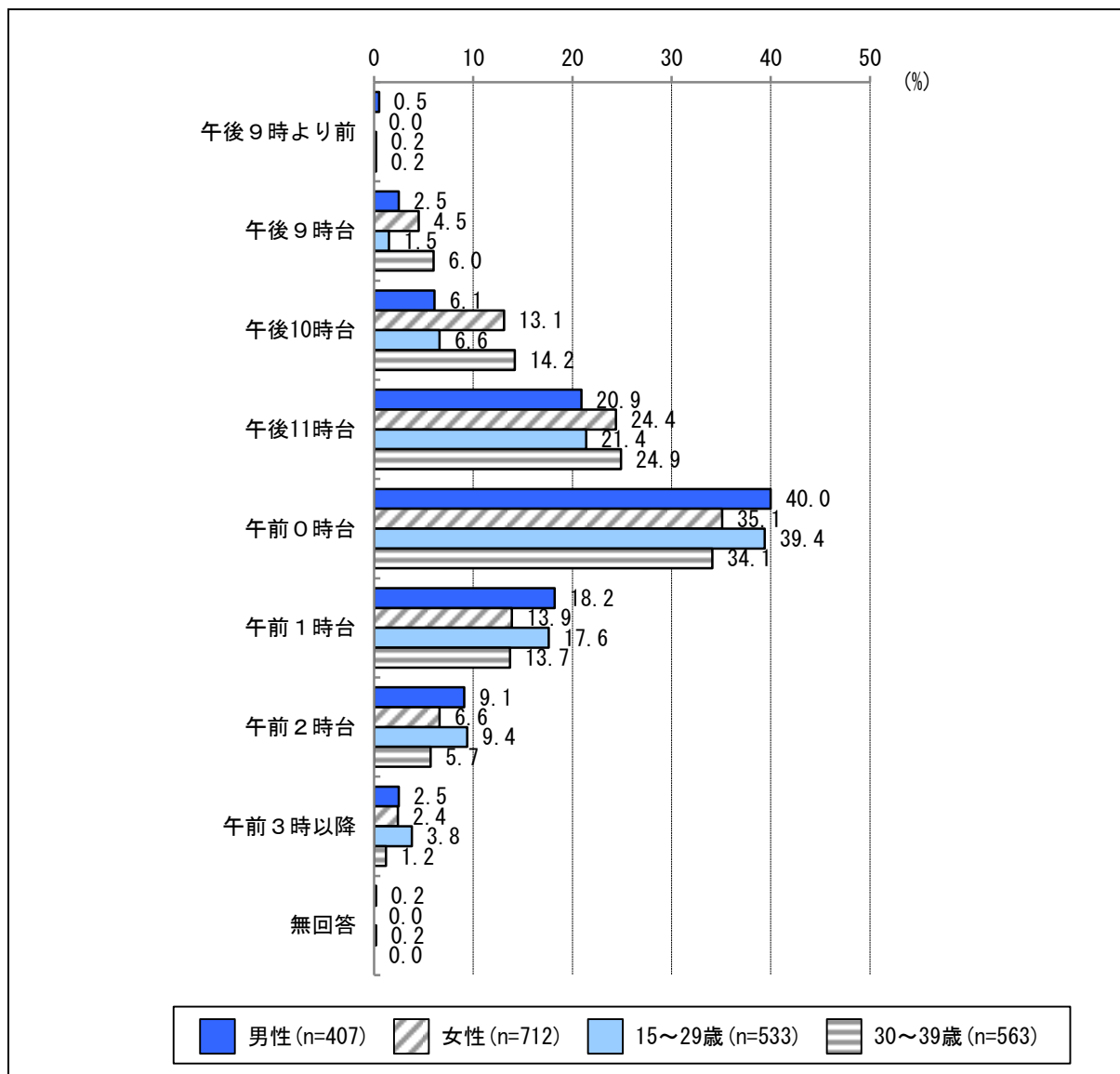
■ 平日の就寝時間は、「午前0時台」が36.9%で最も多く、次いで「午後11時台」が23.1%、「午前1時台」が15.4%となっている。

・ 就寝時間



- 性別でみると、男女とも「午前0時台」が最も多く、午前0時以降はいずれの時間帯も男性のほうの割合が高くなっている。
- 年齢別でも、いずれも「午前0時台」が最も多く、午前0時以降はいずれの時間帯も15～29歳のほうの割合が高くなっている。

・性別・年齢別 就寝時間



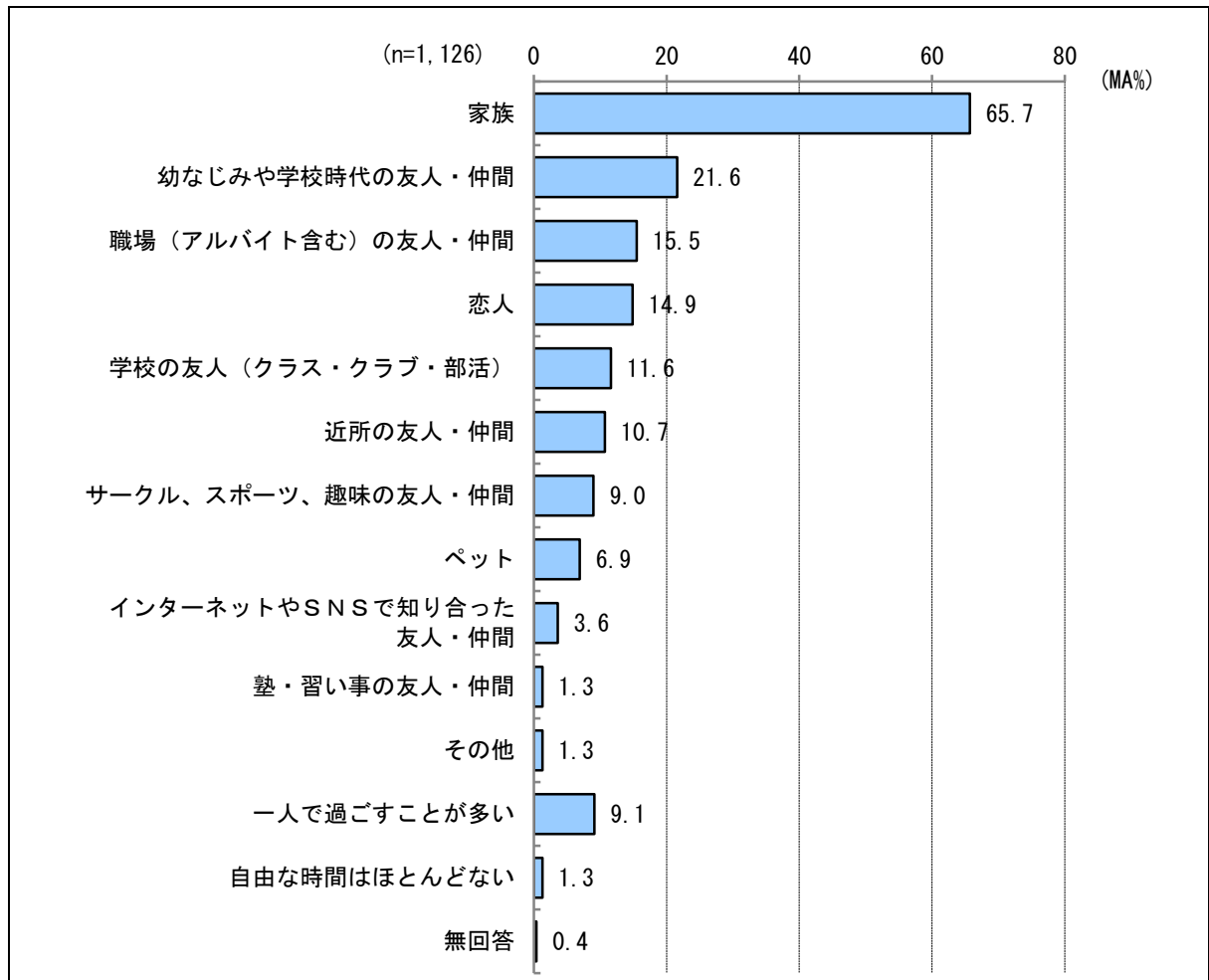
Ⅲ. 余暇活動について

1 自由な時間を一緒に過ごす相手

問9 あなたは、仕事や学校、家事などのほかに自由な時間を過ごす場合に誰といっしょに過ごすことが多いですか。（〇はいくつでも）

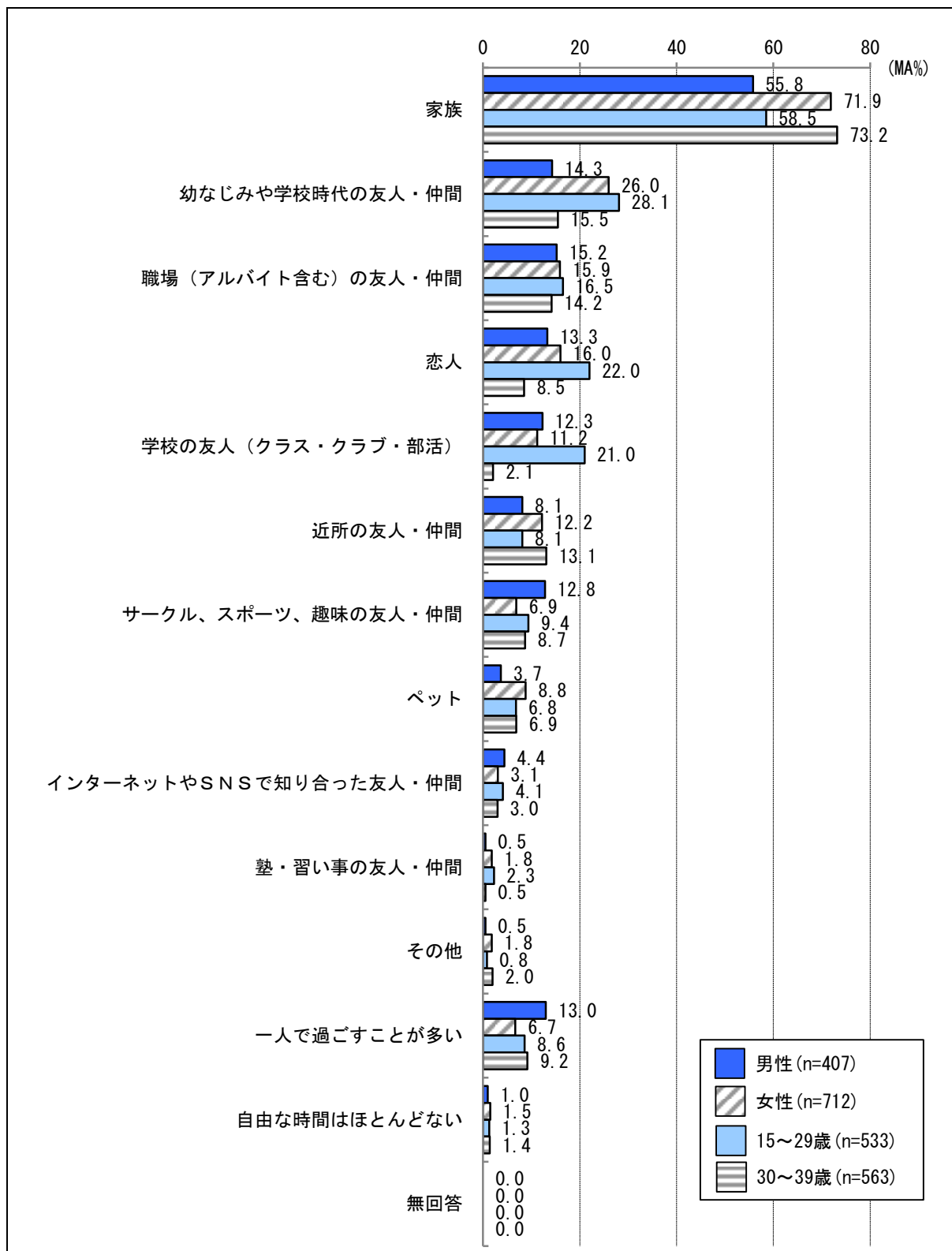
■自由な時間を一緒に過ごす相手については、「家族」が65.7%で最も多く、次いで「幼なじみや学校時代の友人・仲間」が21.6%、「職場（アルバイト含む）の友人・仲間」が15.5%、「恋人」が14.9%となっている。

・自由な時間を一緒に過ごす相手



- 性別でみると、男女とも「家族」が最も多く、男性（55.8%）より女性（71.9%）のほうが16.1ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、いずれの年齢も「家族」が最も多く、15～29歳（58.5%）より30～39歳（73.2%）のほうが14.7ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 自由な時間を一緒に過ごす相手

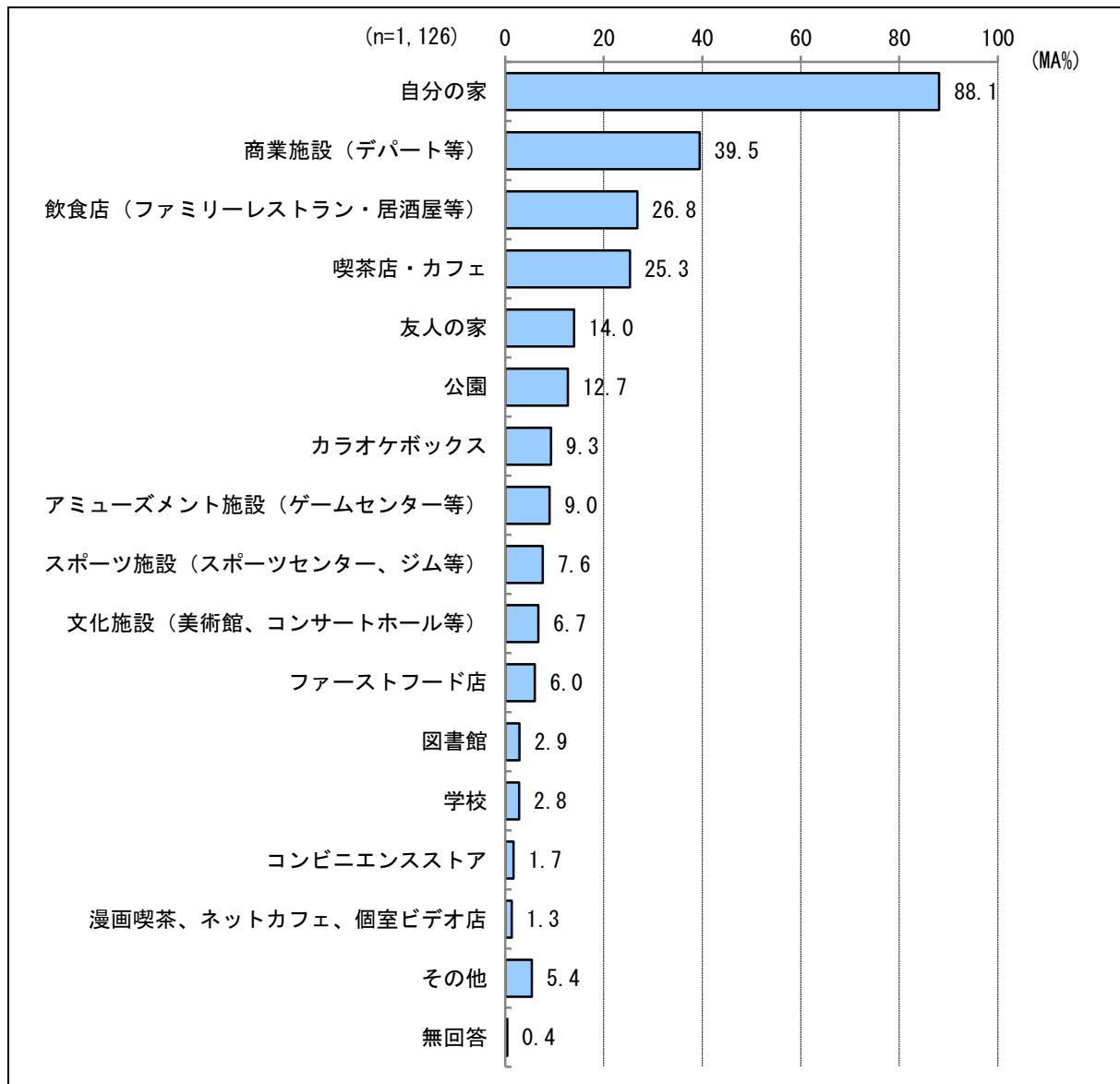


2 自由な時間を過ごす場所

問10 あなたは、仕事や学校、家事などの他に、自由な時間を過ごす場合は、どのような場所で過ごすことが多いですか。（〇はいくつでも）

■自由な時間を過ごす場所については、「自分の家」が88.1%で最も多く、次いで「商業施設（デパート等）」が39.5%、「飲食店（ファミリーレストラン・居酒屋等）」が26.8%となっている。

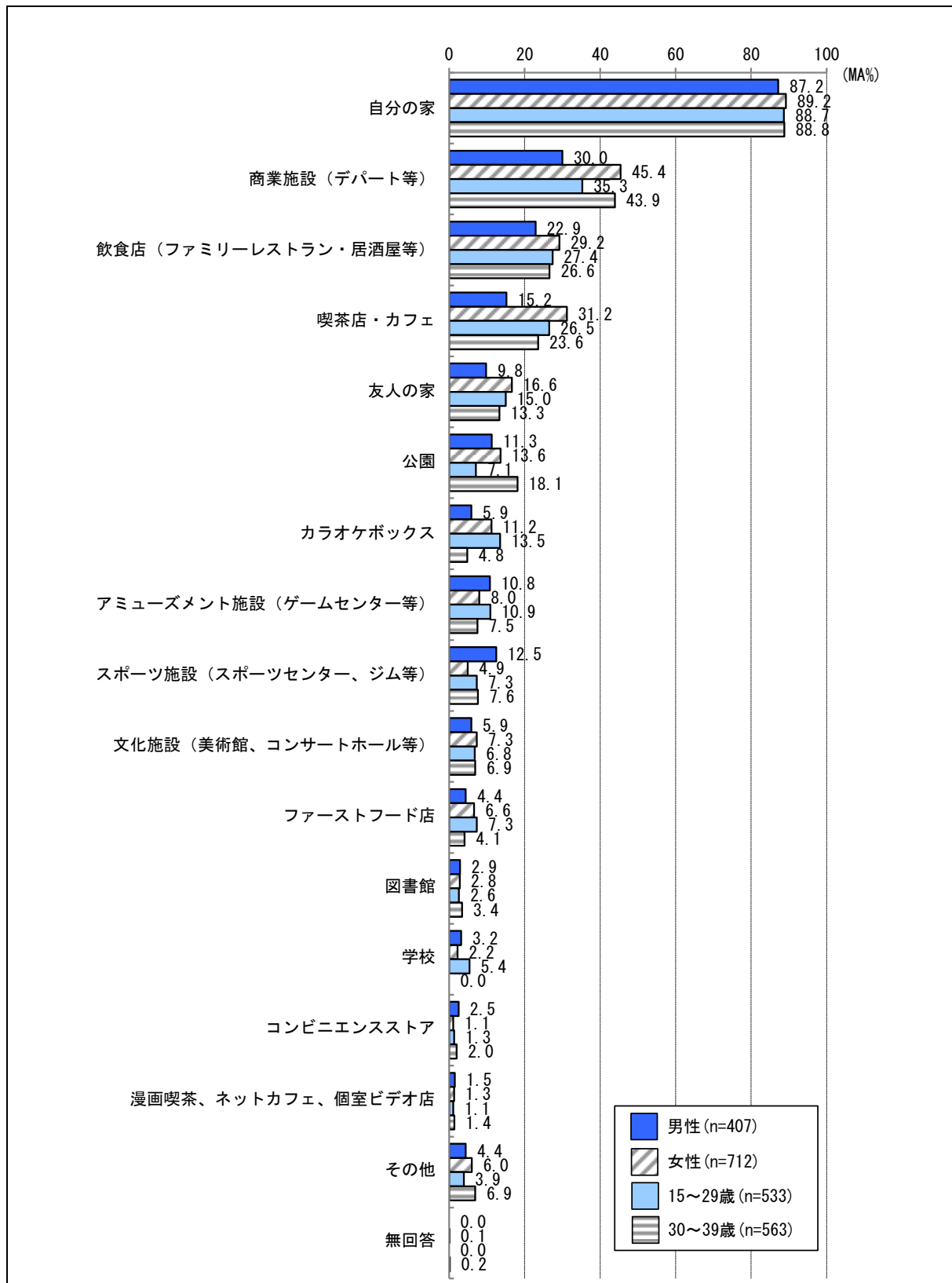
・自由な時間を過ごす場所



■性別でみると、男女で差が大きいのは「商業施設（デパート等）」、「喫茶店・カフェ」で、女性のほうが15%以上高くなっている。

■年齢別でみると、「商業施設（デパート等）」は30～39歳のほうが8.6ポイント、「公園」は30～39歳のほうが11.0ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 自由な時間を過ごす場所

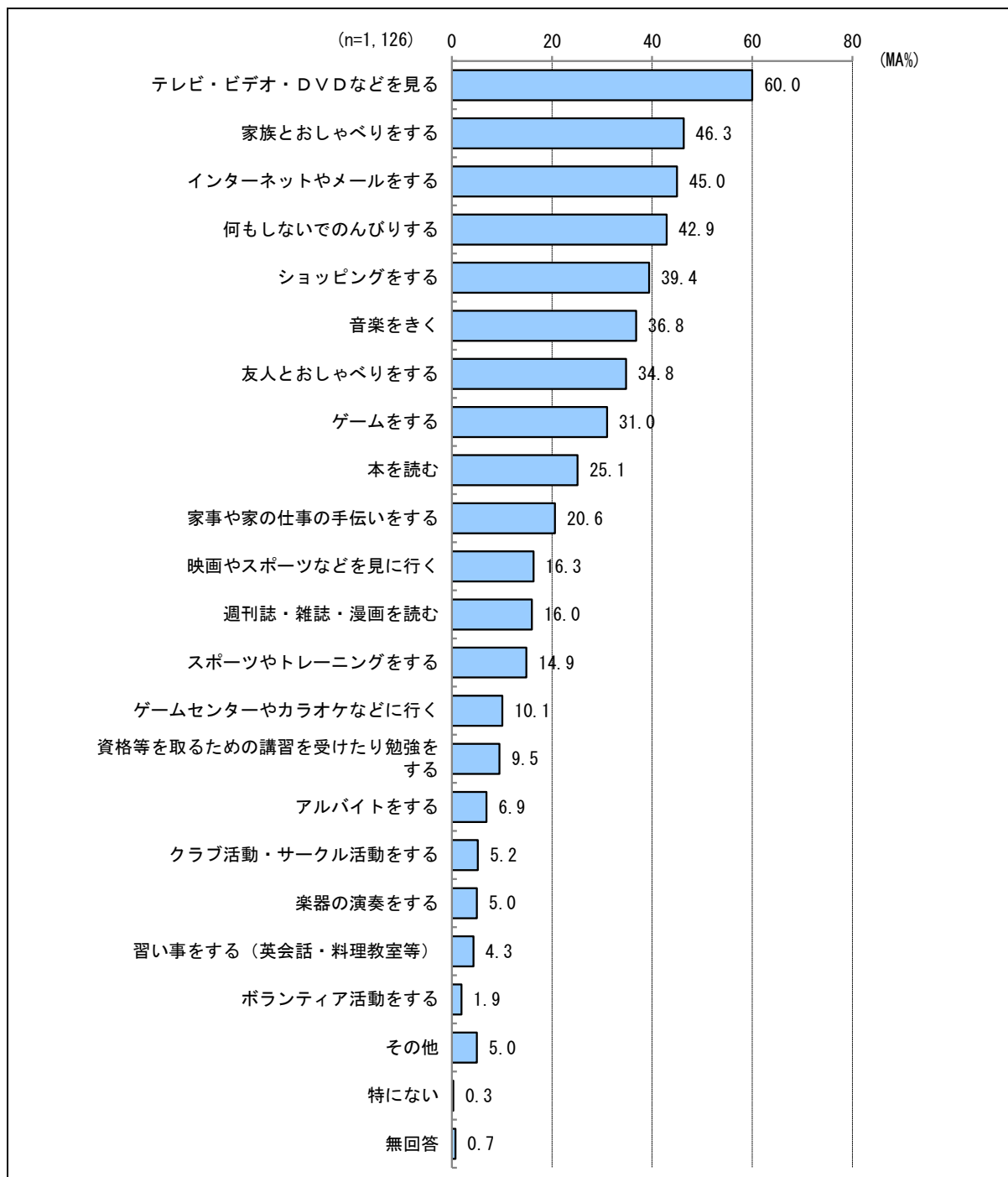


3 自由な時間の過ごし方

問11 あなたは、仕事や学校、家事などの他に、自由な時間をどのように過ごしていますか。（〇はいくつでも）

■自由な時間の過ごし方については、「テレビ・ビデオ・DVDなどを見る」が60.0%で最も多く、次いで「家族とおしゃべりをする」が46.3%、「インターネットやメールをする」が45.0%となっている。

・自由な時間の過ごし方



- 性別でみると、男女とも「テレビ・ビデオ・DVDなどを見る」が最も多く、次いで男性は「ゲームをする」(44.0%)、女性は「家族とおしゃべりをする」が(52.4%)となっている。
- 年齢別でみると、年齢を問わず「テレビ・ビデオ・DVDなどを見る」が最も多く、次いで15～29歳は「何もしないでのんびりする」と「音楽をきく」(ともに45.6%)、30～39歳は「家族とおしゃべりをする」(50.4%)となっている。

・性別・年齢別 自由な時間の過ごし方

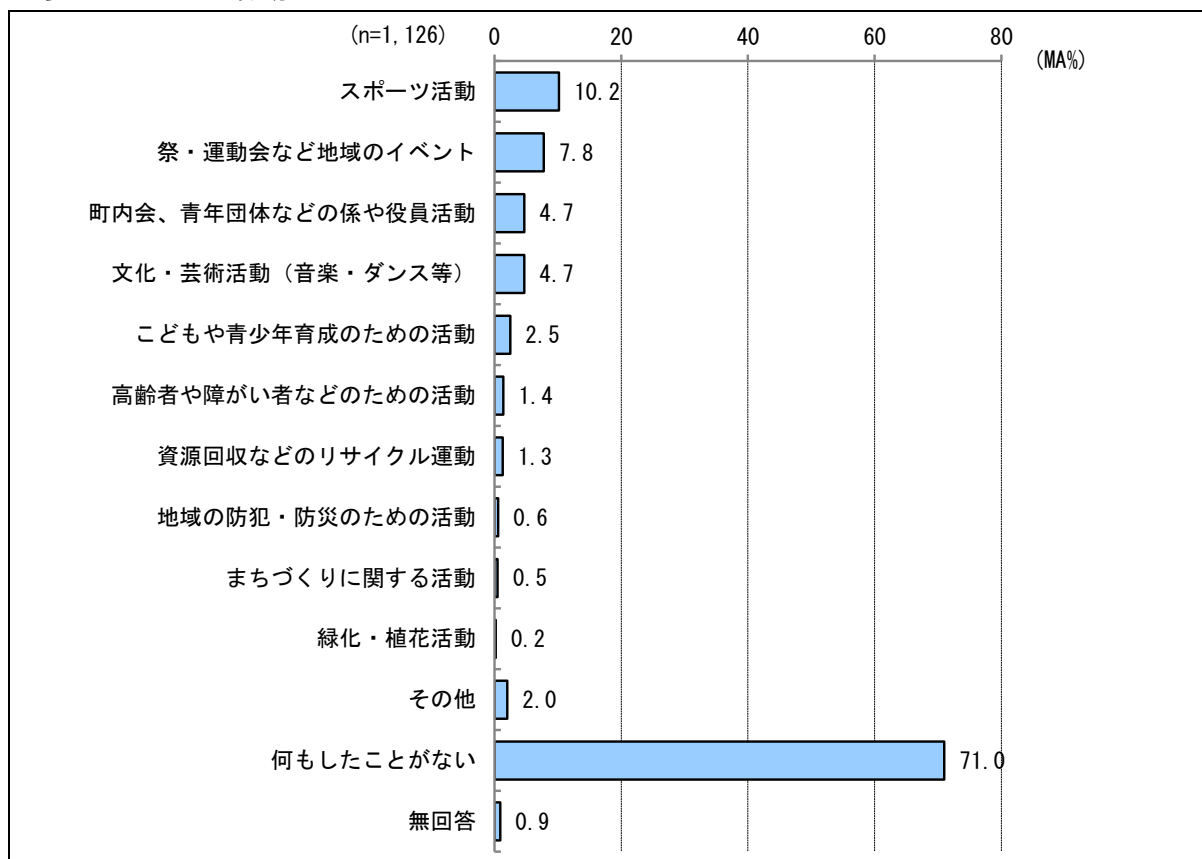
	(MA%)			
	男性	女性	15～29歳	30～39歳
n	407	712	533	563
テレビ・ビデオ・DVDなどを見る	53.3	63.6	56.8	62.5
家族とおしゃべりをする	35.6	52.4	41.7	50.4
インターネットやメールをする	39.1	48.0	43.7	45.8
何もしないでのんびりする	36.9	46.3	45.6	40.3
ショッピングをする	25.3	47.8	37.5	41.0
音楽をきく	37.1	36.8	45.6	28.6
友人とおしゃべりをする	23.8	41.3	40.0	29.7
ゲームをする	44.0	23.5	34.3	28.1
本を読む	28.0	23.6	19.9	29.8
家事や家の仕事の手伝いをする	17.4	22.6	17.4	24.0
映画やスポーツなどを見に行く	17.4	15.7	19.5	13.1
週刊誌・雑誌・漫画を読む	17.2	15.4	13.7	18.3
スポーツやトレーニングをする	22.9	10.4	12.8	16.7
ゲームセンターやカラオケなどに行く	9.3	10.5	14.4	5.9
資格等を取るための講習を受けたり勉強をする	9.1	9.7	11.4	8.0
アルバイトをする	5.2	8.0	12.9	0.9
クラブ活動・サークル活動をする	8.1	3.5	8.8	1.6
楽器の演奏をする	4.7	5.2	6.0	3.9
習い事をする(英会話・料理教室等)	1.0	6.2	3.4	5.2
ボランティア活動をする	2.5	1.5	2.1	1.6
その他	3.7	5.8	4.3	5.9
特にない	0.2	0.3	0.4	0.2
無回答	-	1.0	0.4	0.9

4 参加している活動

問12 あなたは、学校や仕事以外の活動に参加していますか。現在参加している活動、この1年以内に参加した活動をお答えください。（〇はいくつでも）

■現在またはこの1年以内に参加している活動については、「スポーツ活動」が10.2%で最も多く、次いで「祭・運動会など地域のイベント」が7.8%、「町内会、青年団体などの係や役員活動」と「文化・芸術活動（音楽・ダンス等）」がそれぞれ4.7%となっている。

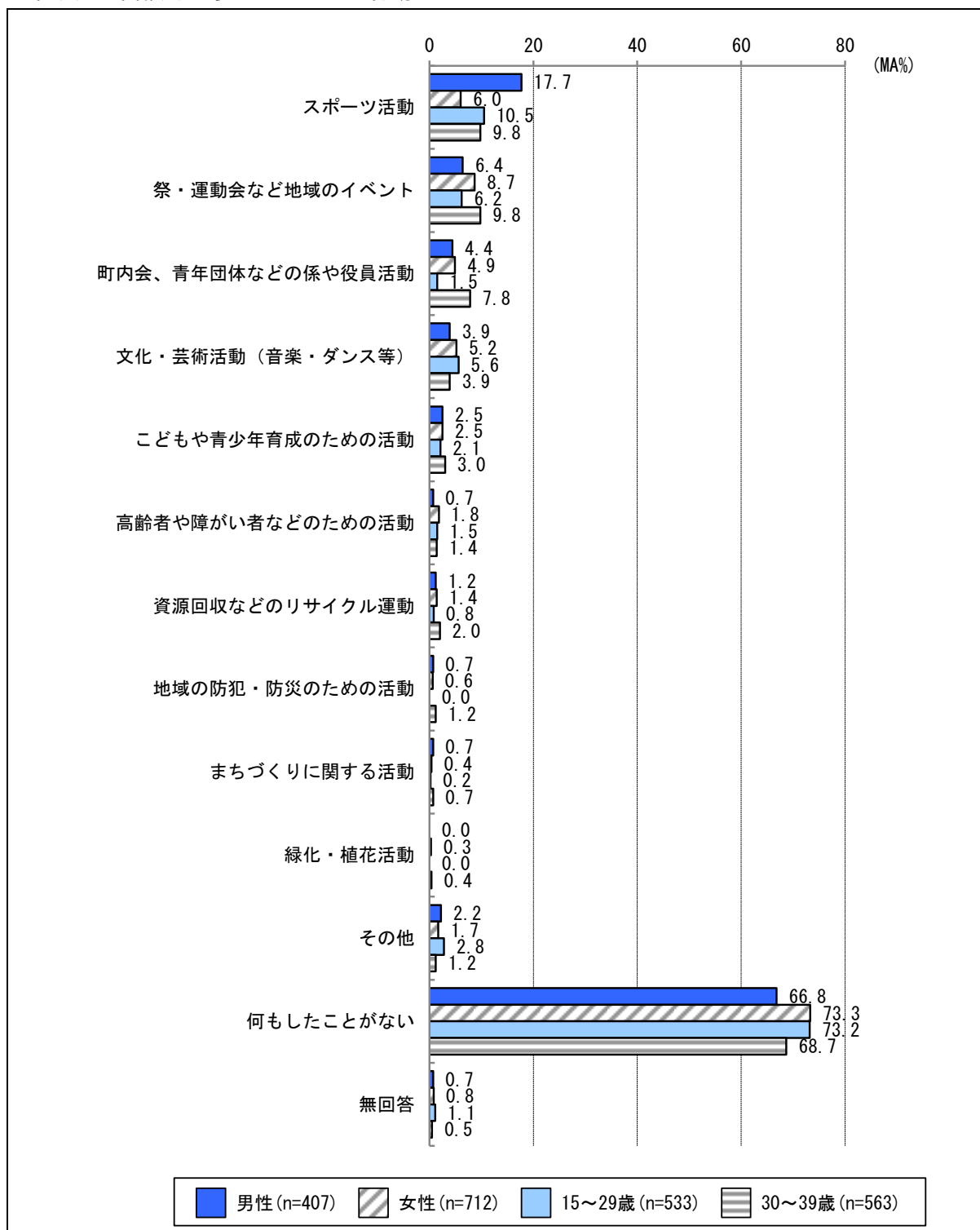
・参加している活動



■性別でみると、男女とも「何もしたことがない」が最も多いが、参加している活動では男性は「スポーツ活動」（17.7%）、女性は「祭・運動会など地域のイベント」（8.7%）が最も多くなっている。

■年齢別でみると、「町内会、青年団体などの係や役員活動」は30～39歳（7.8%）のほうが6.3ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 参加している活動

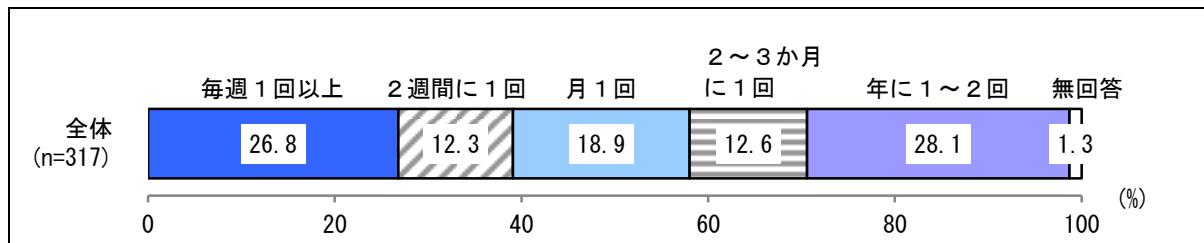


5 活動の参加頻度

問12-1 問12で「1～11」を選んだ方におうかがいします。それらの活動に参加する回数は、すべてあわせてどのくらいですか。（〇は1つ）

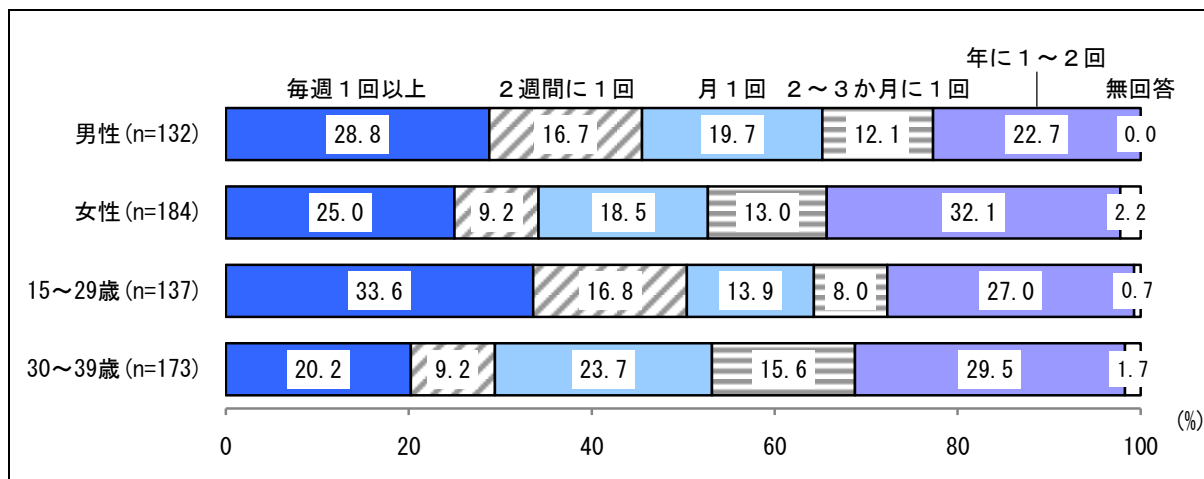
- 参加している活動があると回答した人に、活動の参加頻度をたずねると、「年に1～2回」が28.1%で最も多く、次いで「毎週1回以上」が26.8%、「月1回」が18.9%となっている。

・活動の参加頻度



- 性別でみると、「毎週1回以上」は女性（25.0%）より男性（28.8%）のほうが3.8ポイント高く、「2週間に1回」も女性（9.2%）より男性（16.7%）のほうが7.5ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「毎週1回以上」は30～39歳（20.2%）より15～29歳（33.6%）のほうが13.4ポイント高く、「2週間に1回」も30～39歳（9.2%）より15～29歳（16.8%）のほうが7.6ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 活動の参加頻度

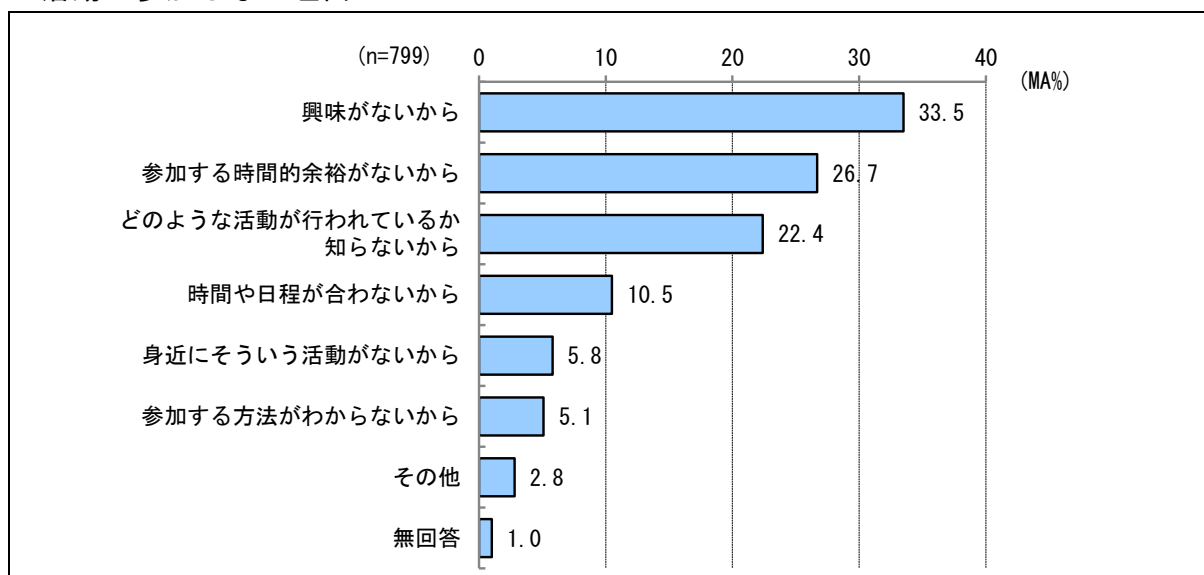


6 活動に参加しない理由

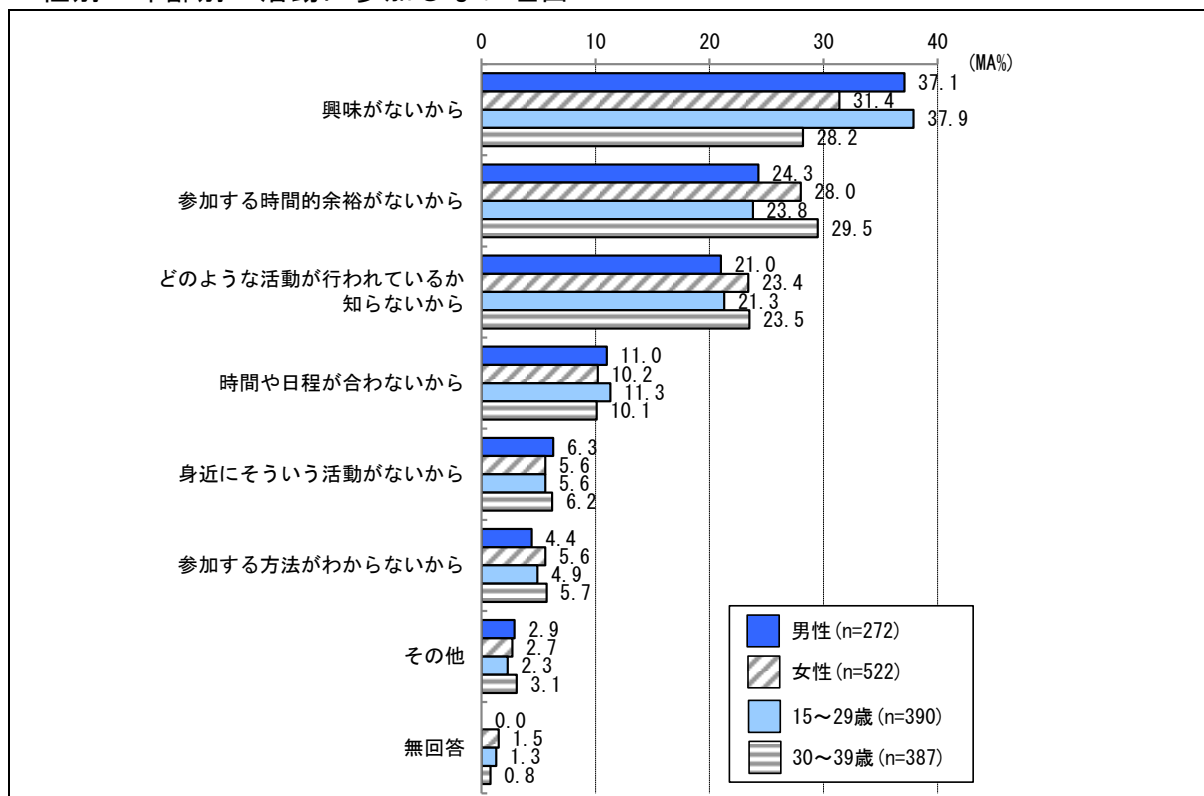
問12-2 問12で「12. 何もしたことがない」を選んだ方におうかがいします。それはなぜですか。（○は1つ）

- 活動に参加したことがないと回答した人に、その理由をたずねると、「興味がないから」が33.5%で最も多く、次いで「参加する時間的余裕がないから」が26.7%、「どのような活動が行われているか知らないから」が22.4%となっている。
- 性別でみると「興味がないから」は女性（31.4%）より男性（37.1%）のほうが5.7ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「興味がないから」は30～39歳（28.2%）より15～29歳（37.9%）のほうが9.7ポイント高くなっている。

・活動に参加しない理由



・性別・年齢別 活動に参加しない理由

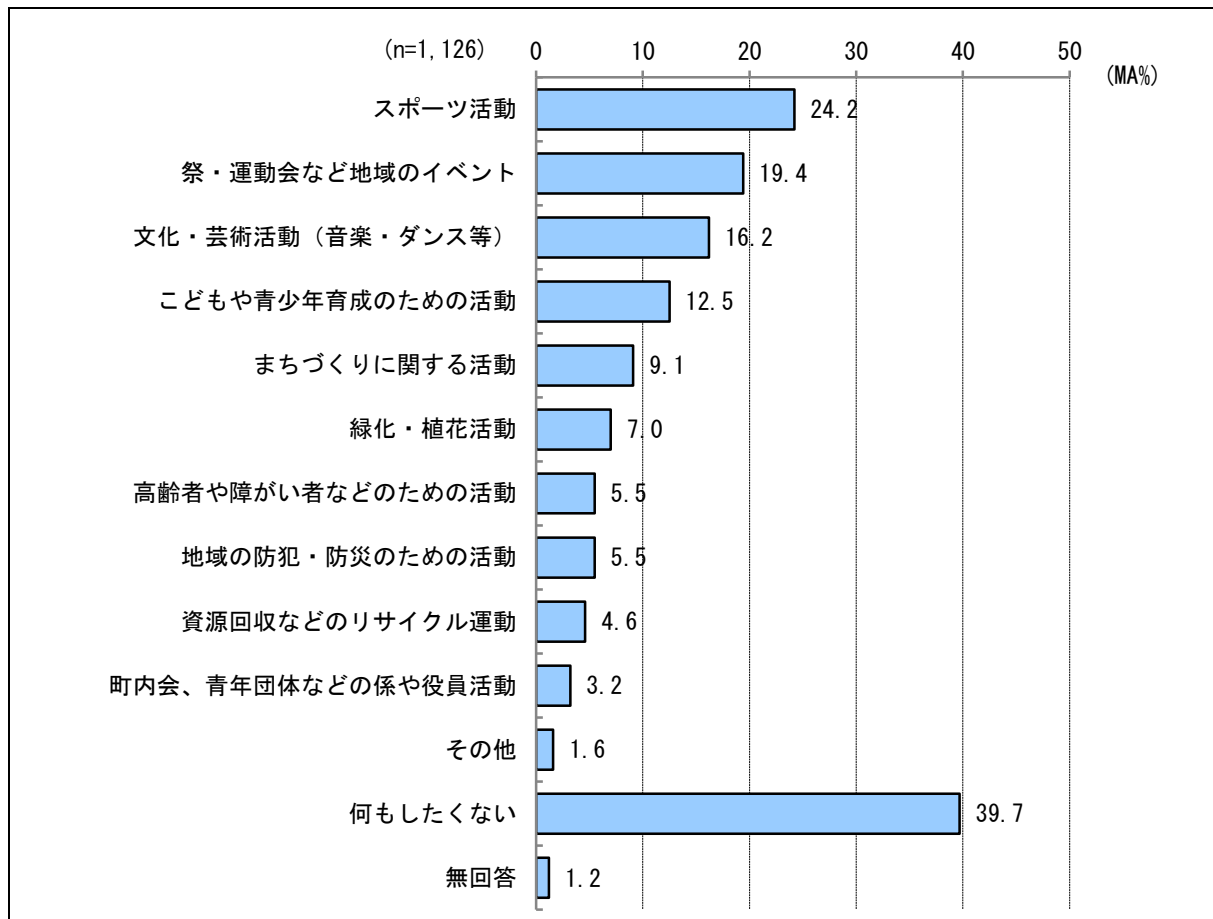


7 今後参加したい活動

問13 あなたは今後、学校や仕事以外の活動に参加したいと思いますか。参加したい活動をお答えください。（〇はいくつでも）

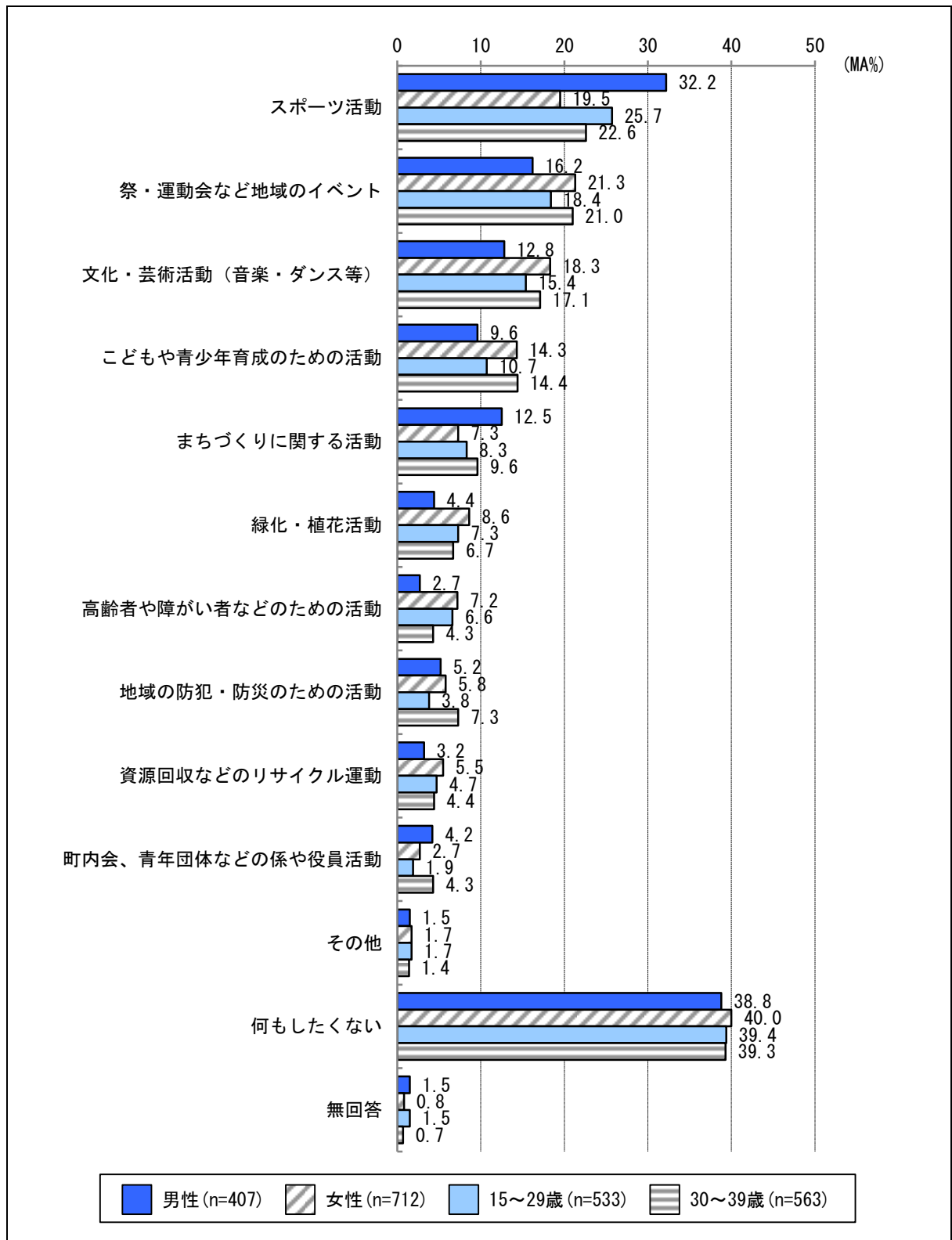
■ 今後参加したい活動については、「スポーツ活動」が24.2%で最も多く、次いで「祭・運動会など地域のイベント」が19.4%、「文化・芸術活動（音楽・ダンス等）」が16.2%となっている。

・ 今後参加したい活動



- 今後参加したい活動を性別でみると、男性は「スポーツ活動」が32.2%で最も多く、女性は「祭・運動会など地域のイベント」が21.3%となっている。
- 年齢別でみると、年齢を問わず「スポーツ活動」が最も多く、30～39歳（22.6%）より15～29歳（25.7%）のほうが3.1ポイント高くなっている。

・ 今後参加したい活動



8 体験したことのある活動とプラスになったと感じる活動

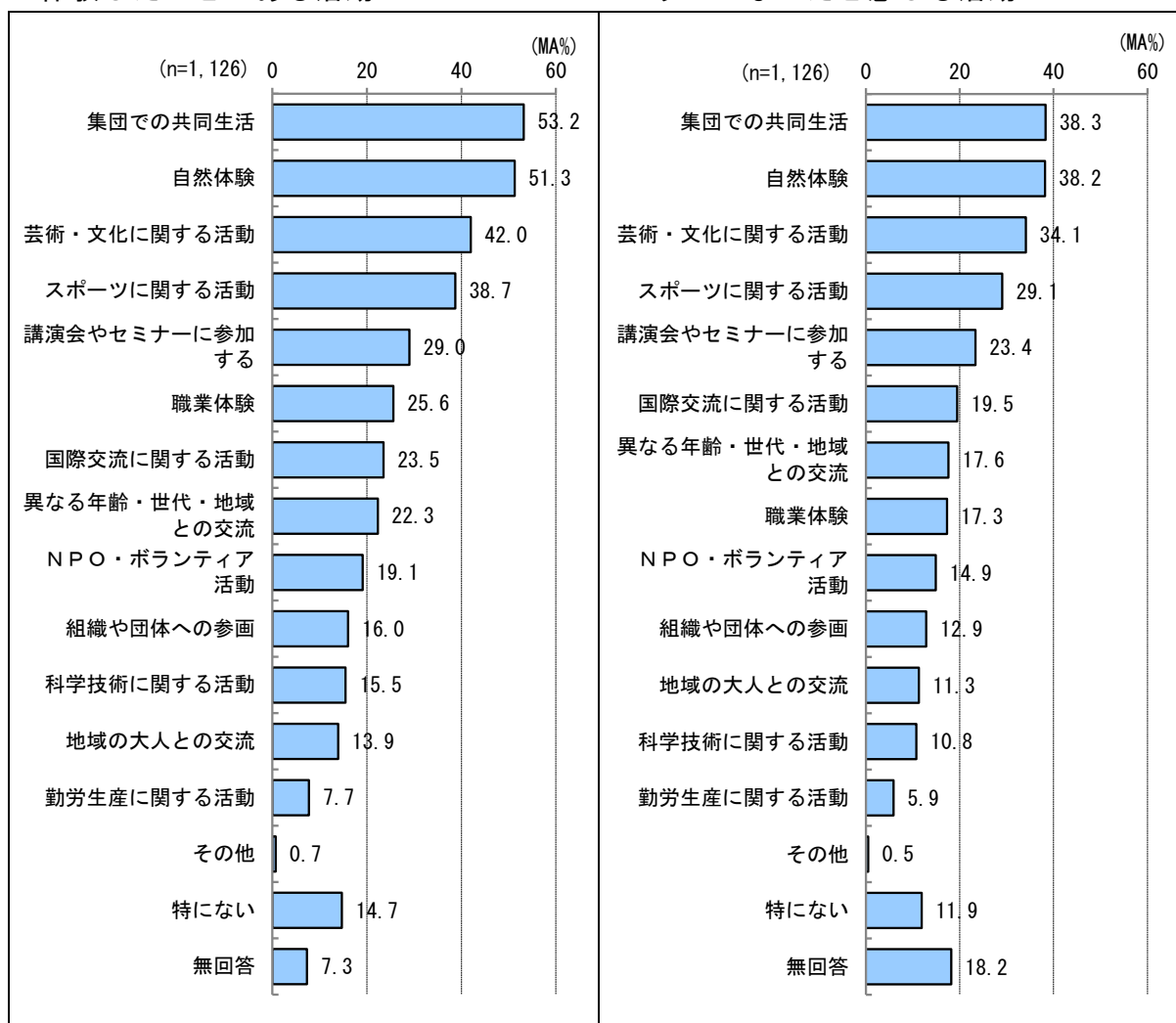
問14 あなたが学校の授業及び行事以外で体験したことのある活動はありますか。
 (学校のクラブ活動も含む)
 また、その中で今の自分の行動や考え方にプラスになったと感じる活動はありますか。
 (それぞれ○はいくつでも)

■ 体験したことのある活動については、「集団での共同生活」が53.2%で最も多く、次いで「自然体験」が51.3%、「芸術・文化に関する活動」が42.0%となっている。

■ プラスになったと感じる活動は、「集団での共同生活」が38.3%で最も多く、次いで「自然体験」が38.2%、「芸術・文化に関する活動」が34.1%となっている。

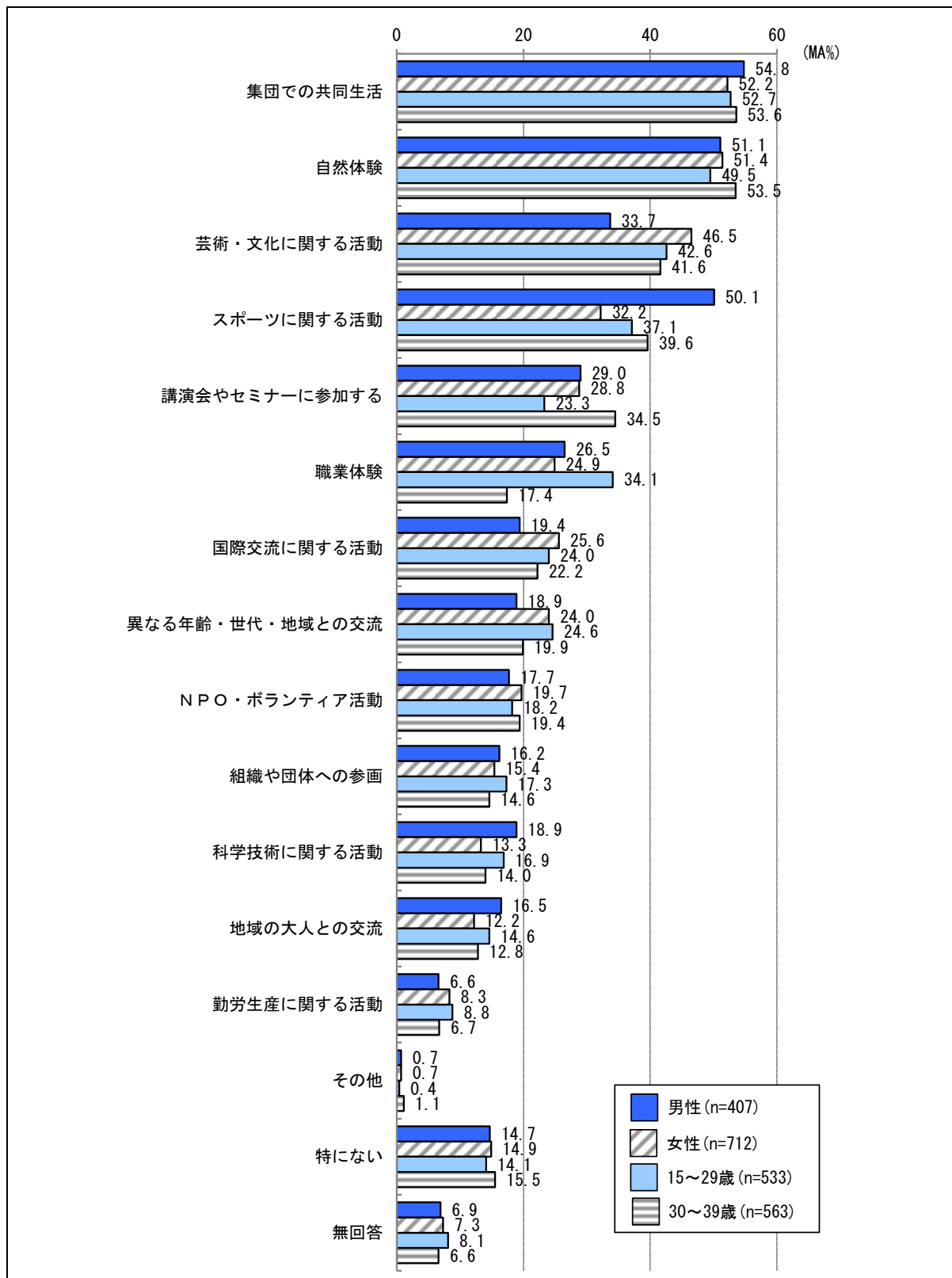
・ 体験したことのある活動

・ プラスになったと感じる活動



- 体験したことのある活動について、性別でみると、「スポーツ活動」は男性（50.1%）のほうが17.9ポイント高く、「芸術・文化に関する活動」は女性（46.5%）のほうが12.8ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「職業体験」は15～29歳（34.1%）のほうが16.7ポイント高く、「講演会やセミナーに参加する」は30～39歳（34.5%）のほうが11.2ポイント高くなっている。

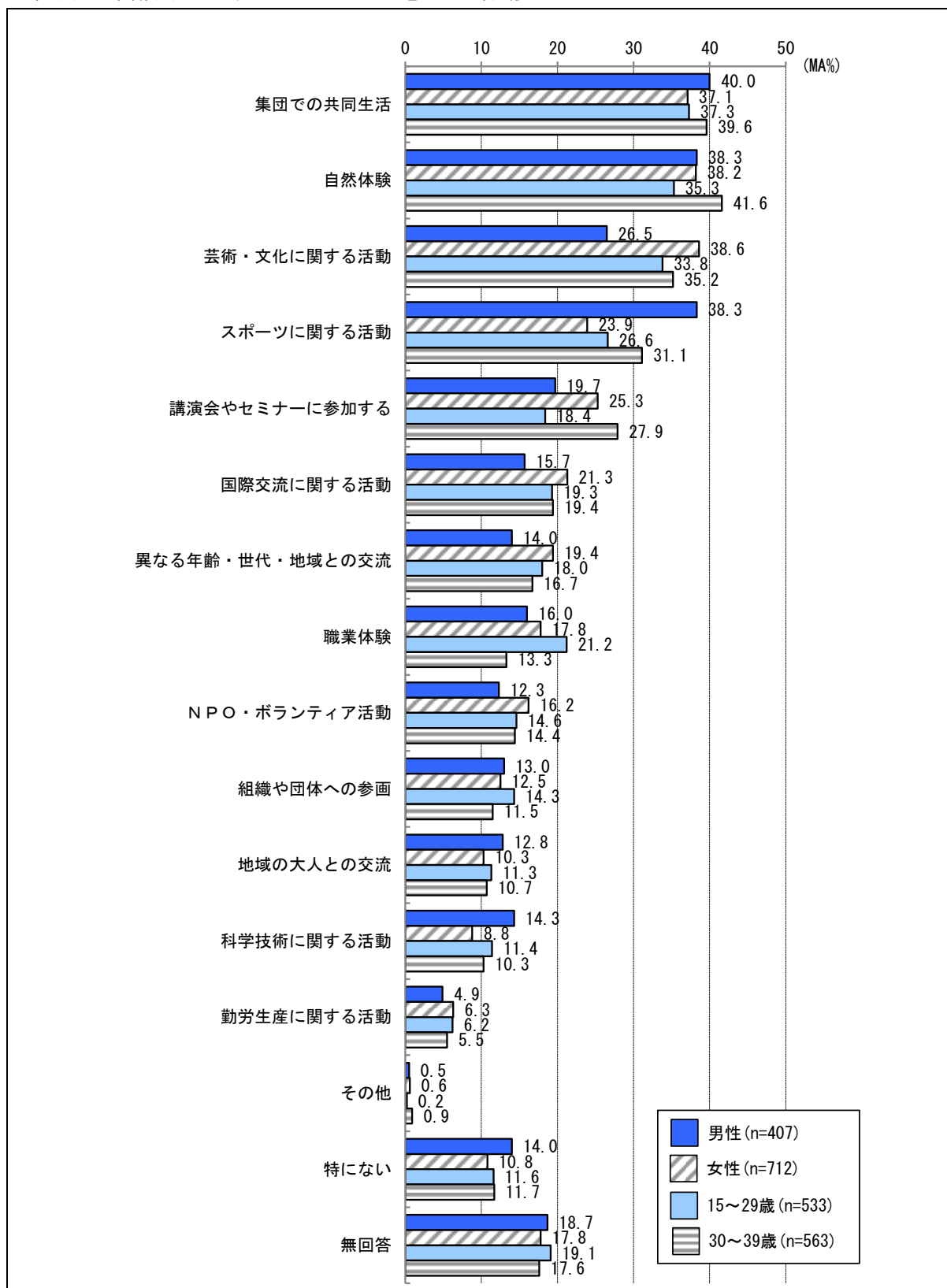
・ 性別・年齢別 体験したことのある活動



■ プラスになったと感じる活動について、性別でみると、男性は「集団での共同生活」が40.0%で最も多く、女性は「芸術・文化に関する活動」が38.6%で最も多くなっている。

■ 年齢別でみると、15～29歳は「集団での共同生活」が37.3%で最も多く、30～39歳は「自然体験」が41.6%で最も多くなっている。

・ 性別・年齢別 プラスになったと感じる活動

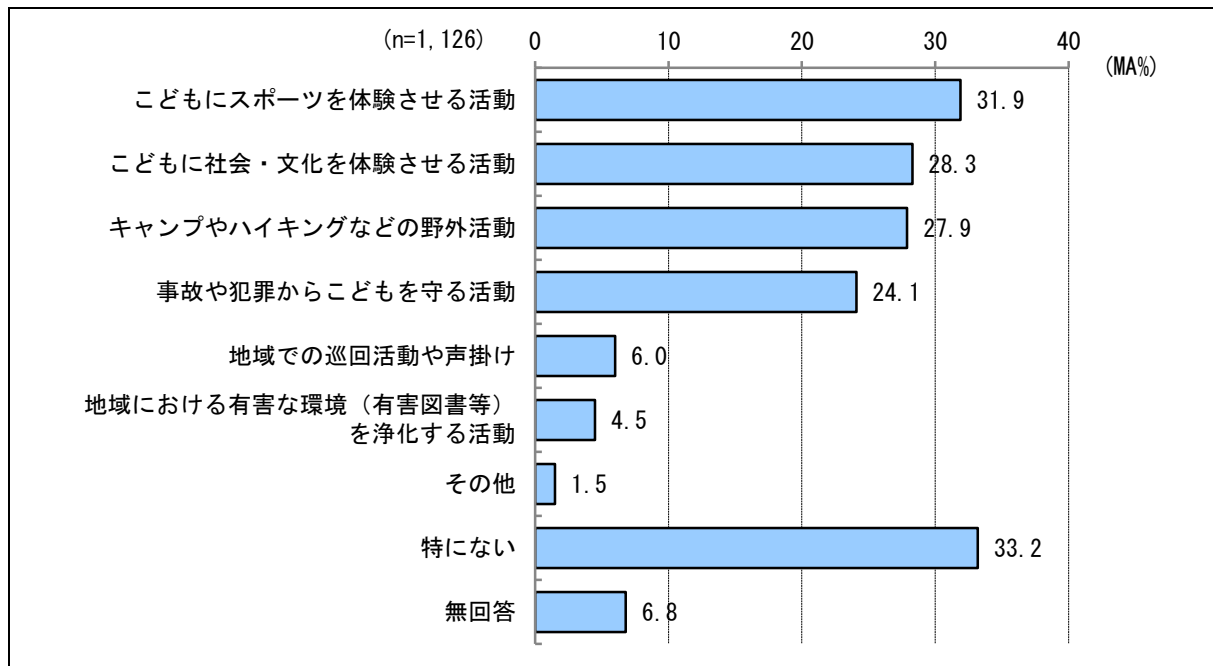


9 今後参加してみたいこどもの健全育成のための活動

問15 こどもの健全育成のための活動について、今後参加してみたい活動はありますか。（〇はいくつでも）

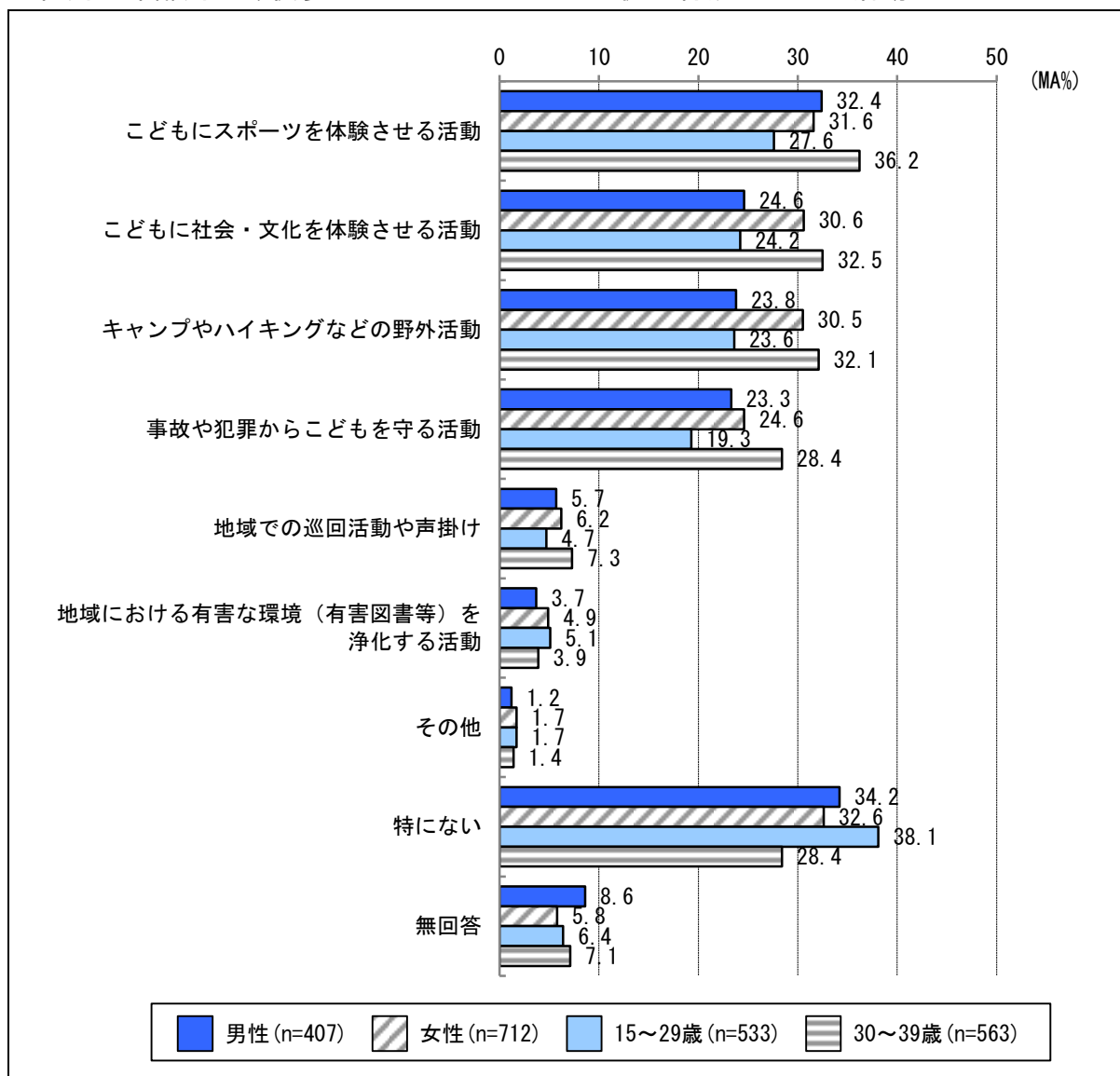
■ 今後参加してみたいこどもの健全育成のための活動については、「こどもにスポーツを体験させる活動」が31.9%で最も多く、次いで「こどもに社会・文化を体験させる活動」が28.3%、「キャンプやハイキングなどの野外活動」が27.9%となっている。

・ 今後参加してみたいこどもの健全育成のための活動



- 性別でみると、「こどもに社会・文化を体験させる活動」、「キャンプやハイキングなどの野外活動」は男性より女性のほうが6%以上高くなっている。
- 年齢別でみると、「こどもにスポーツを体験させる活動」、「こどもに社会・文化を体験させる活動」、「キャンプやハイキングなどの野外活動」、「事故や犯罪からこどもを守る活動」はいずれも30～39歳のほうが8%以上高くなっている。

・性別・年齢別 今後参加してみたいこどもの健全育成のための活動



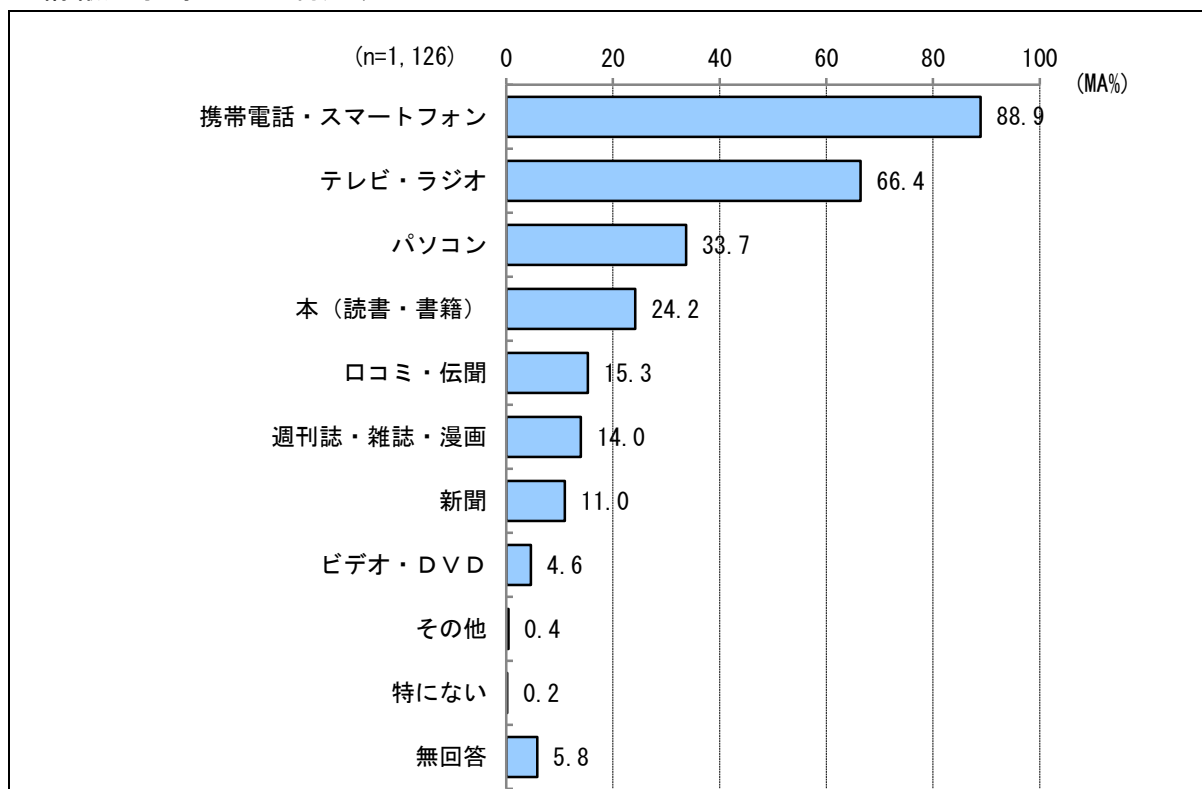
Ⅳ. メディア利用について

1 情報入手時によく利用するもの

問16 あなたが新しい知識や情報入手するときに、よく利用するものをお答えください。（〇はいくつでも）

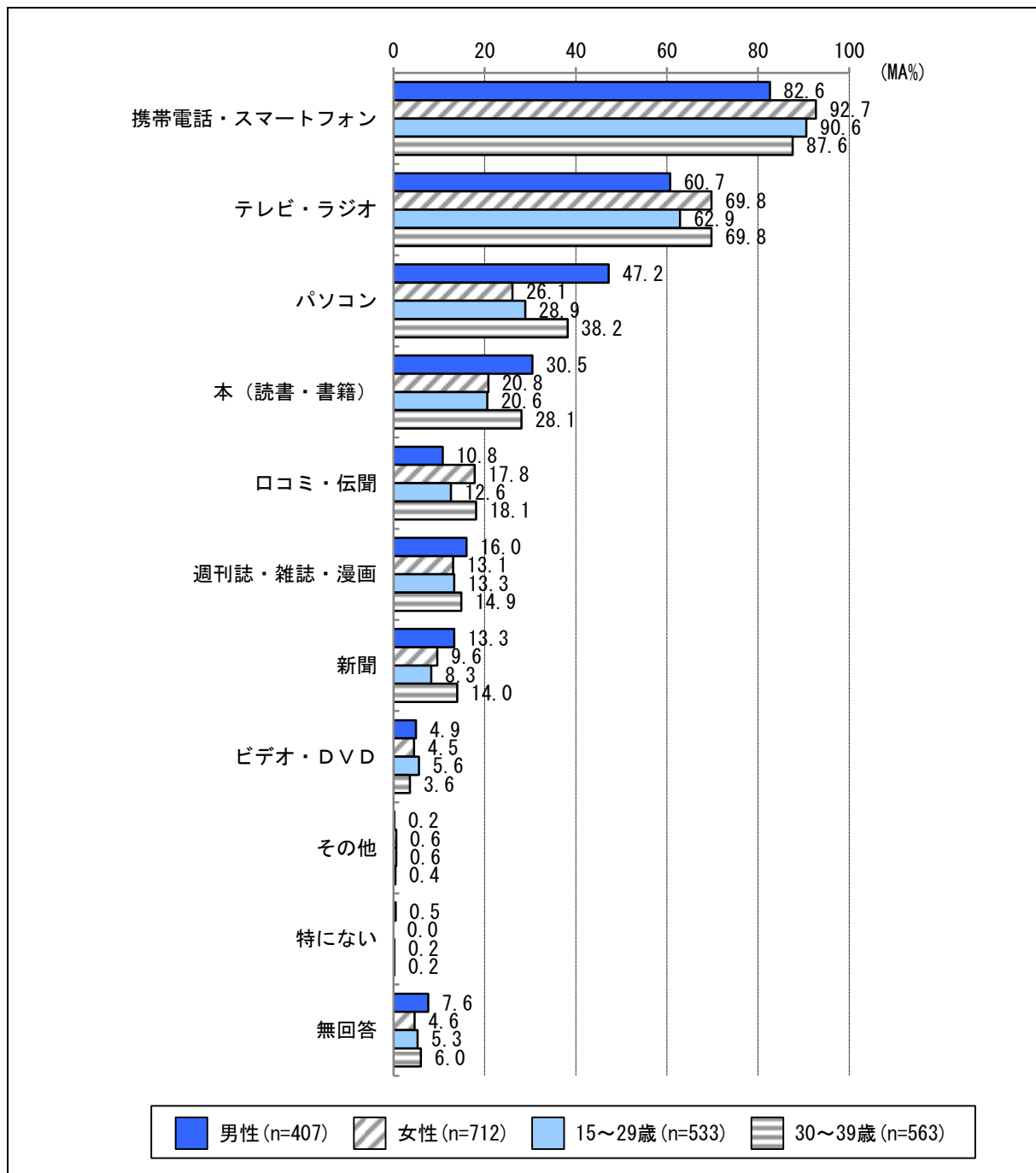
■情報入手時によく利用するものについては、「携帯電話・スマートフォン」が88.9%で最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」が66.4%、「パソコン」が33.7%となっている。

・情報入手時によく利用するもの



- 性別でみると、男女とも「携帯電話・スマートフォン」が最も多く、男性（82.6%）より女性（92.7%）のほうが10.1ポイント高い。一方、「パソコン」は女性（26.1%）より男性（47.2%）のほうが21.1ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「パソコン」は15～29歳（28.9%）より30～39歳（38.2%）のほうが9.3ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 情報入手時によく利用するもの

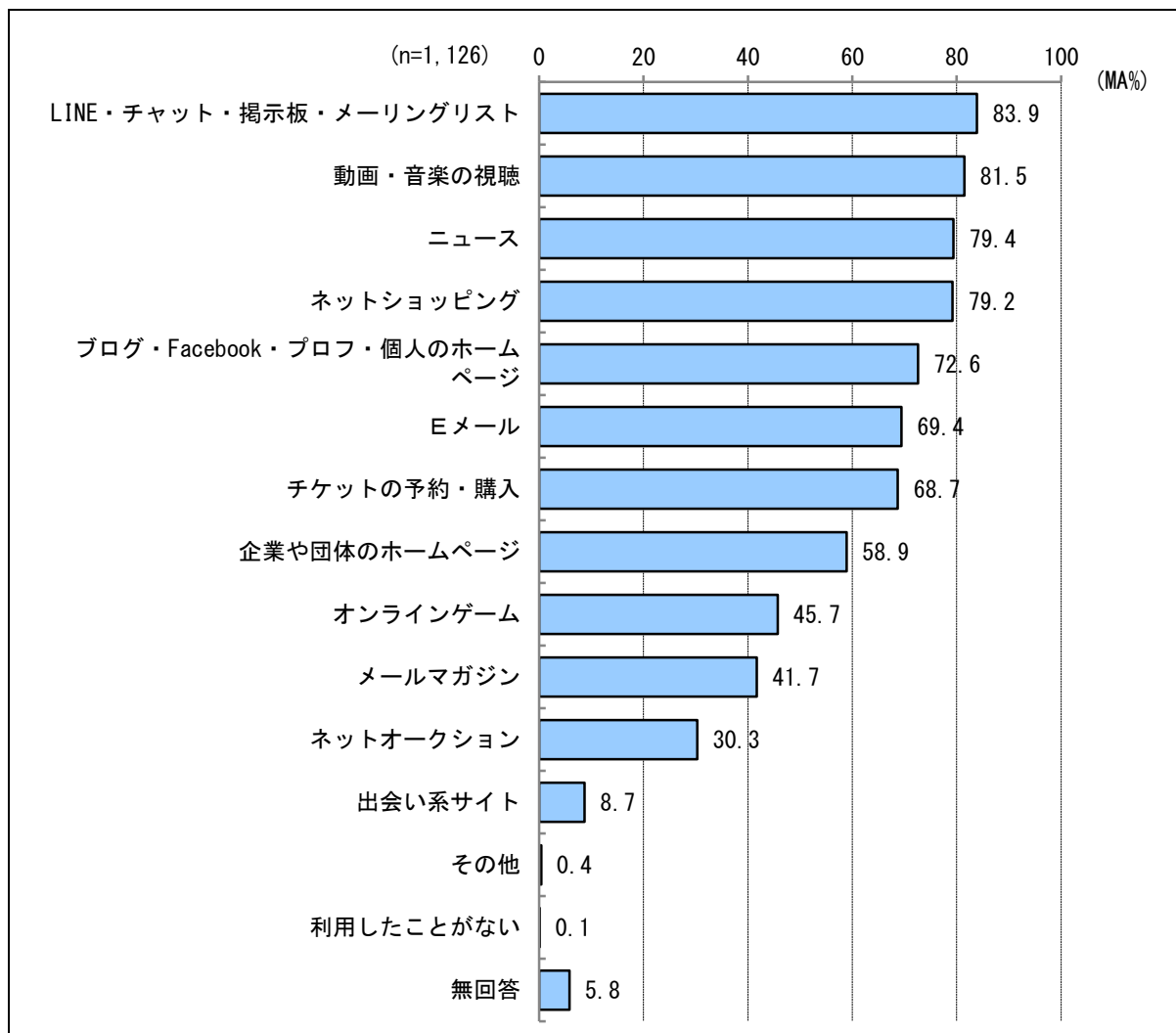


2 利用したことのあるインターネットサービス

問17 あなたはこれまでパソコンや携帯電話・スマートフォンでインターネットを利用したことがありますか。利用したことのある内容をお答えください。（○はいくつでも）

■利用したことのあるインターネットサービスについては、「LINE・チャット・掲示板・メーリングリスト」が83.9%で最も多く、次いで「動画・音楽の視聴」が81.5%、「ニュース」が79.4%、「ネットショッピング」が79.2%となっている。

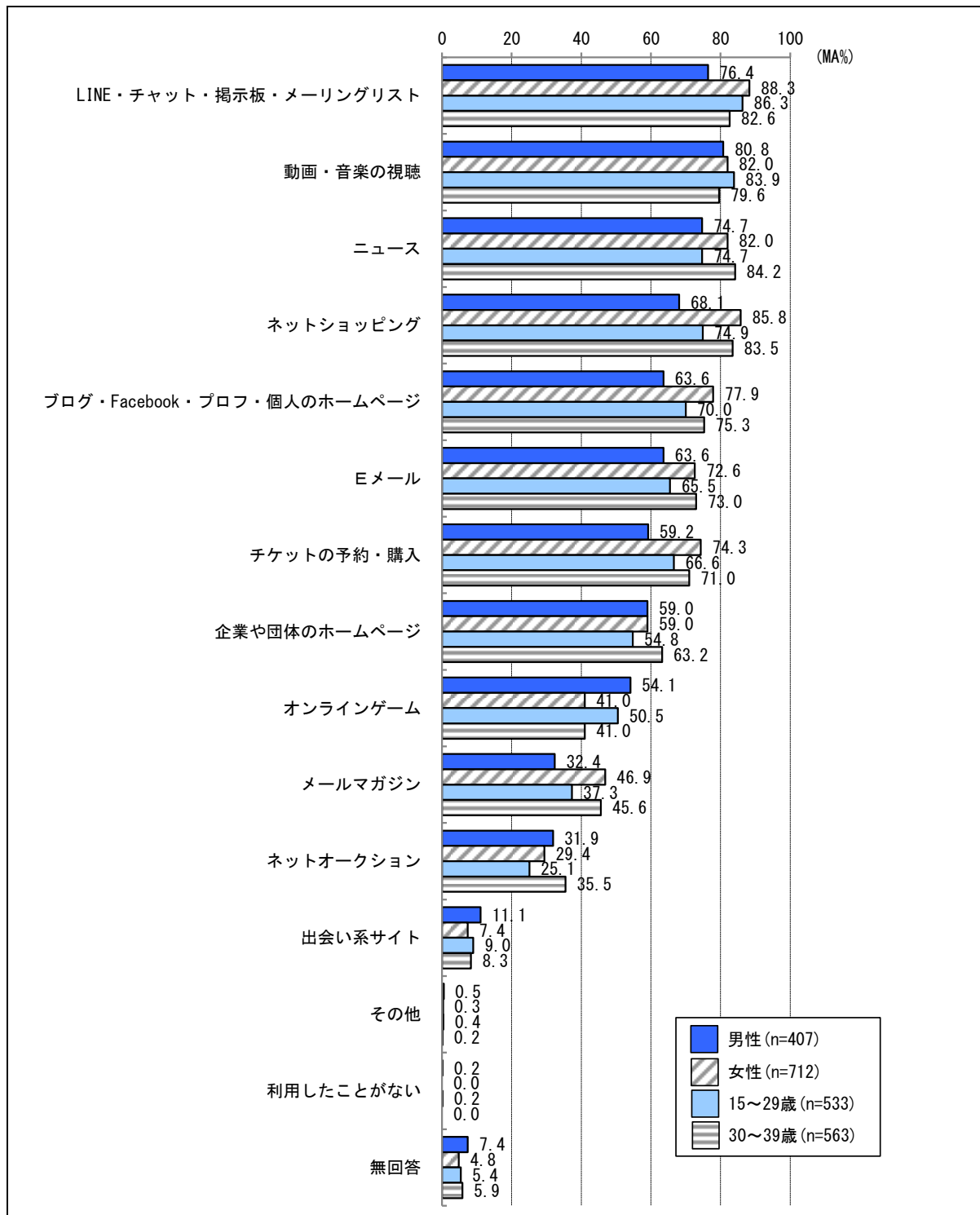
・利用したことのあるインターネットサービス



■性別でみると、男性は「動画・音楽の視聴」(80.8%)で最も多い。女性では「LINE・チャット・掲示板・メーリングリスト」(88.3%)が最も多く、男性より11.9ポイント高く、「ネットショッピング」や「ブログ・Facebook・プロフ・個人のホームページ」、「チケットの予約・購入」、「メールマガジン」も男性より10%以上高くなっている。

■年齢別でみると、15～29歳は「LINE・チャット・掲示板・メーリングリスト」(86.3%)が最も多く、次いで「動画・音楽の視聴」(83.9%)となっている。30～39歳では「ニュース」(84.2%)が最も多く、次いで「ネットショッピング」(83.5%)となっている。

・性別・年齢別 利用したことのあるインターネットサービス



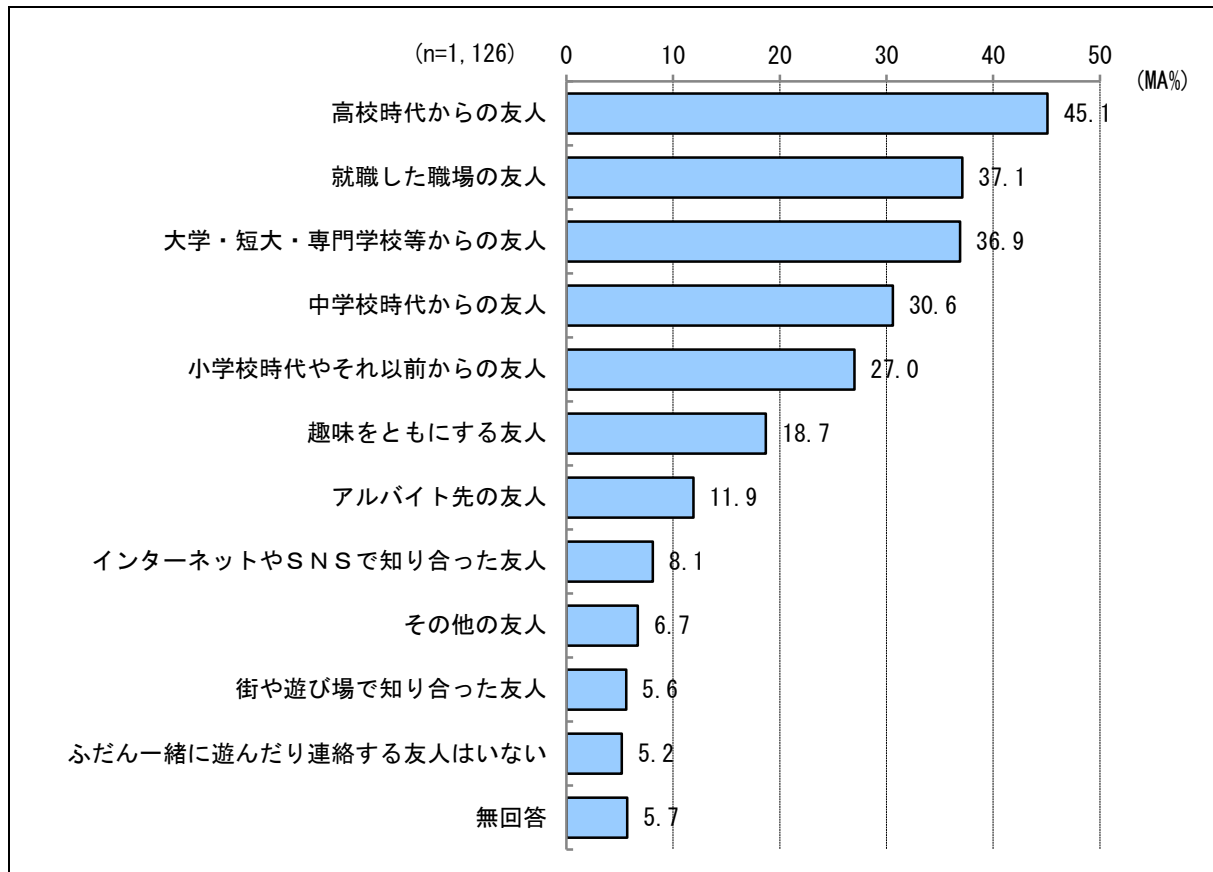
V. 友人関係について

1 ふだん一緒に遊んだり連絡することが多い人

問18 あなたがふだん一緒に遊んだり連絡したりすることが多い友人（のグループ）は次のどれですか。（〇はいくつでも）

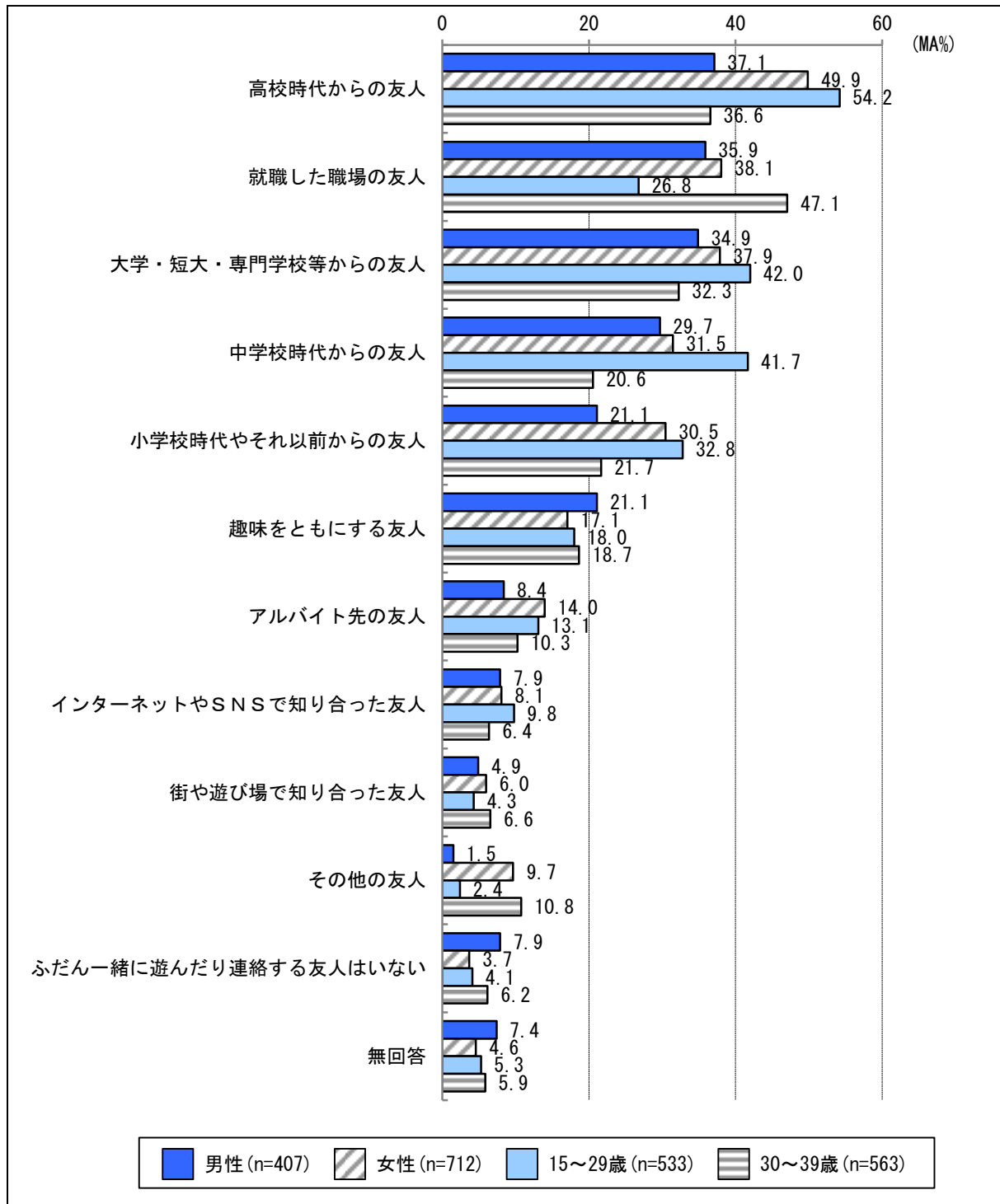
■ふだん一緒に遊んだり連絡することが多い人については、「高校時代からの友人」が45.1%で最も多く、次いで「就職した職場の友人」が37.1%、「大学・短大・専門学校等からの友人」が36.9%、「中学校時代からの友人」が30.6%となっている。

・ふだん一緒に遊んだり連絡することが多い人



- 性別でみると、「高校時代からの友人」は男性（37.1%）より女性（49.9%）のほうが12.8ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、15～29歳は「高校時代からの友人」（54.2%）が最も多く、次いで「大学・短大・専門学校等からの友人」（42.0%）となっている。30～39歳では「就職した職場の友人」（47.1%）が最も多く、次いで「高校時代からの友人」（36.6%）となっている。

・性別・年齢別 ふだん一緒に遊んだり連絡することが多い人

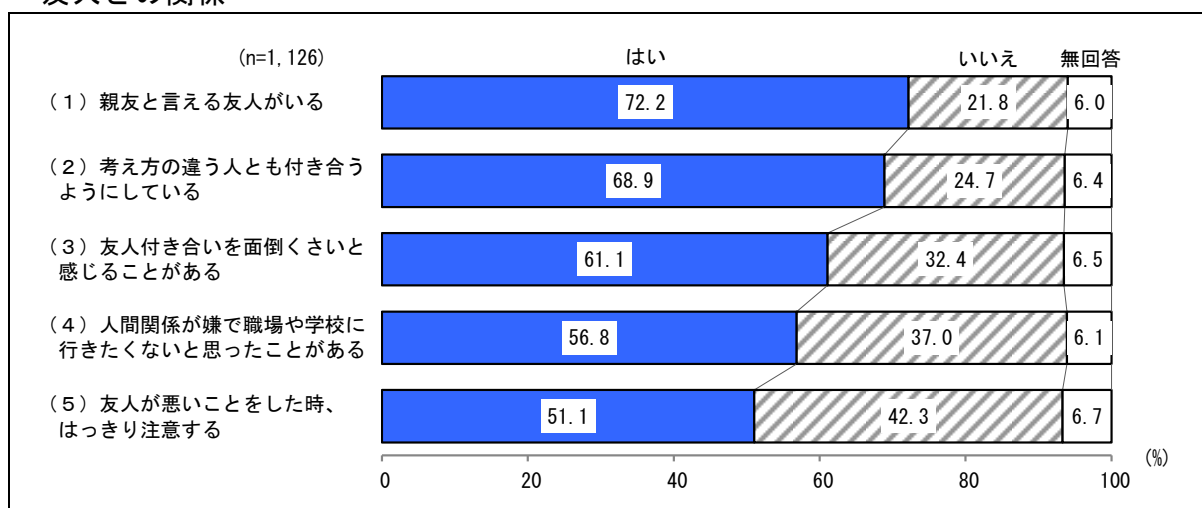


2 友人との関係

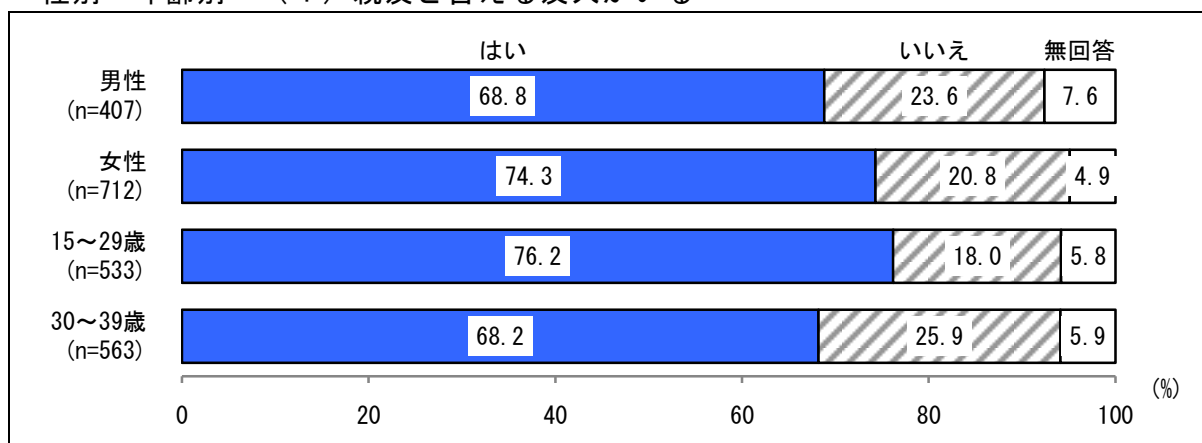
問19 あなたと友人との関係についておうかがいします。(1)から(5)のそれぞれについてあてはまる番号に○をつけてください。

- 友人との関係については、“親友と言える友人がいる”人は72.2%で、他の項目に比べて高くなっている。“考え方の違う人とも付き合うようにしている”人は68.9%、“友人付き合いを面倒くさいと感じることがある”人は61.1%、“人間関係が嫌で職場や学校に行きたくないと思ったことがある”人は56.8%、“友人が悪いことをした時、はっきり注意する”人は51.1%となっている。
- “(1) 親友と言える友人がいる”について、性別でみると、“親友と言える友人がいる”人は男性(68.8%)より女性(74.3%)のほうが5.5ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、“親友と言える友人がいる”人は30～39歳(68.2%)より15～29歳(76.2%)のほうが8.0ポイント高くなっている。

・友人との関係

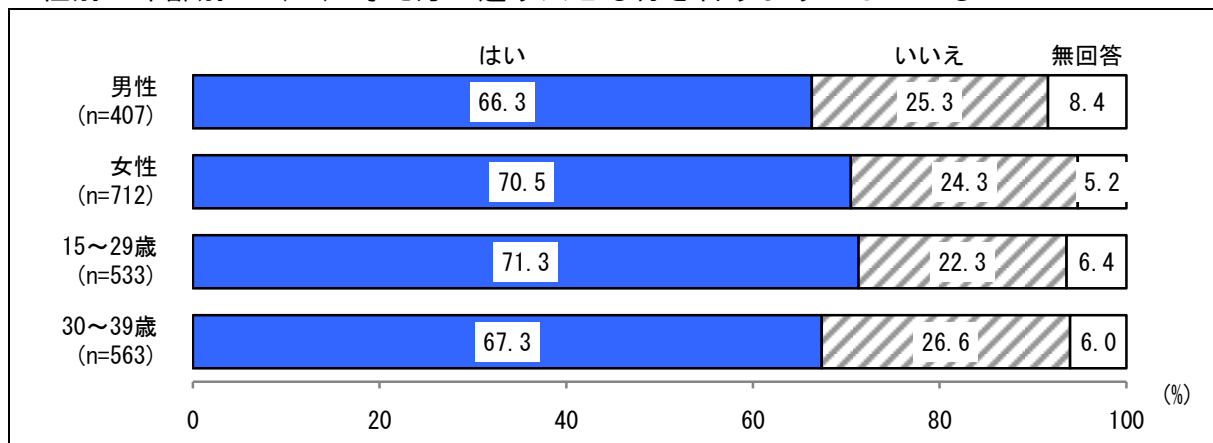


・性別・年齢別 (1) 親友と言える友人がいる

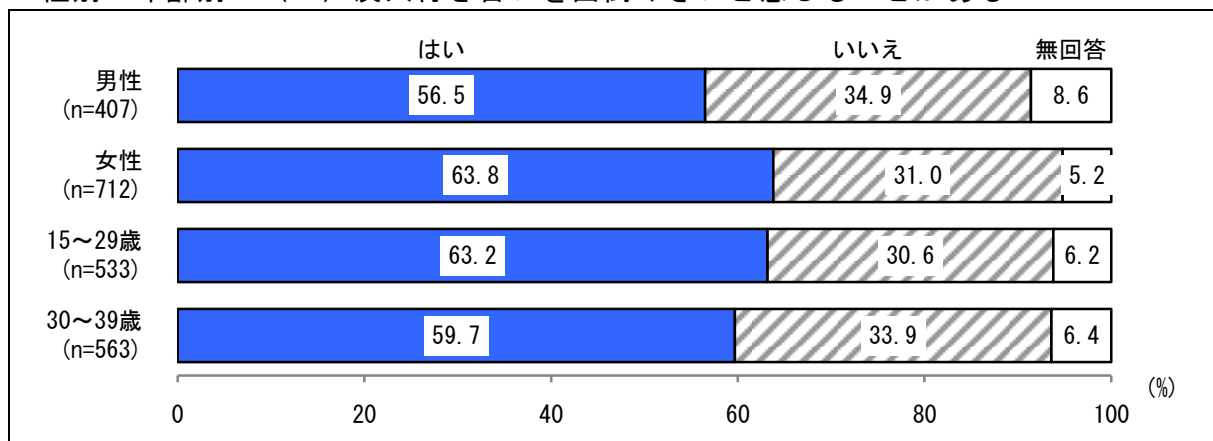


- “（２）考え方の違う人とも付き合うようにしている”について、性別でみると、“考え方の違う人とも付き合うようにしている”人は男性（66.3%）より女性（70.5%）のほうが4.2ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、“考え方の違う人とも付き合うようにしている”人は30～39歳（67.3%）より15～29歳（71.3%）のほうが4.0ポイント高くなっている。
- “（３）友人付き合いを面倒くさいと感じることがある”について、性別でみると、“友人付き合いを面倒くさいと感じることがある”人は男性（56.5%）より女性（63.8%）のほうが7.3ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、“友人付き合いを面倒くさいと感じることがある”人は30～39歳（59.7%）より15～29歳（63.2%）のほうが3.5ポイント高くなっている。

・ 性別・年齢別 （２）考え方の違う人とも付き合うようにしている

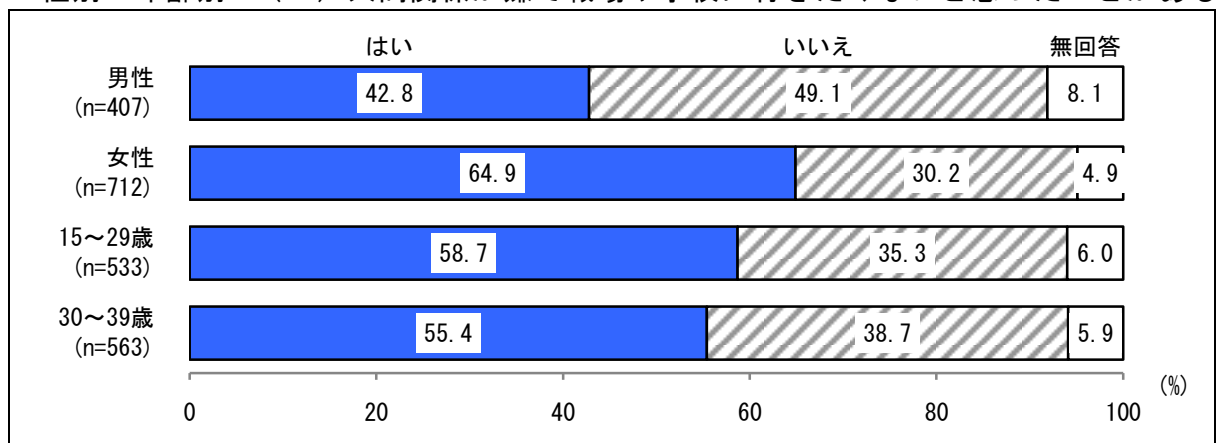


・ 性別・年齢別 （３）友人付き合いを面倒くさいと感じることがある

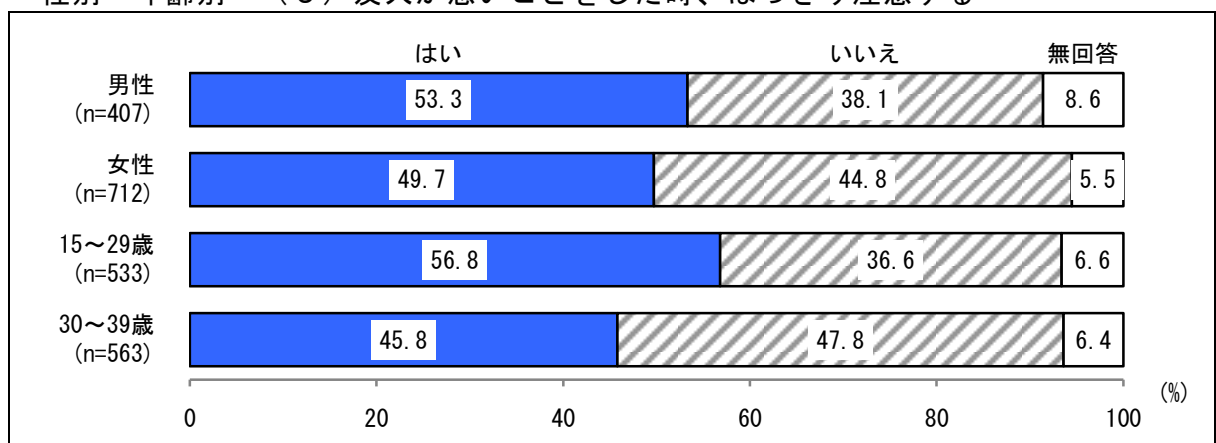


- “（４）人間関係が嫌で職場や学校に行きたくないと思ったことがある”について、性別でみると、“人間関係が嫌で職場や学校に行きたくないと思ったことがある”人は男性（42.8%）より女性（64.9%）のほうが22.1ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、“人間関係が嫌で職場や学校に行きたくないと思ったことがある”人は30～39歳（55.4%）より15～29歳（58.7%）のほうが3.3ポイント高くなっている。
- “（５）友人が悪いことをした時、はっきり注意する”について、性別でみると、“友人が悪いことをした時、はっきり注意する”人は女性（49.7%）より男性（53.3%）のほうが3.6ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、“友人が悪いことをした時、はっきり注意する”人は30～39歳（45.8%）より15～29歳（56.8%）のほうが11.0ポイント高くなっている。

・ 性別・年齢別 （４）人間関係が嫌で職場や学校に行きたくないと思ったことがある



・ 性別・年齢別 （５）友人が悪いことをした時、はっきり注意する



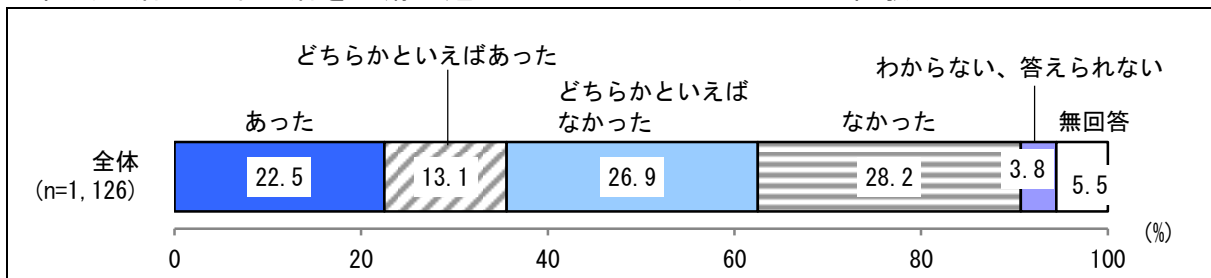
VI. 回答者自身について

1 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった経験

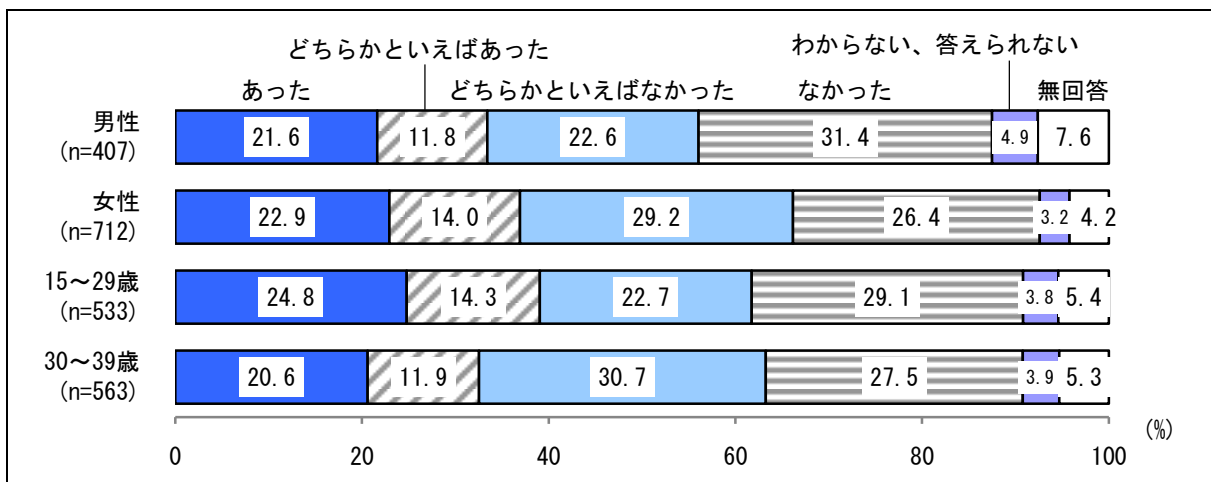
問20 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった経験がありましたか。（もっともあてはまる番号に○は1つ）

- 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった経験については、「なかった」が28.2%で最も多く、次いで「どちらかといえばなかった」が26.9%、「あった」が22.5%、となっている。「あった」と「どちらかといえばあった」をあわせて36.6%が『経験があった』と回答している。
- 性別でみると、『経験があった』は男性（33.4%）より女性（36.9%）のほうが3.5ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、『経験があった』は30～39歳（32.5%）より15～29歳（39.1%）のほうが6.6ポイント高くなっている。

・ 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった経験



・ 性別・年齢別 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった経験

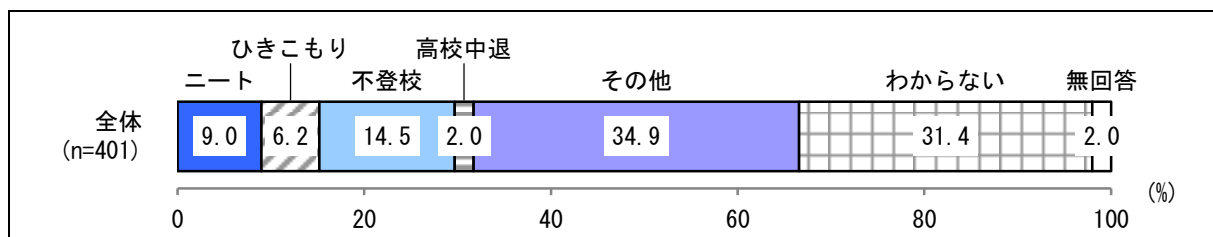


2 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった最大の原因

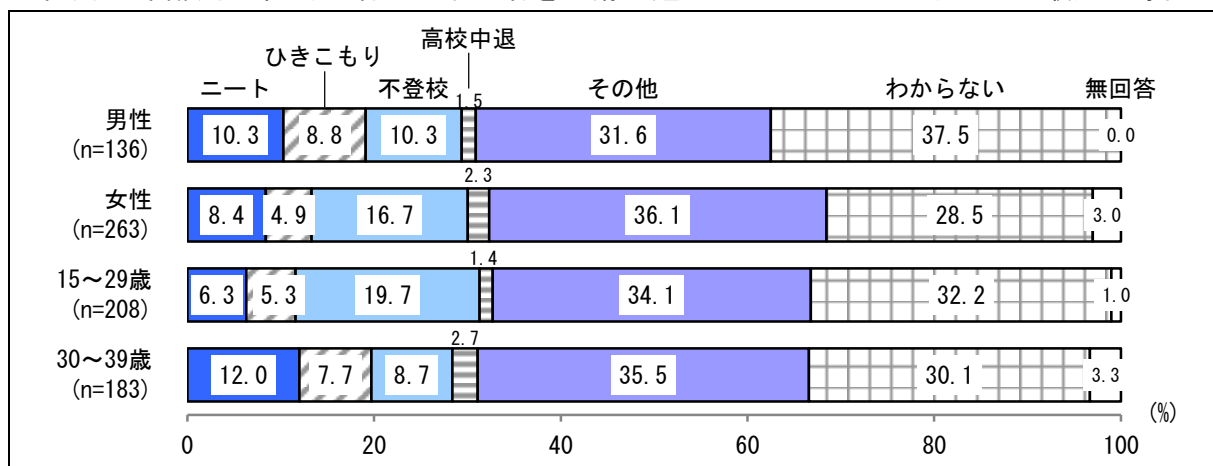
問20-1 問20で「1」または「2」を選んだ方におうかがいします。（社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった経験があると認識している場合）
 そのように思う上で一番大きな原因となっているのはどういう経験ですか。
 （○は1つ）

- 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった経験があったと回答した人に、その最大の原因についてたずねると、「不登校」が14.5%で最も多く、次いで「ニート」が9.0%、「ひきこもり」が6.2%となっている。また、「わからない」が31.4%を占めている。
- 性別でみると、「ニート」「ひきこもり」は女性より男性のほうが、「不登校」「高校中退」は女性のほうが割合が高くなっている。
- 年齢別でみると、「不登校」は30～39歳（8.7%）より15～29歳（19.7%）のほうが11.0ポイント高くなっている。

・ 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった最大の原因



・ 性別・年齢別 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった最大の原因



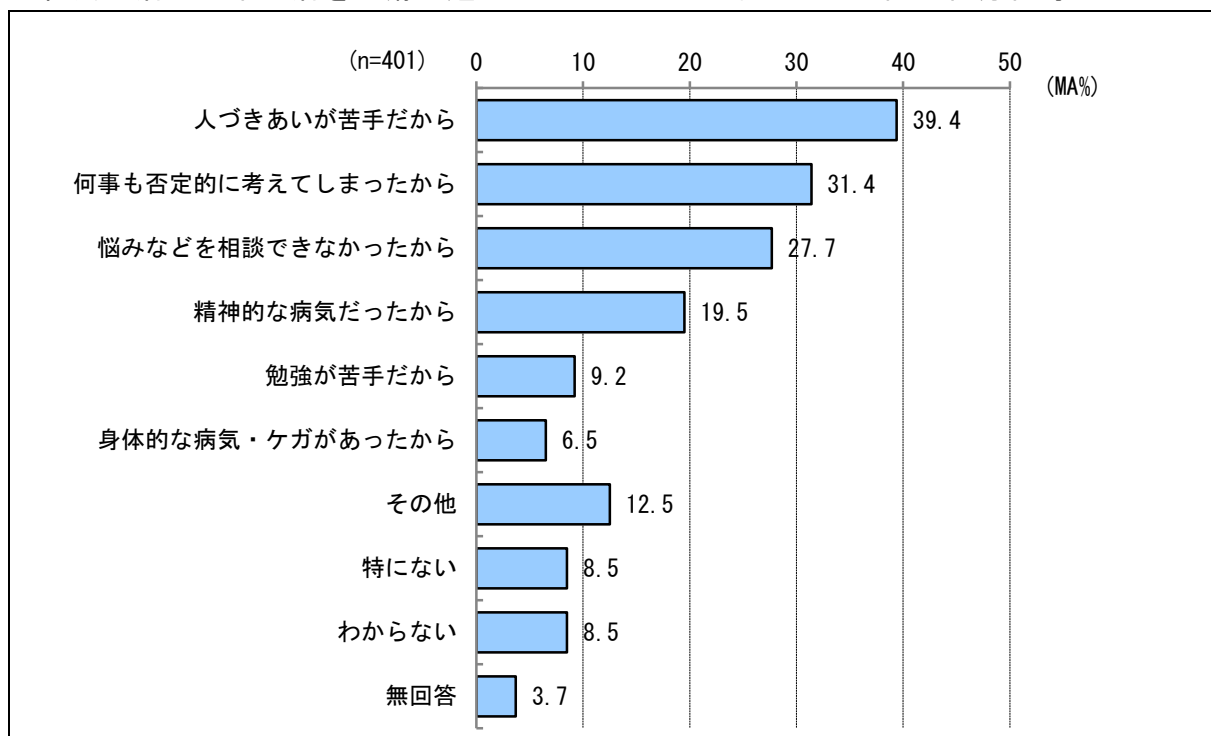
3 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった理由

問20-2 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった経験をした主な理由は何ですか。

(1) 自分自身に関すること

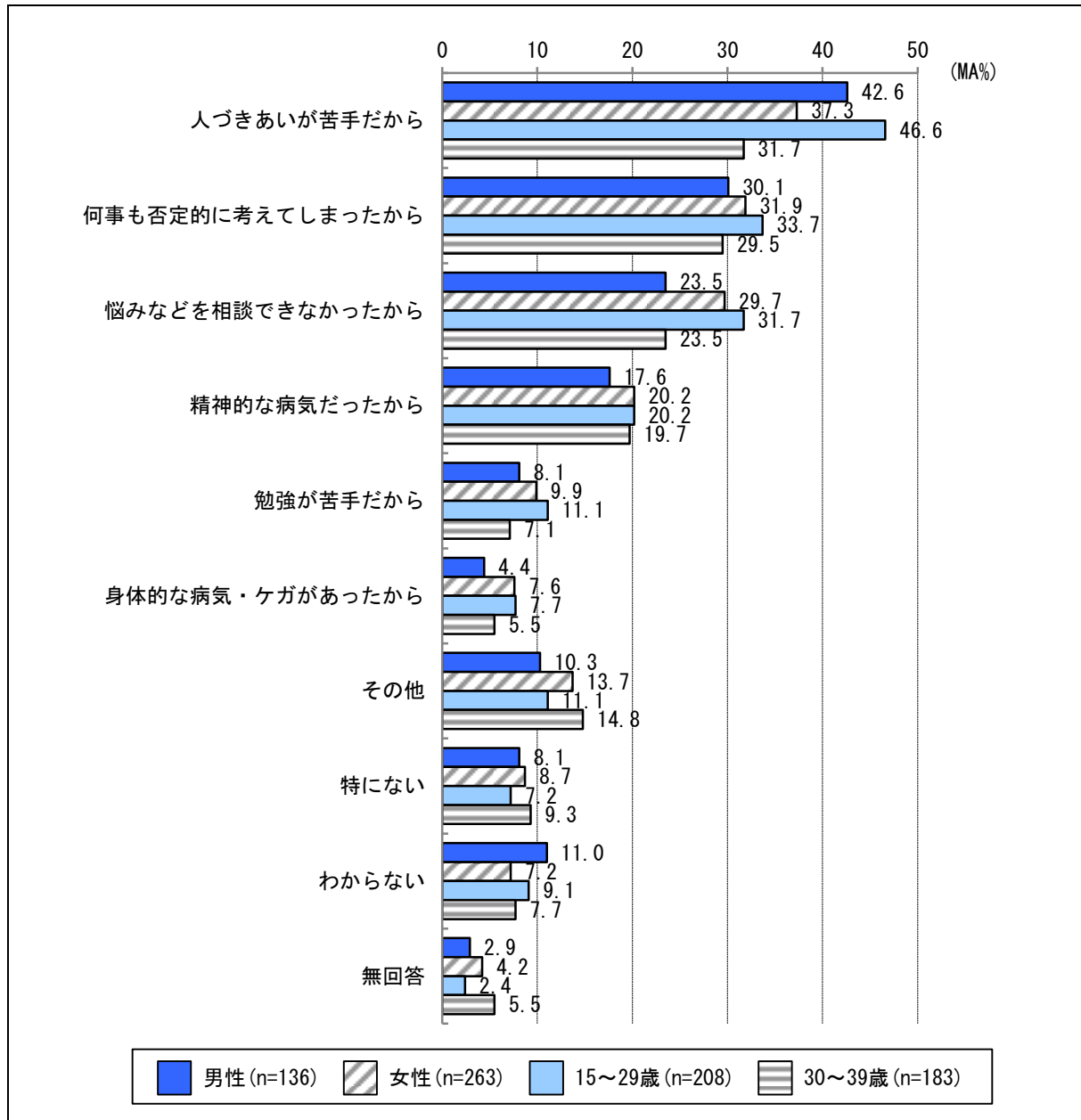
■ 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった経験があったと回答した人に、その理由をたずねると、自分自身に関することでは「人づきあいが苦手だから」が39.4%で最も多く、次いで「何事も否定的に考えてしまったから」が31.4%、「悩みなどを相談できなかったから」が27.7%となっている。

・ 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった理由＜自分自身＞



- 性別でみると、男女とも「人づきあいが苦手だから」が最も多く、女性（37.3%）より男性（42.6%）のほうが5.3ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「人づきあいが苦手だから」は30～39歳（31.7%）より15～29歳（46.6%）のほうが14.9ポイント高くなっている。

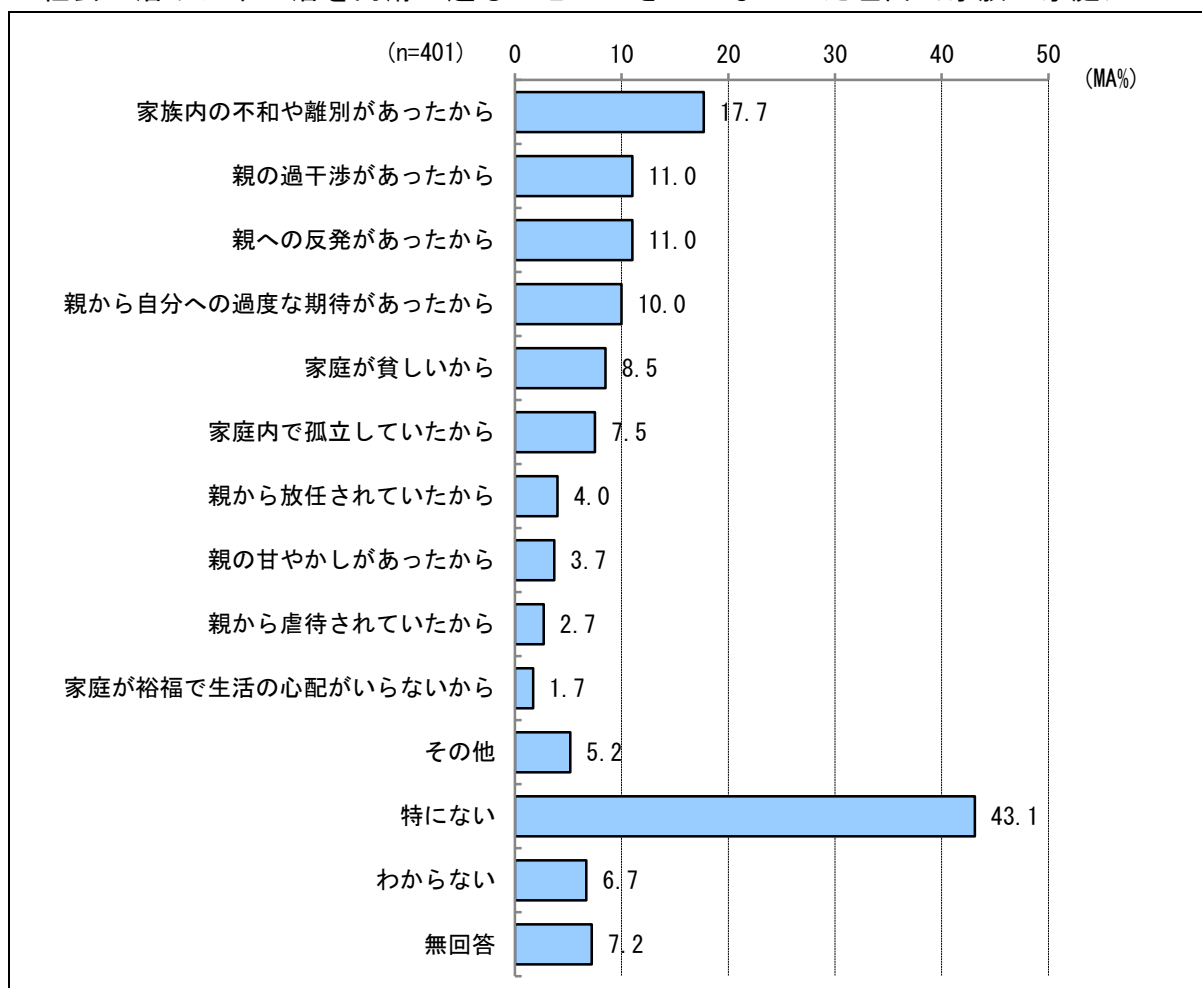
・性別・年齢別 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった理由
＜自分自身＞



(2) 家族・家庭に関すること

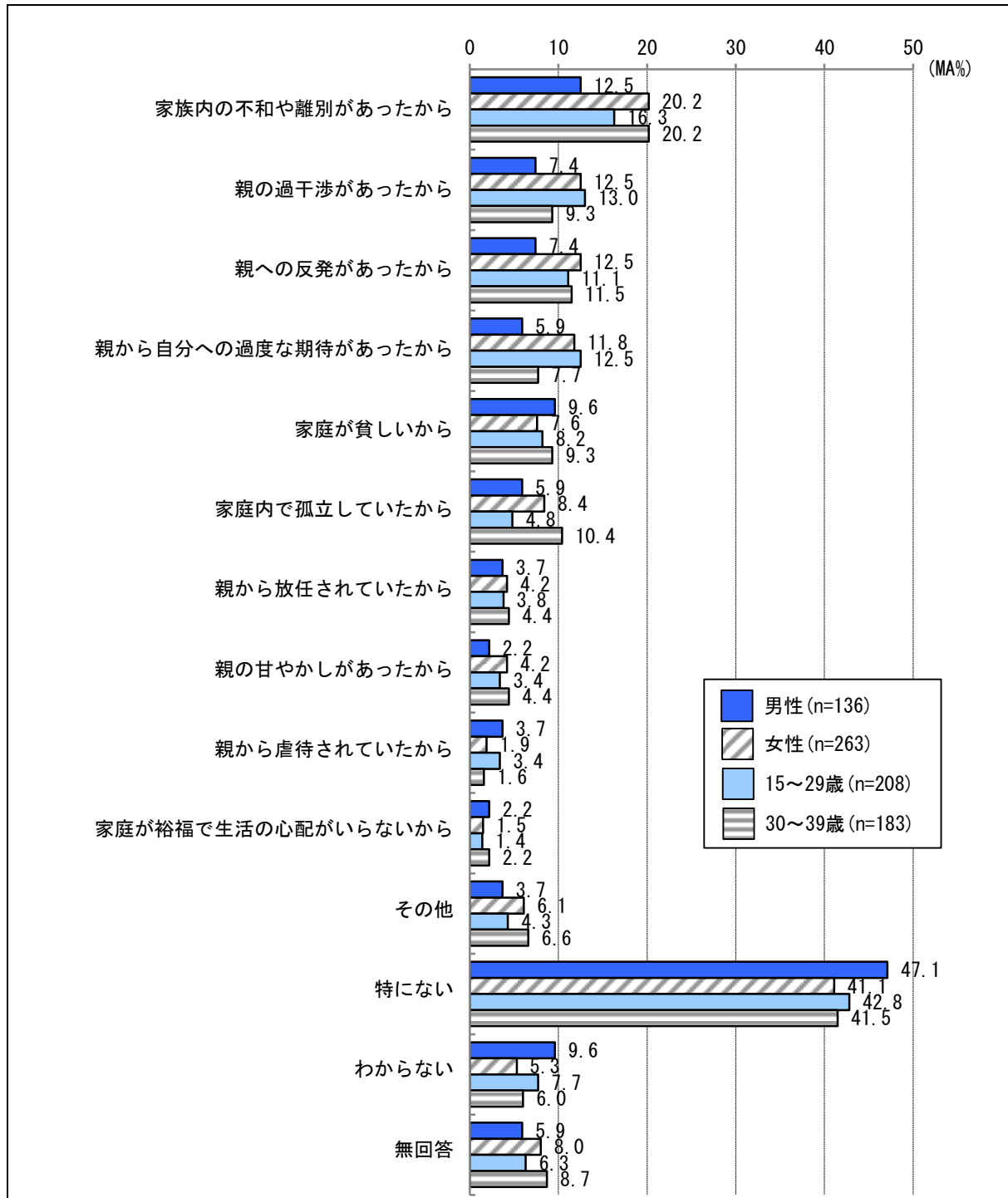
■ 家族・家庭に関することでは、「特にない」が43.1%で最も多いが、理由のある人では「家族内の不和や離別があったから」が17.7%で最も多く、次いで「親の過干渉があったから」、「親への反発があったから」がともに11.0%となっている。

・ 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった理由＜家族・家庭＞



- 性別でみると、「家族内の不和や離別があったから」は男性(12.5%)より女性(20.2%)のほうが7.7ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「家庭内で孤立していたから」は15～29歳(4.8%)より30～39歳(10.4%)のほうが5.6ポイント高くなっている。

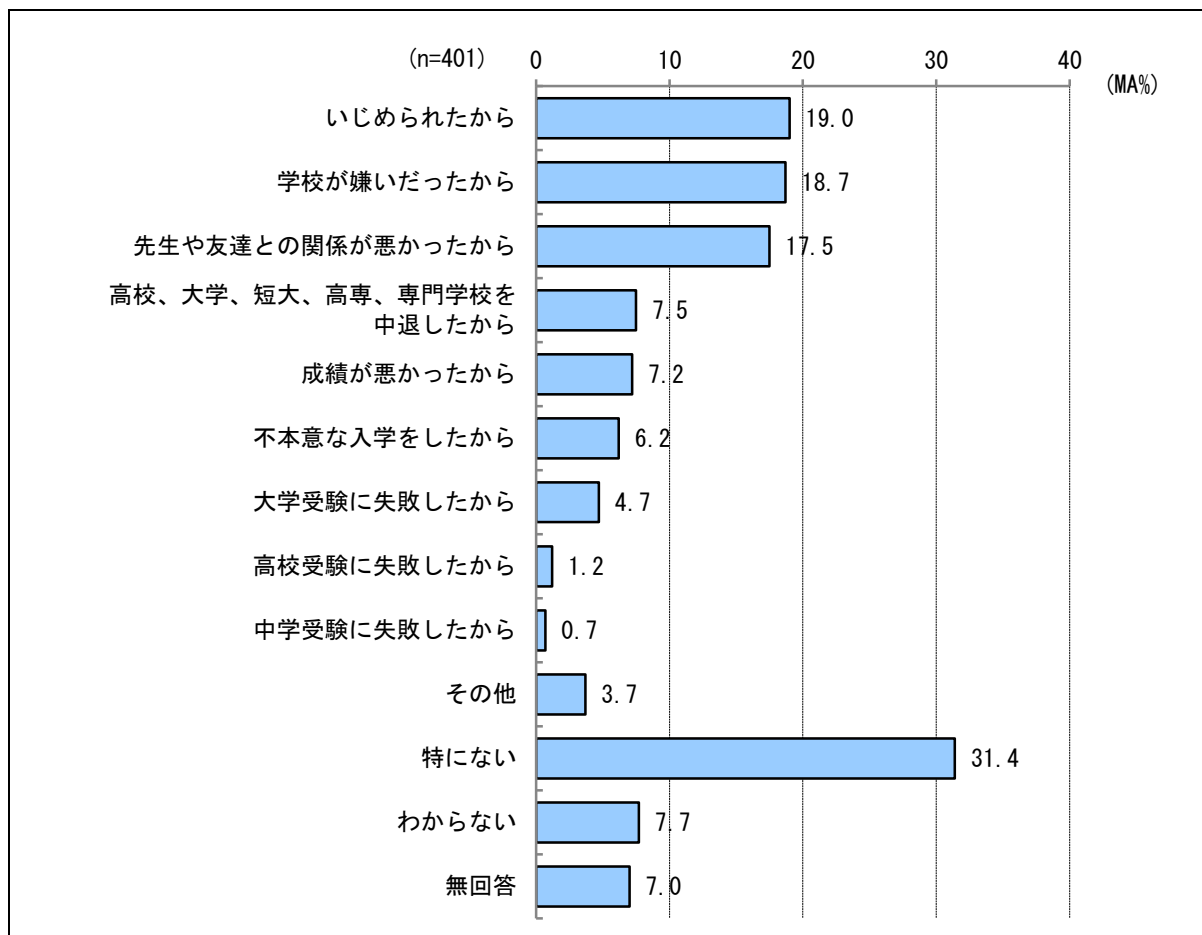
・性別・年齢別 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった理由
 <家族・家庭>



(3) 学校に関すること

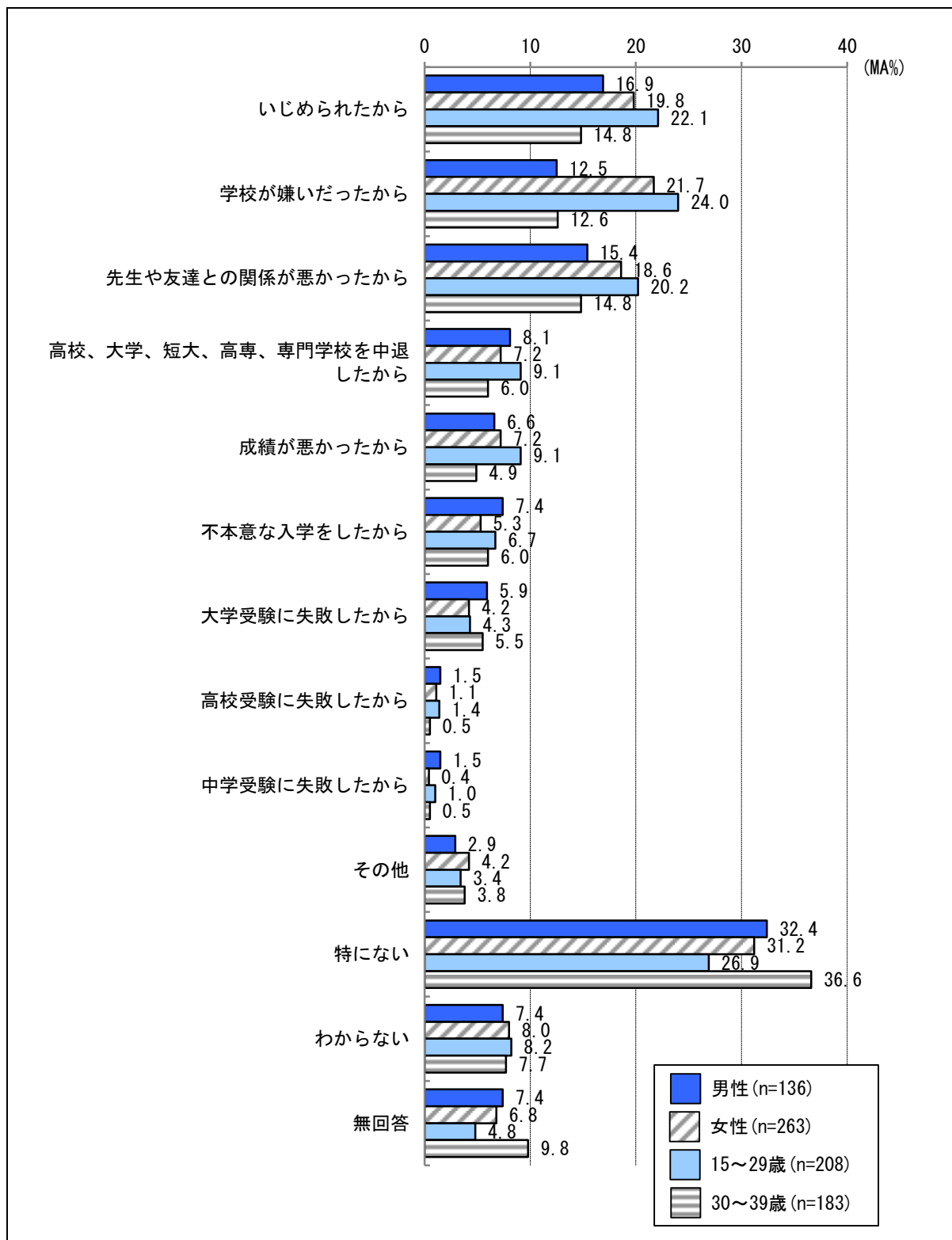
■学校に関することでは、「特にない」が31.4%で最も多いが、理由のある人では「いじめられたから」が19.0%で最も多く、次いで「学校が嫌いだったから」が18.7%、「先生や友達との関係が悪かったから」が17.5%となっている。

・社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった理由<学校>



- 性別でみると、「学校が嫌いだったから」は男性（12.5%）より女性（21.7%）のほうが9.2ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「いじめられたから」は30～39歳（14.8%）より15～29歳（22.1%）のほうが7.3ポイント、「学校が嫌いだったから」は30～39歳（12.6%）より15～29歳（24.0%）のほうが11.4ポイント高くなっている。

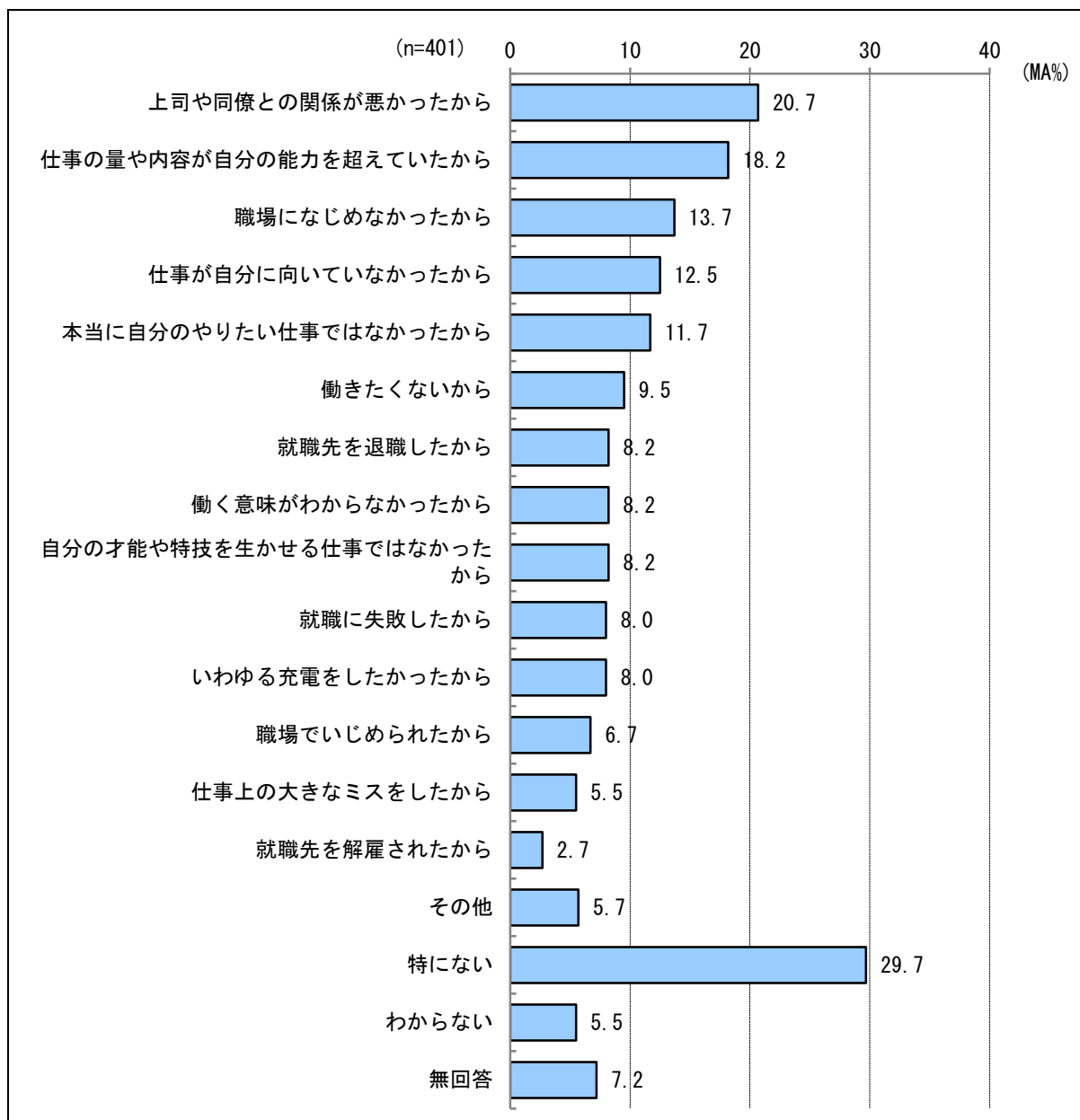
・性別・年齢別 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった理由
＜学校＞



(4) 仕事に関すること

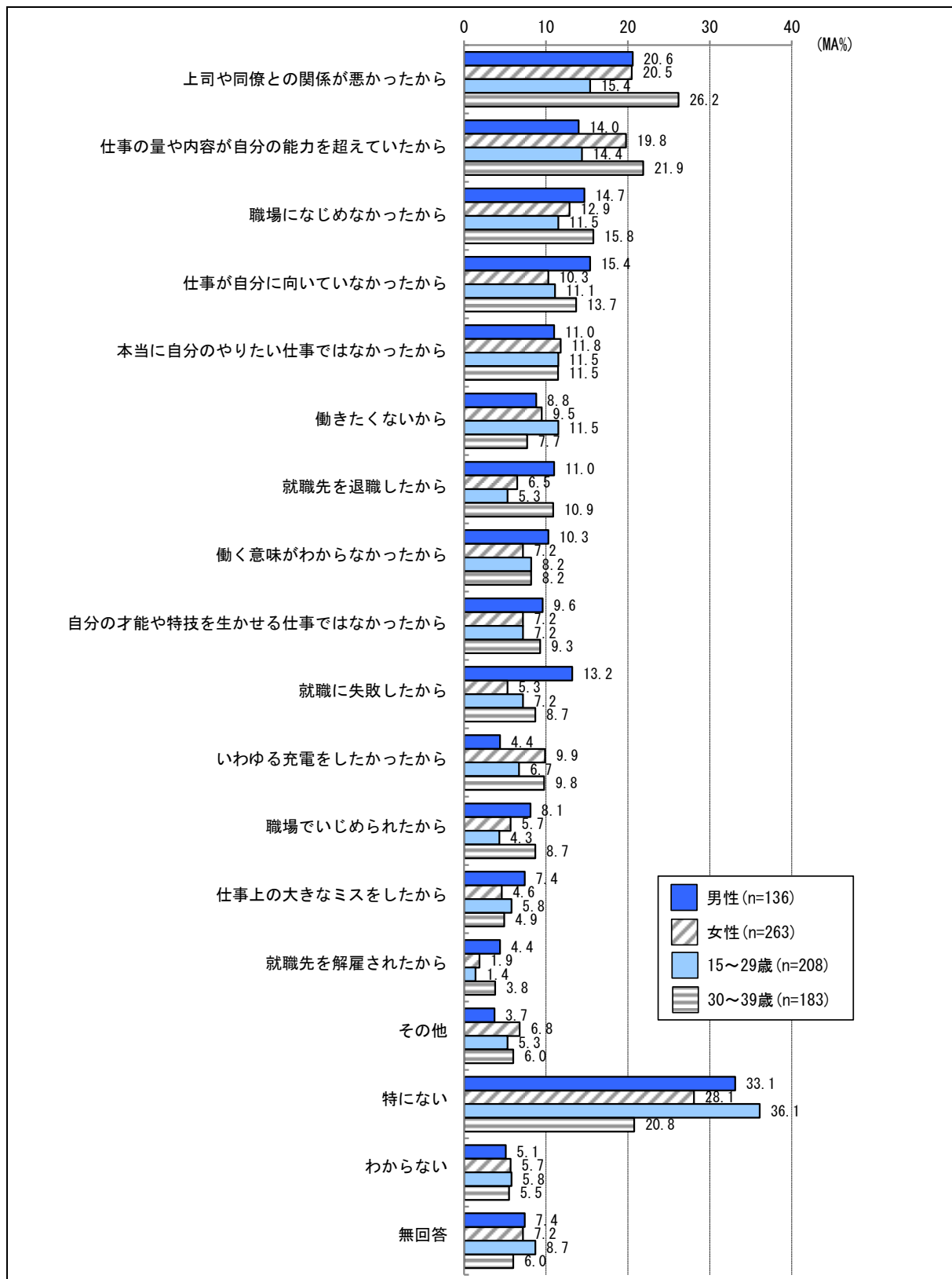
■仕事に関することでは、「特にない」が29.7%で最も多いが、理由のある人では「上司や同僚との関係が悪かったから」が20.7%で最も多く、次いで「仕事の量や内容が自分の能力を超えていたから」が18.2%、「職場になじめなかったから」が13.7%となっている。

・社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった理由<仕事>



- 性別でみると、男性は「上司や同僚との関係が悪かったから」(20.6%)が最も多く、次いで「仕事が自分に向いていなかったから」(15.4%)となっている。女性は、「上司や同僚との関係が悪かったから」(20.5%)が最も多く、次いで「仕事の量や内容が自分の能力を超えていたから」(19.8%)となっている。
- 年齢別でみると、「上司や同僚との関係が悪かったから」は15～29歳(15.4%)より30～39歳(26.2%)のほうが10.8ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった理由<仕事>

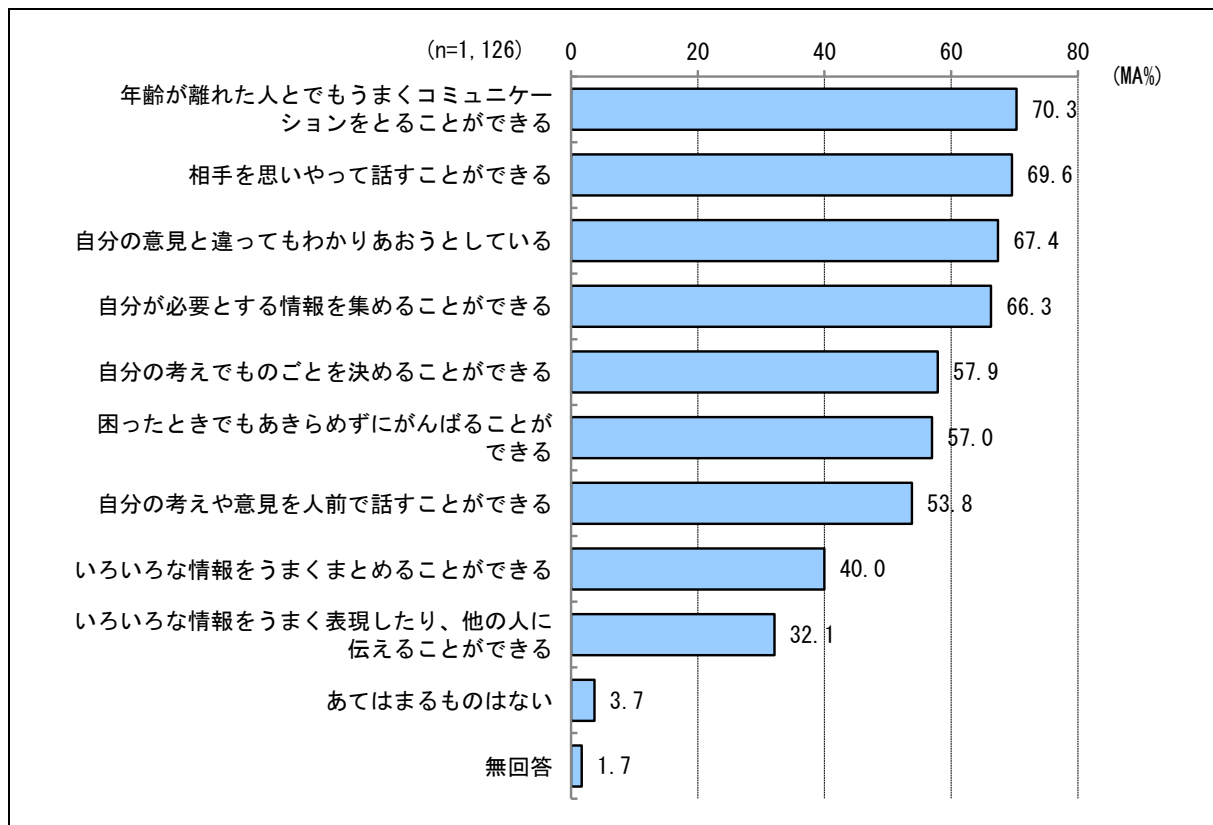


4 自身のコミュニケーションについて

問21 次の中から、あなた自身にあてはまるものをお答えください。(〇はいくつでも)

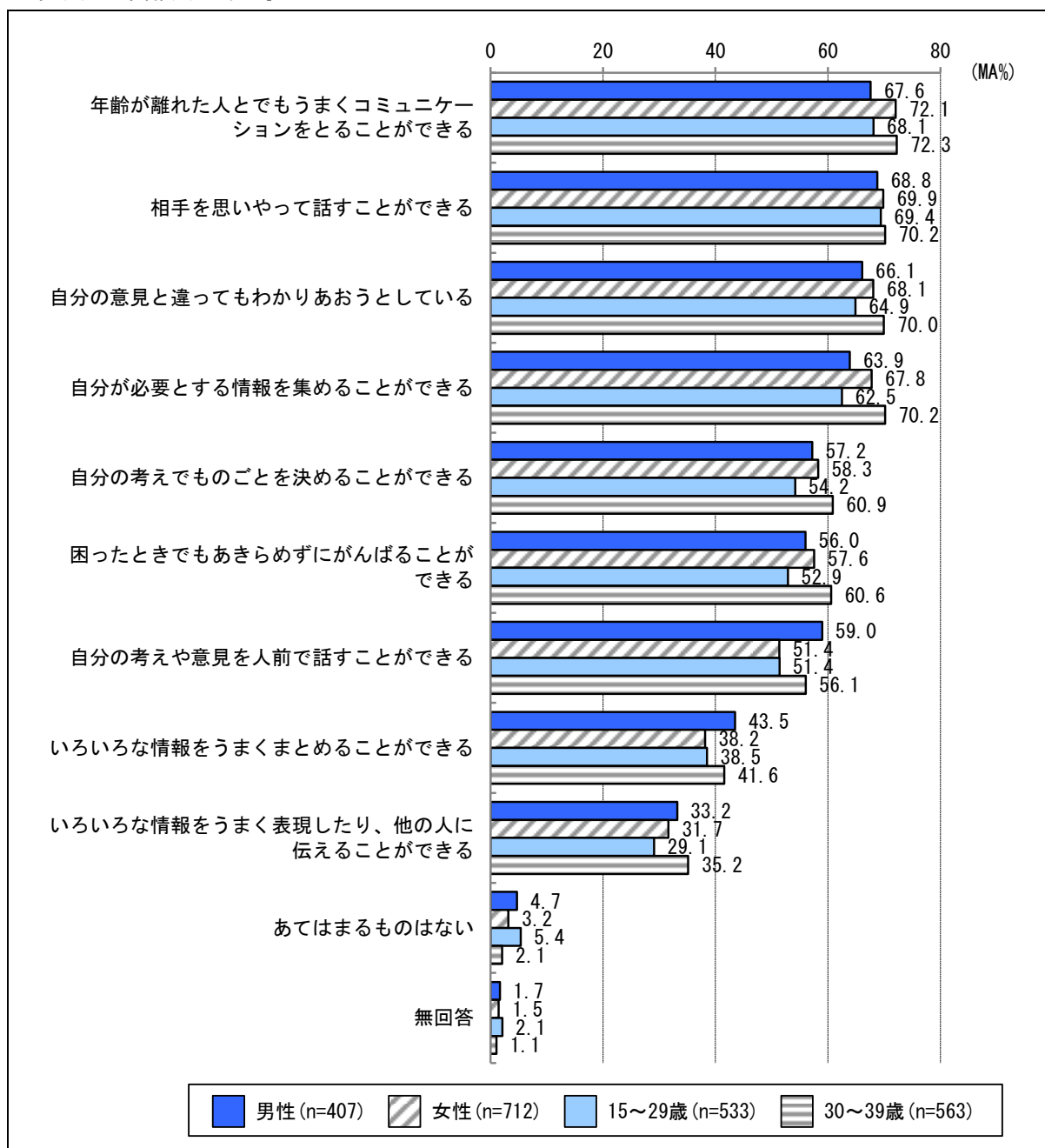
- 自身のコミュニケーションについては、「年齢が離れた人とでもうまくコミュニケーションをとることができる」が70.3%で最も多く、次いで「相手を思いやって話すことができる」が69.6%、「自分の意見と違ってわかりあおうとしている」が67.4%、「自分が必要とする情報を集めることができる」が66.3%となっている。

・自身のコミュニケーションについて



- 性別でみると、男性は「相手を思いやって話すことができる」(68.8%)が最も多く、次いで「年齢が離れた人とでもうまくコミュニケーションをとることができる」(67.6%)となっている。女性は、「年齢が離れた人とでもうまくコミュニケーションをとることができる」(72.1%)が最も多く、次いで、「相手を思いやって話すことができる」(69.9%)となっている。
- 性別でみると、15～29歳は「相手を思いやって話すことができる」(69.4%)が最も多く、次いで「年齢が離れた人とでもうまくコミュニケーションをとることができる」(68.1%)となっている。女性は、「年齢が離れた人とでもうまくコミュニケーションをとることができる」(72.3%)が最も多く、次いで、「相手を思いやって話すことができる」(70.2%)となっている。

・性別・年齢別 自身のコミュニケーションについて

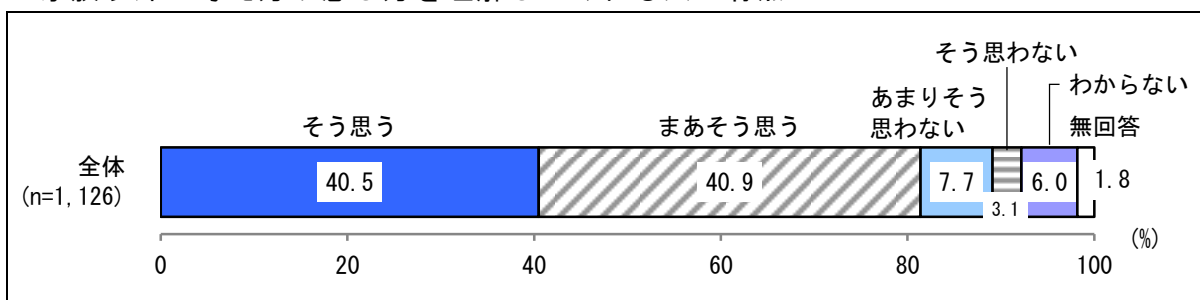


5 家族以外で考え方や感じ方を理解してくれる人の有無

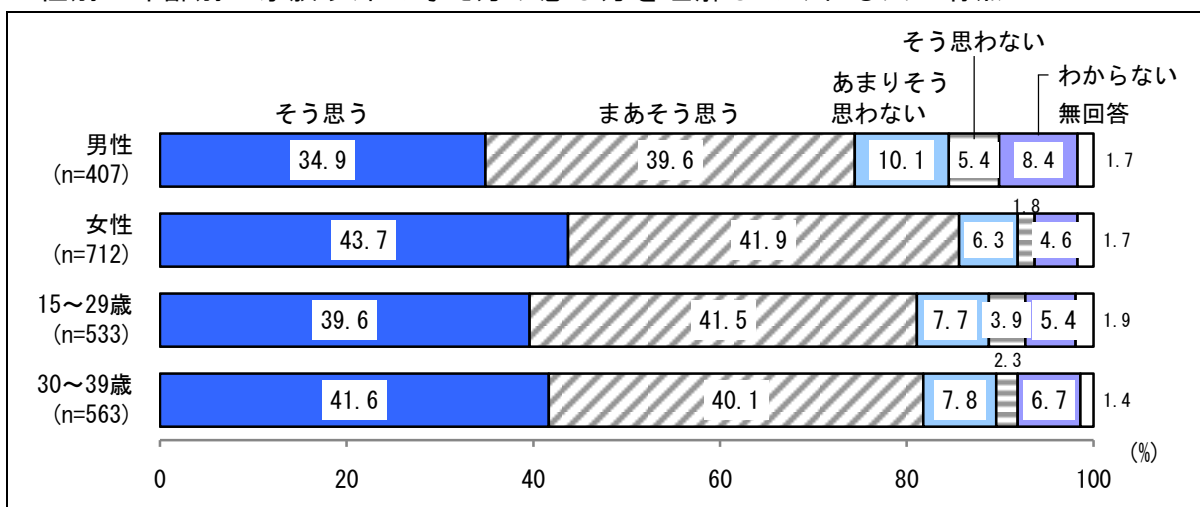
問22 あなたは、あなたの家族以外の人で、何人かの人があるあなたの考え方や感じていることをわかってくれていると思いますか。（○は1つ）

- 家族以外で考え方や感じ方を理解してくれる人の有無については、「まあそう思う」が40.9%で最も多く、次いで「そう思う」が40.5%で、両者をあわせた81.4%が考え方や感じていることをわかってくれていると思っている。
- 性別でみると、「そう思う」と「まあそう思う」をあわせた割合は男性（74.5%）より女性（85.6%）のほうが11.1ポイント高くなっている。
- 年齢別でみても、大きな差はみられない。

・ 家族以外で考え方や感じ方を理解してくれる人の有無



・ 性別・年齢別 家族以外で考え方や感じ方を理解してくれる人の有無

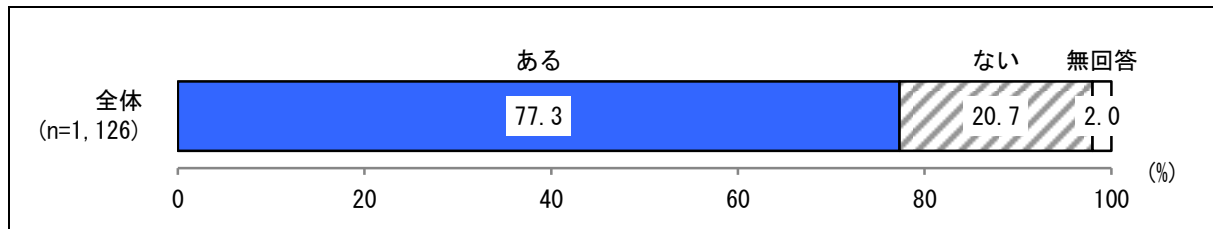


6 悩みや心配ごとの有無

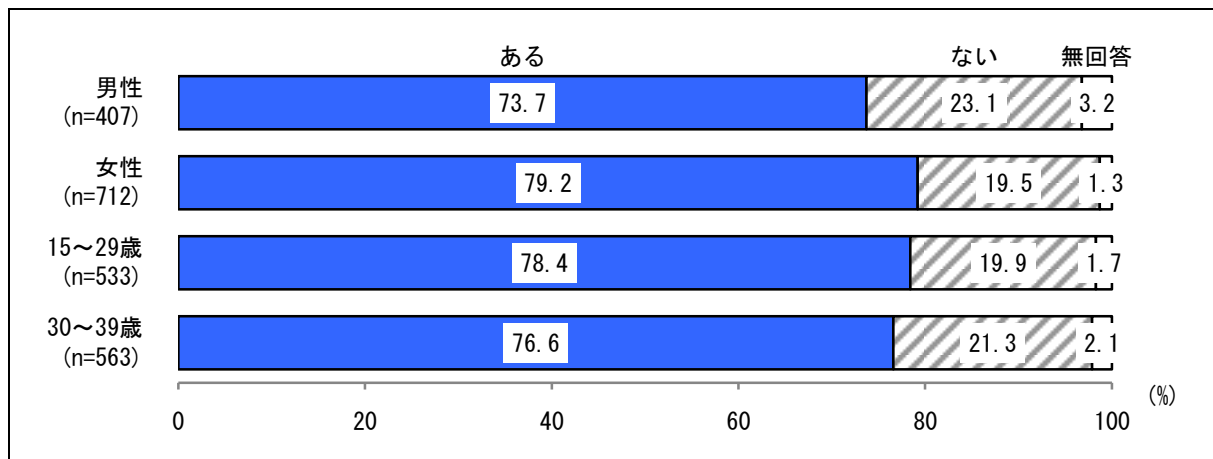
問23 現在、あなたは悩みや心配ごとがありますか。（○は1つ）

- 悩みや心配ごとの有無については、「ある」が77.3%、「ない」が20.7%となっている。
- 性別でみると、「ある」は男性（73.7%）より女性（79.2%）のほうが5.5ポイント高くなっている。
- 年齢別でみても、大きな差はみられない。

・ 悩みや心配ごとの有無



・ 性別・年齢別 悩みや心配ごとの有無



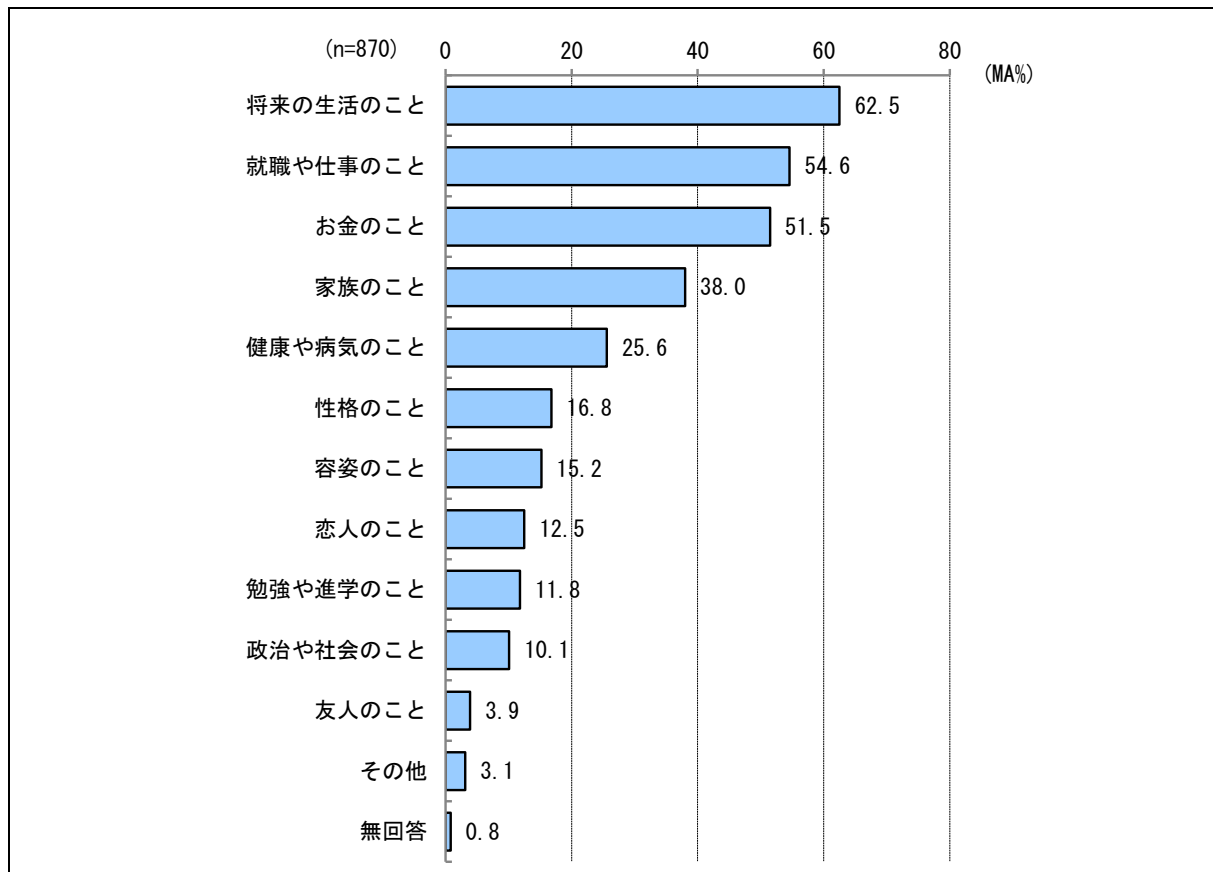
7 悩みや心配ごとの内容

問23-1 問23で「1. ある」を選んだ方におうかがいします。

さしつかえなければ、あなたの悩みや心配ごとをお答えください。(〇はいくつでも)

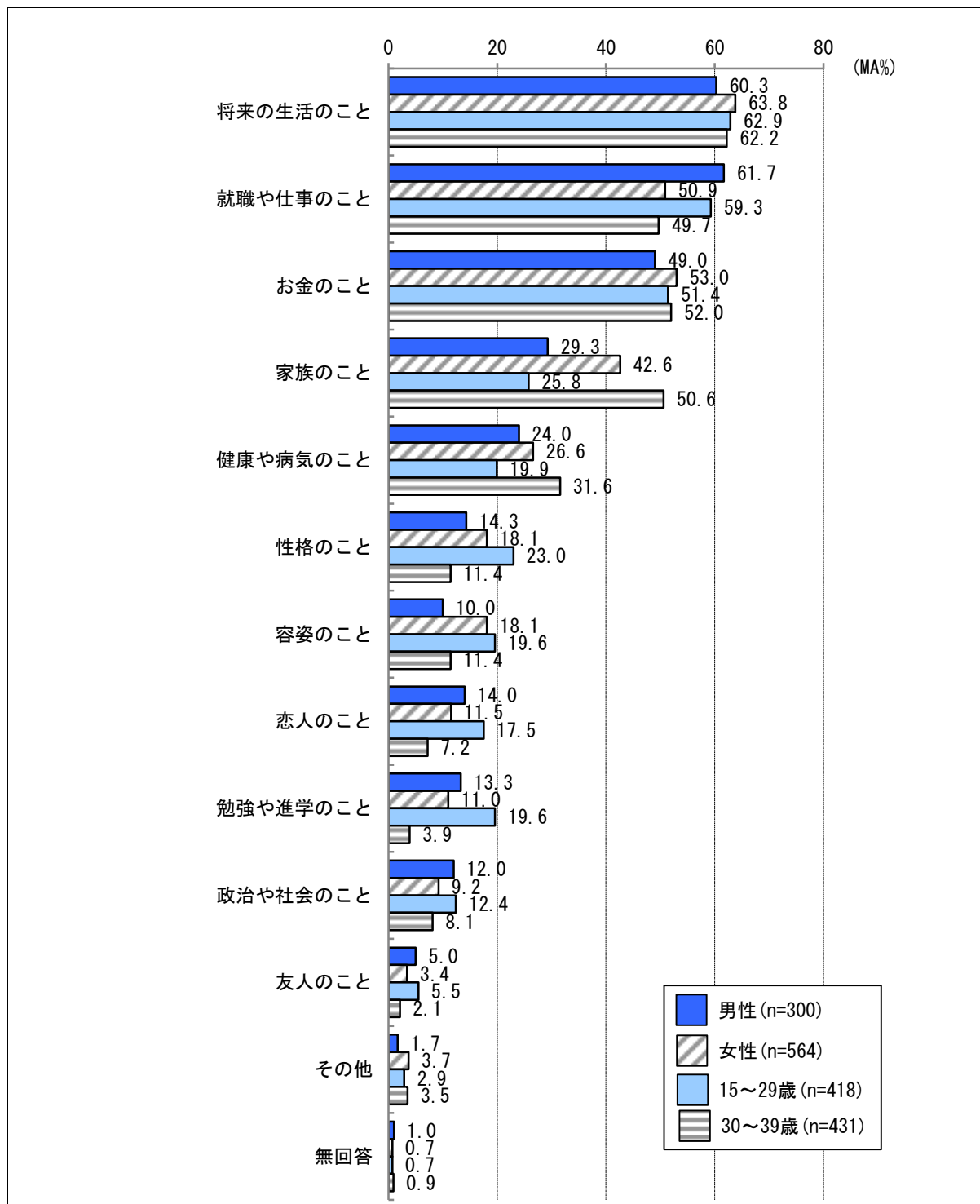
■ 悩みや心配ごとがあると回答した人に、その内容をたずねると、「将来の生活のこと」が62.5%で最も多く、次いで「就職や仕事のこと」が54.6%、「お金のこと」が51.5%となっている。

・ 悩みや心配ごとの内容



- 性別でみると、男性は「就職や仕事のこと」(61.7%) が最も多く、次いで「将来の生活のこと」が60.3%となっている。女性は「将来の生活のこと」(63.8%) が最も多く、次いで「お金のこと」(53.0%) となっている。
- 年齢別でみると、「家族のこと」は15～29歳 (25.8%) より30～39歳 (50.6%) のほうが24.8ポイント高く、「勉強や進学のこと」は30～39歳 (3.9%) より15～29歳 (19.6%) のほうが15.7ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 悩みや心配ごとの内容

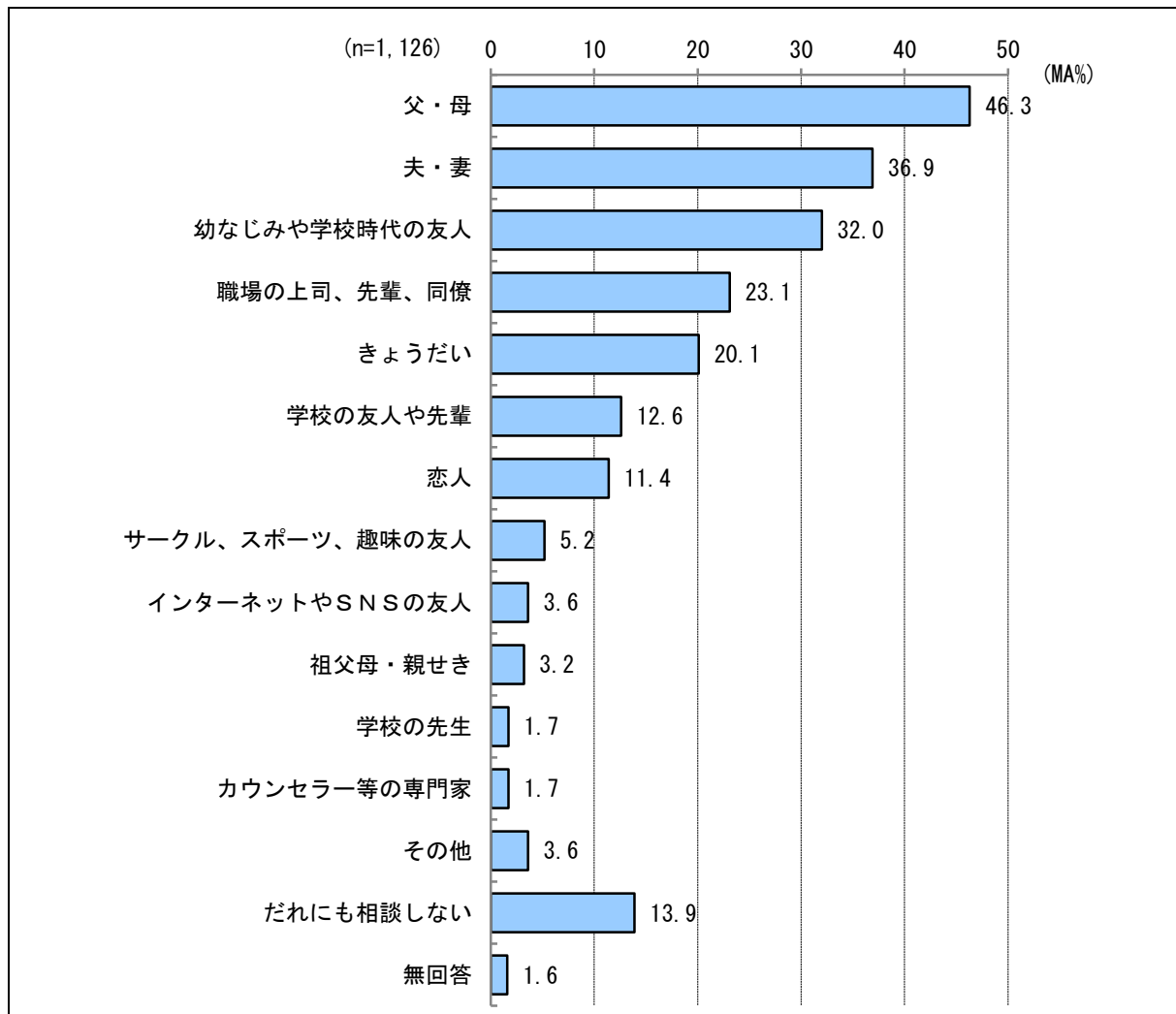


8 悩みや心配ごとの相談相手

問24 あなたは、悩みや心配ごとがあった場合、だれに相談しますか。（〇はいくつでも）

■ 悩みや心配ごとの相談相手については、「父・母」が46.3%で最も多く、次いで「夫・妻」が36.9%、「幼なじみや学校時代の友人」が32.0%となっている。

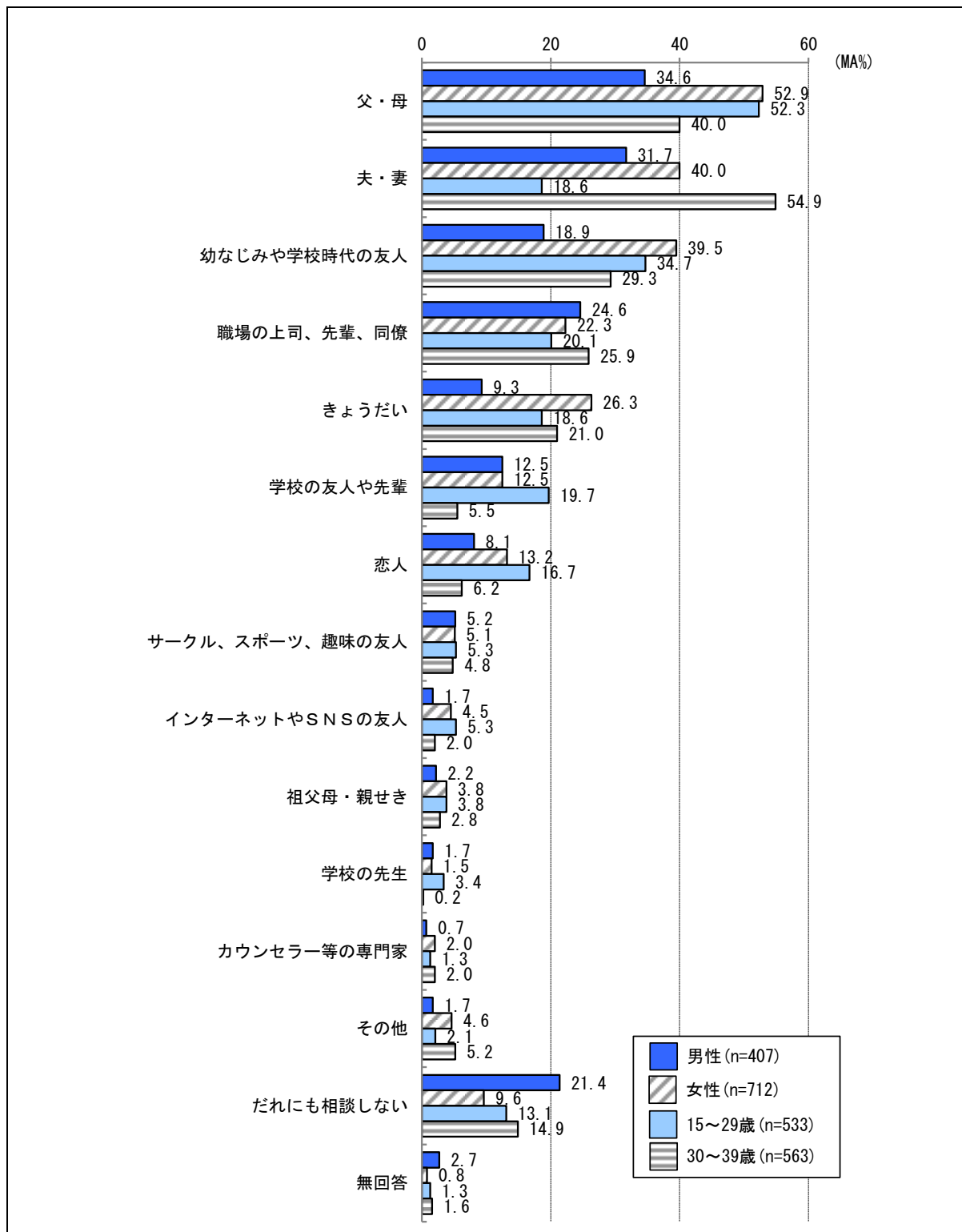
・ 悩みや心配ごとの相談相手



■性別でみると、男女とも「父・母」が最も多く、次いで「夫・妻」、「幼なじみや学校時代の友人」となっており、上位3項目はいずれも女性のほうが割合が高くなっている。

■年齢別でみると、15～29歳は「父・母」(52.3%)が最も多く、次いで「幼なじみや学校時代の友人」(34.7%)となっているが、30～39歳は「夫・妻」(54.9%)が最も多く、次いで「父・母」(40.0%)となっている。

・性別・年齢別 悩みや心配ごとの相談相手

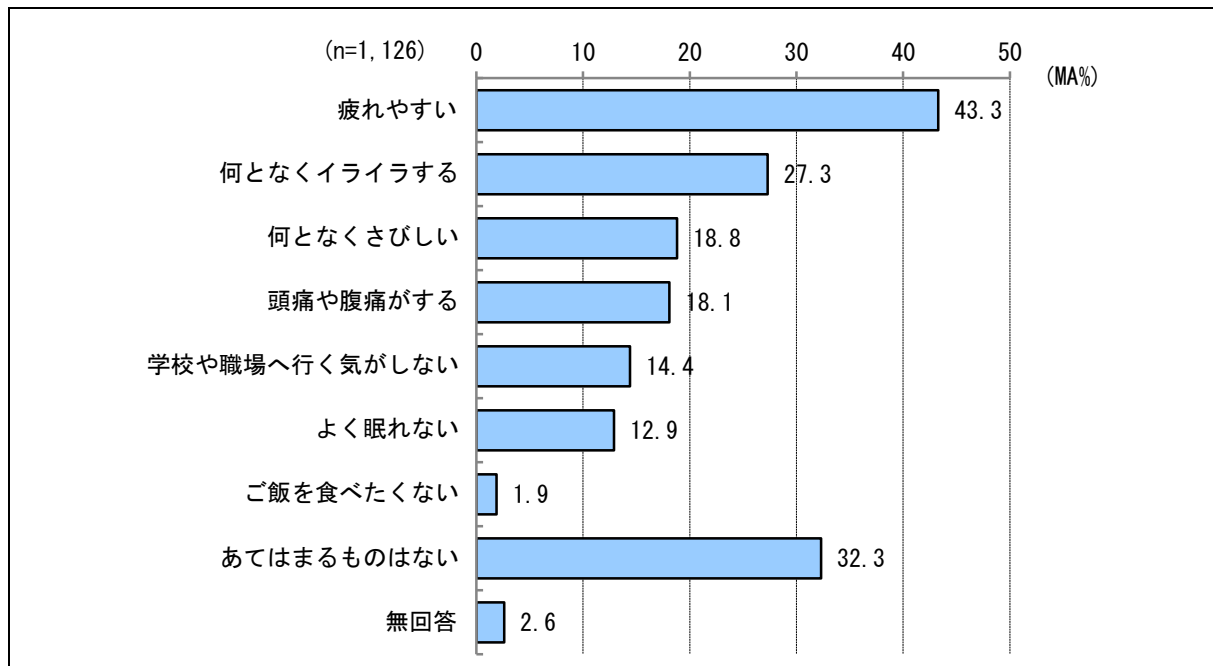


9 ふだんのからだや気持ち

問25 あなたのからだや気持ちのことがおかしいです。ふだん次のようなことがよくありますか。（○はいくつでも）

■ふだんのからだや気持ちについては、「疲れやすい」が43.3%で最も多く、次いで「何となくイライラする」が27.3%、「何となくさびしい」が18.8%となっている。また、「あてはまるものはない」は32.3%を占めている。

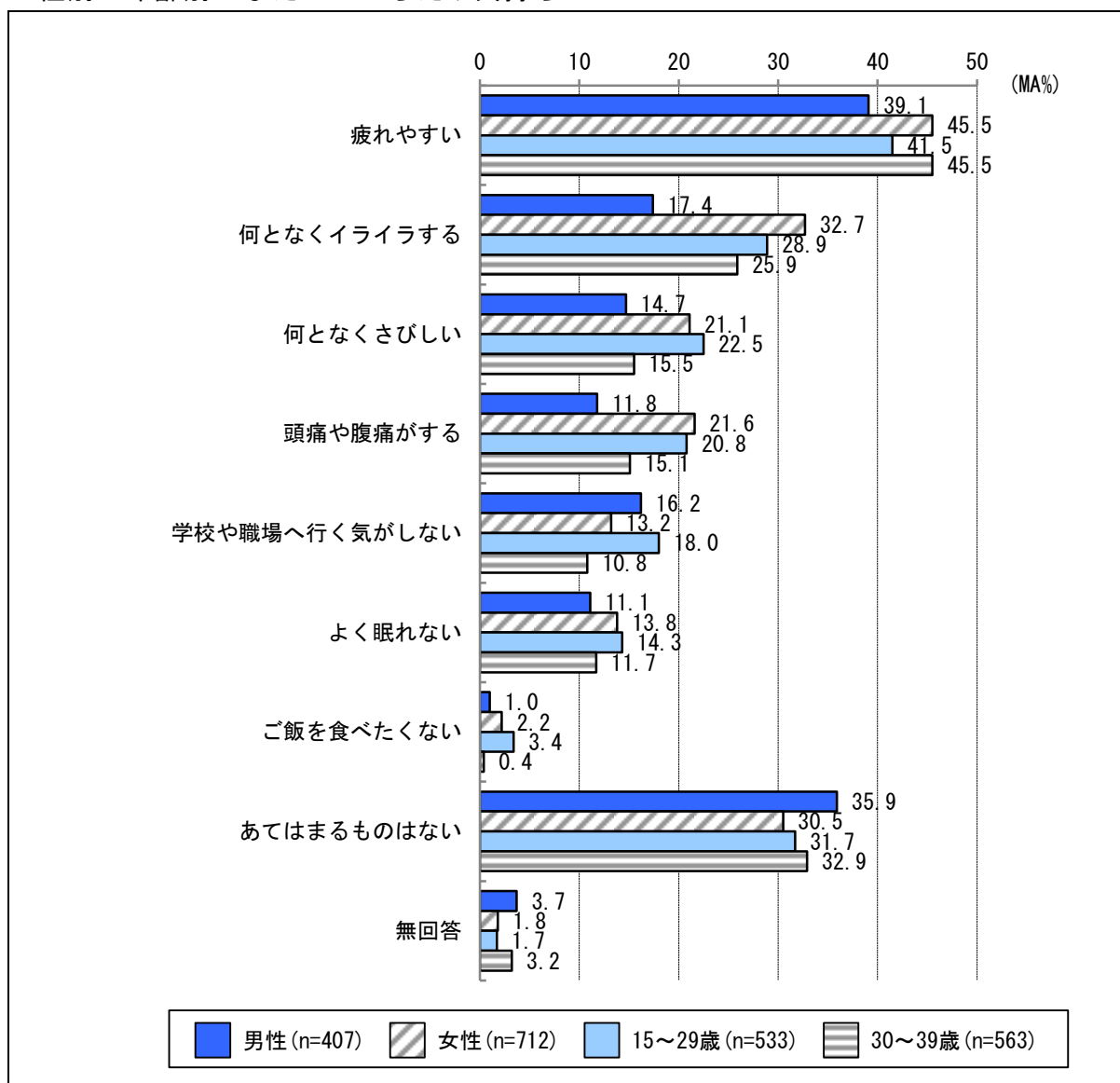
・ふだんのからだや気持ち



■性別でみると、「何となくイライラする」は男性（17.4%）より女性（32.7%）のほうが15.3ポイント高くなっている。

■年齢別でみると、「何となくさびしい」は30～39歳（15.5%）より15～29歳（22.5%）のほうが7.0ポイント、「学校や職場へ行く気がしない」は30～39歳（10.8%）より15～29歳（18.0%）のほうが7.2ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 ふだんのからだや気持ち

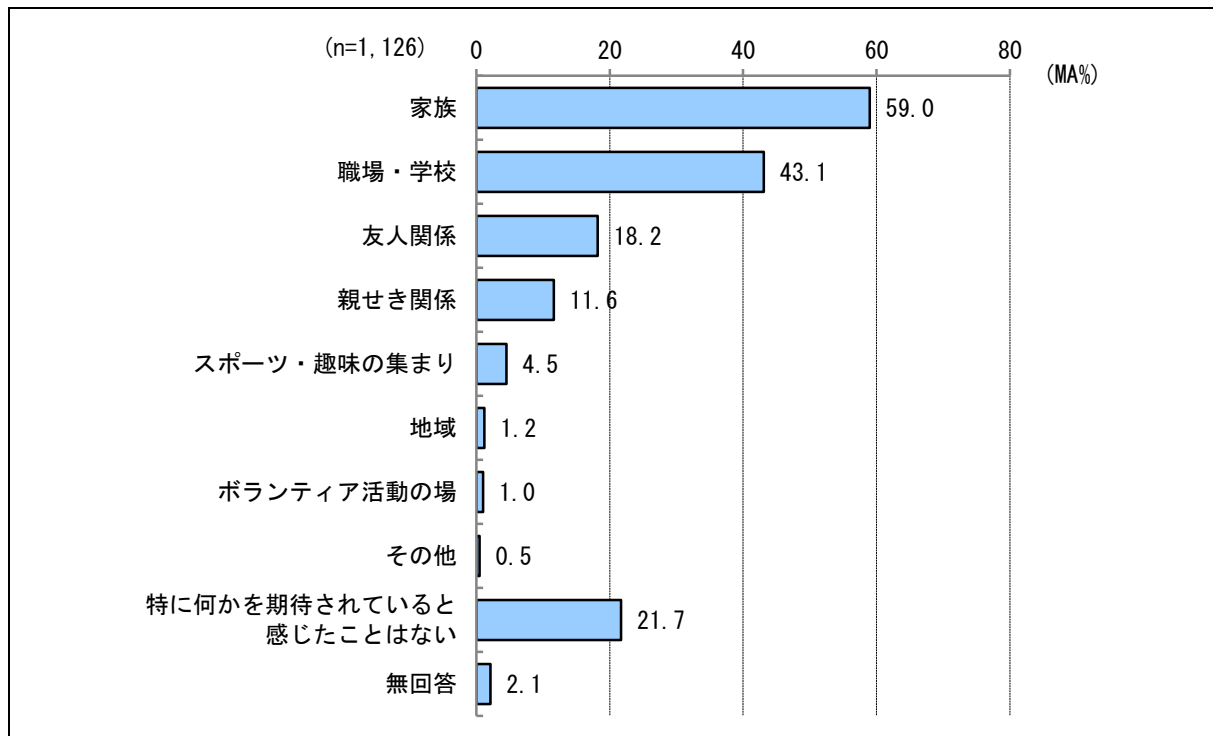


10 役割について期待されていると感じる人

問26 あなたは、周りのどんな人からあなたの役割について期待されていると感じますか。（〇はいくつでも）

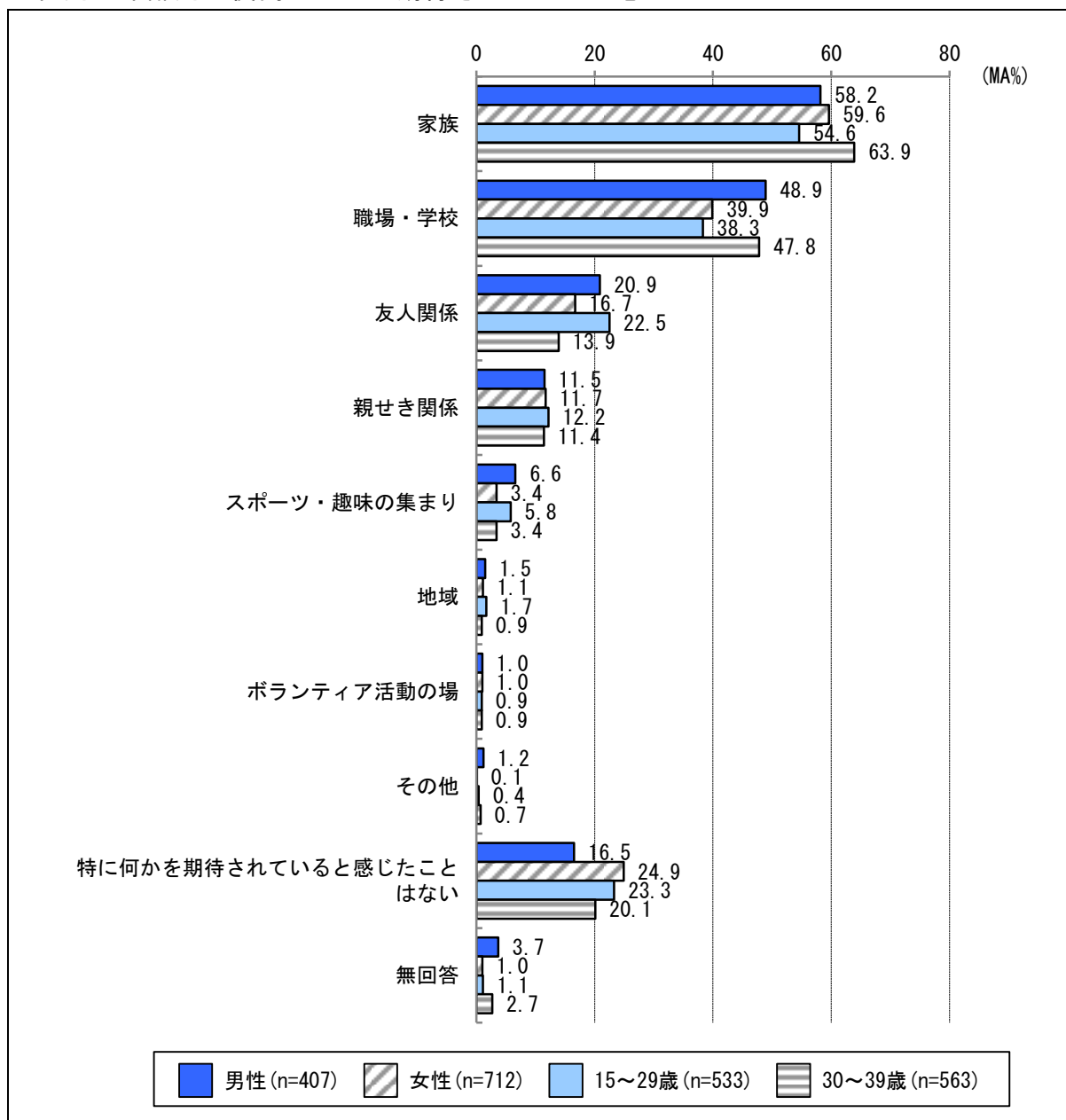
■役割について期待されていると感じる人については、「家族」が59.0%で最も多く、次いで「職場・学校」が43.1%、「友人関係」が18.2%となっている。

・役割について期待されていると感じる人



- 性別でみると、「職場・学校」は女性（39.9%）より男性（48.9%）のほうが9.0ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「職場・学校」は15～29歳（38.3%）より30～39歳（47.8%）のほうが9.5ポイント高く、「友人関係」は30～39歳（13.9%）より15～29歳（22.5%）のほうが8.6ポイントなっている。

・性別・年齢別 役割について期待されていると感じる人

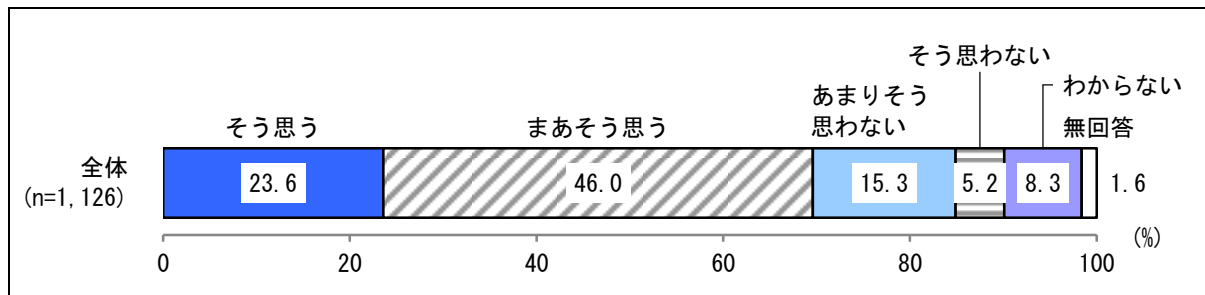


11 社会や地域の人のために役に立ちたいと思うか

問27 あなたは社会や地域の人のために役に立ちたいと思いますか。（○は1つ）

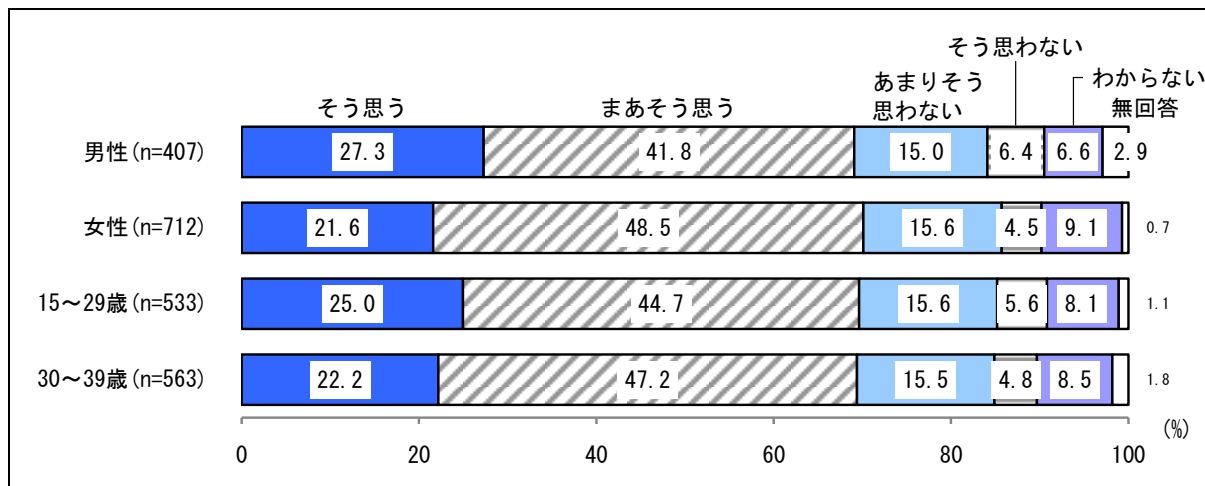
■ 社会や地域の人のために役に立ちたいと思うかについては、「まあそう思う」が46.0%で最も多く、次いで「そう思う」が23.6%で、両者をあわせた69.6%が社会や地域の人のために役に立ちたいと考えている。

・ 社会や地域の人のために役に立ちたいと思うか



■ 「そう思う」と「まあそう思う」をあわせた割合は、性別でみても、年齢別でみても大きな差はみられない。

・ 性別・年齢別 社会や地域の人のために役に立ちたいと思うか



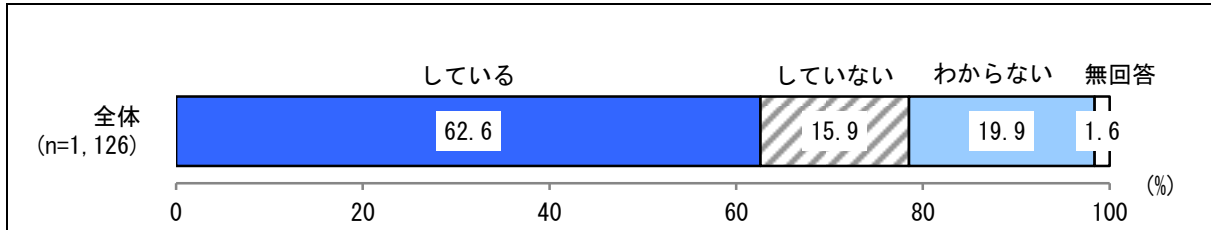
VII. 生き方や人生観について

1 大人になったとの自覚

問28 あなた自身は「大人になった」と自覚していますか。（○は1つ）

■大人になったとの自覚については、「している」が62.6%、「していない」が15.9%となっている。

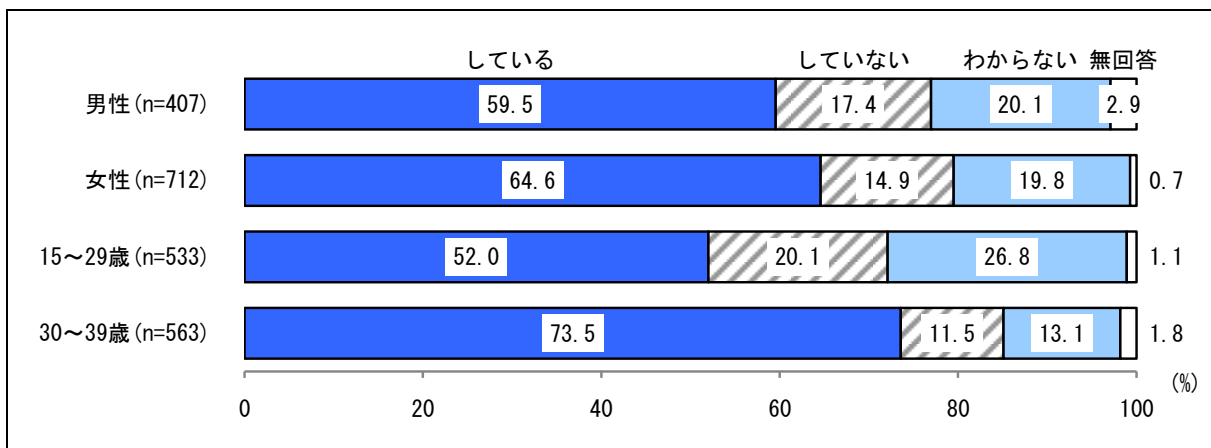
・大人になったとの自覚



■性別でみると、「している」は男性（59.5%）より女性（64.6%）のほうが5.1ポイント高くなっている。

■年齢別でみると、「している」は15～29歳（52.0%）より30～39歳（73.5%）のほうが21.5ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 大人になったとの自覚

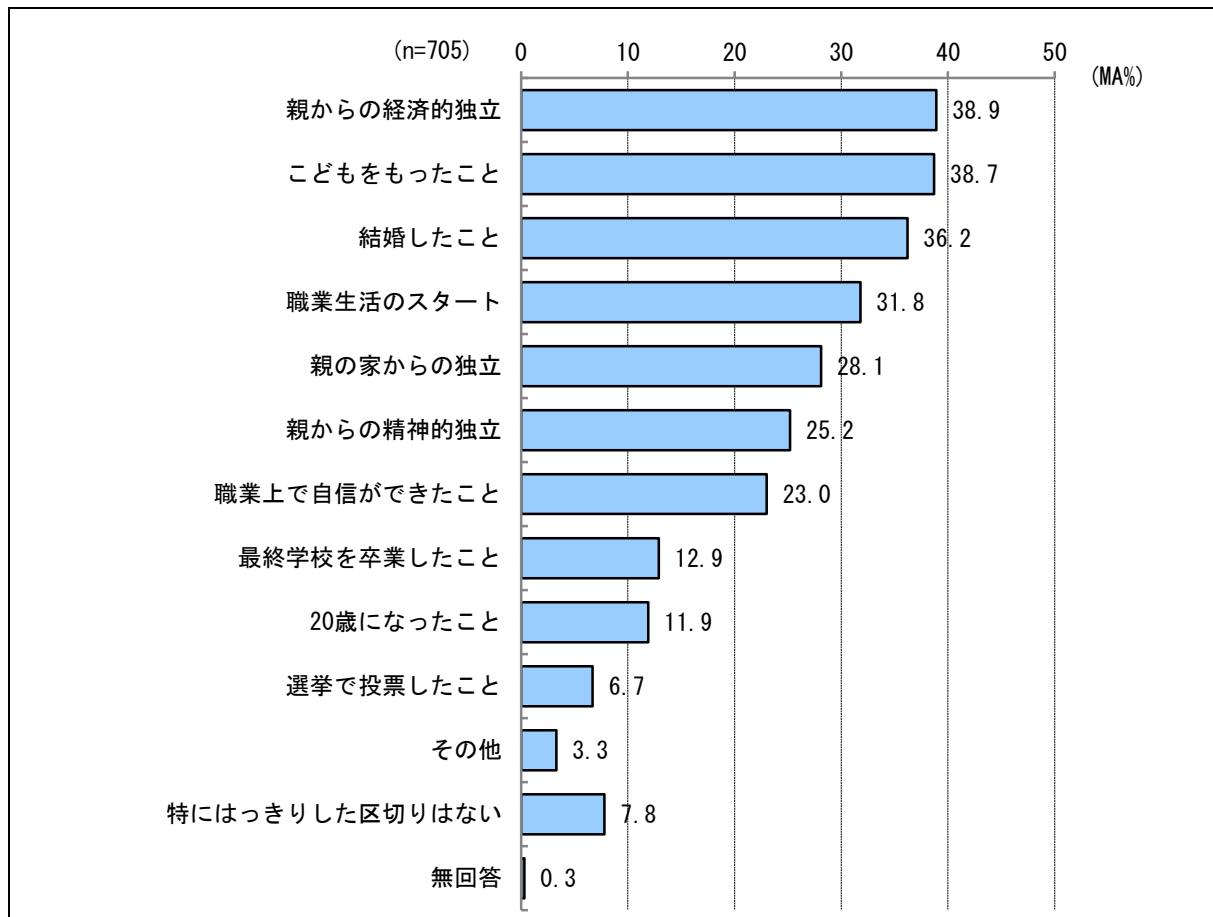


2 大人になったと自覚したきっかけ

問28-1 問28で「1. している」を選んだ方におうかがいします。
そのきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）

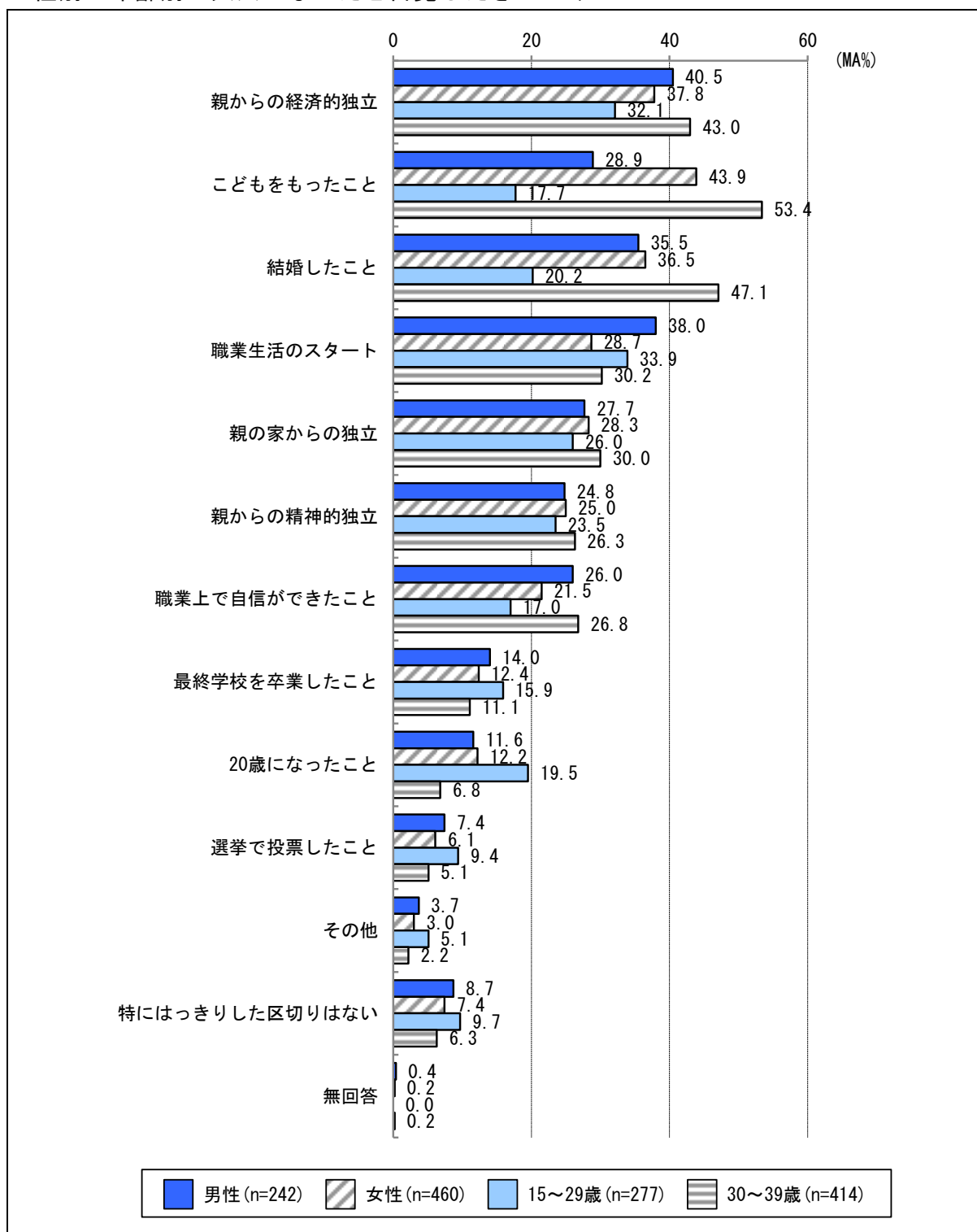
■大人になったと自覚していると回答した人に、自覚したきっかけをたずねると、「親からの経済的独立」が38.9%で最も多く、次いで「こどもをもったこと」が38.7%、「結婚したこと」が36.2%となっている。

・大人になったと自覚したきっかけ



- 性別でみると、男性は「親からの経済的独立」(40.5%)が最も多く、次いで「職業生活のスタート」(38.0%)となっているが、女性は「こどもをもったこと」(43.9%)が最も多く、次いで「親からの経済的独立」(37.8%)となっている。
- 年齢別でみると、15～29歳は「職業生活のスタート」(33.9%)が最も多く、次いで「親からの経済的独立」(32.1%)となっているが、30～39歳は「こどもをもったこと」(53.4%)が最も多く、次いで「結婚したこと」(47.1%)となっている。

・性別・年齢別 大人になったと自覚したきっかけ



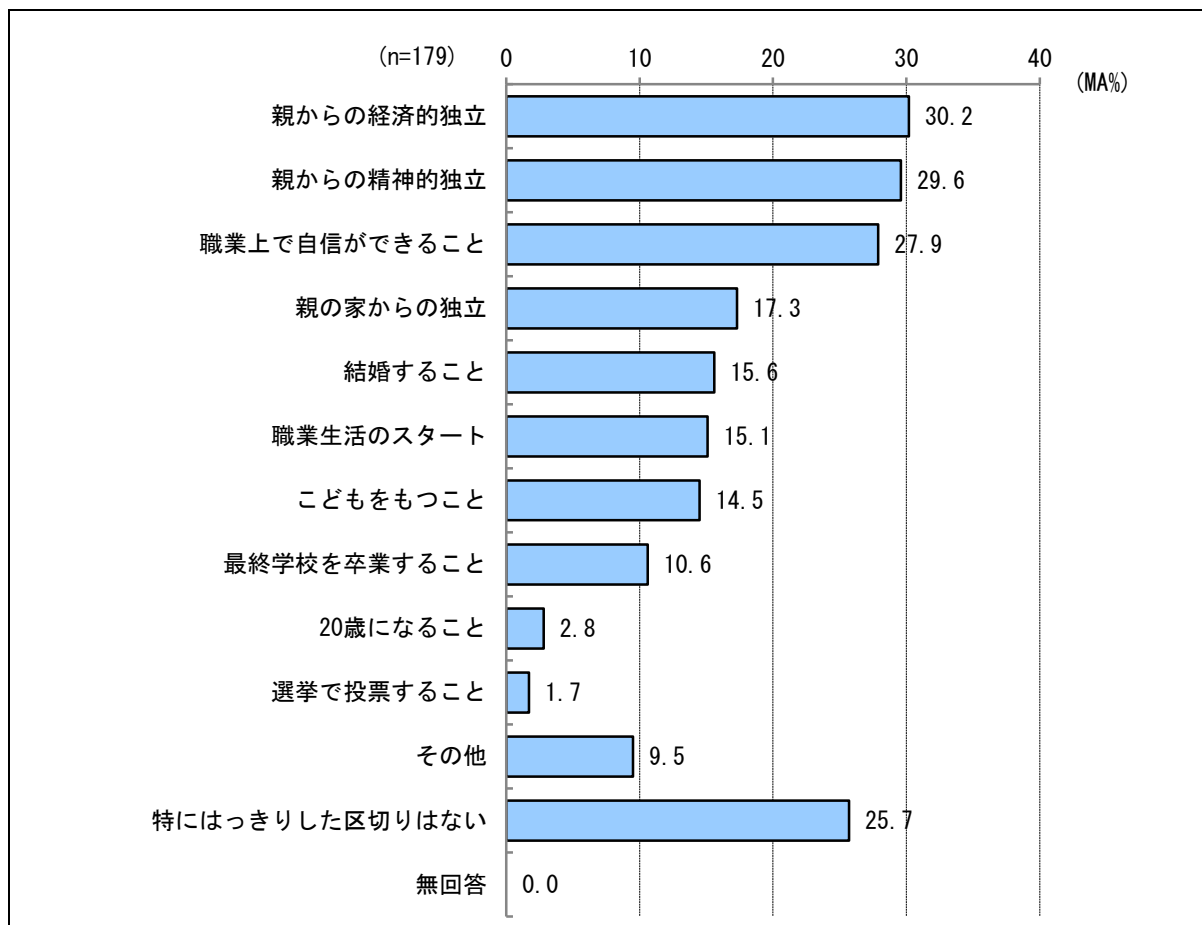
3 大人になることの条件

問28-2 問28で「2. していない」を選んだ方におうかがいします。

あなたにとって「大人になる」とはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

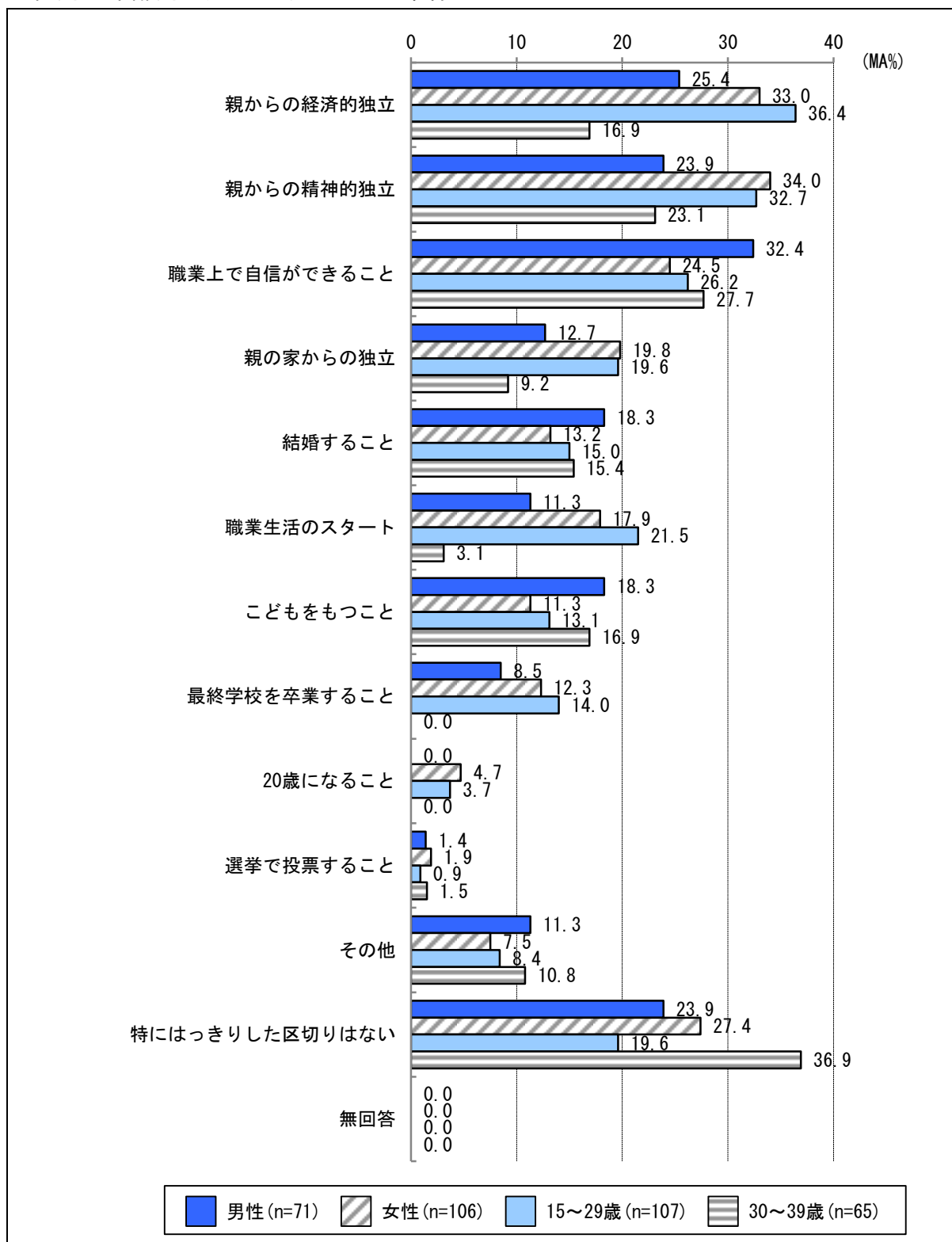
- 大人になったと自覚していないと回答した人に、大人になることの条件をたずねると、「親からの経済的独立」が30.2%で最も多く、次いで「親からの精神的独立」が29.6%、「職業上で自信ができること」が27.9%となっている。

・大人になることの条件



- 性別でみると、男性は「職業上で自信ができること」(32.4%)が最も多く、次いで「親からの経済的独立」(25.4%)となっているが、女性は「親からの精神的独立」(34.0%)が最も多く、次いで「親からの経済的独立」(33.0%)となっている。
- 年齢別でみると、「親からの経済的独立」は30～39歳(16.9%)より15～29歳(36.4%)のほうが19.5ポイント高く、30～39歳は「職業上で自信ができること」(27.7%)が最も多くなっている。

・性別・年齢別 大人になることの条件

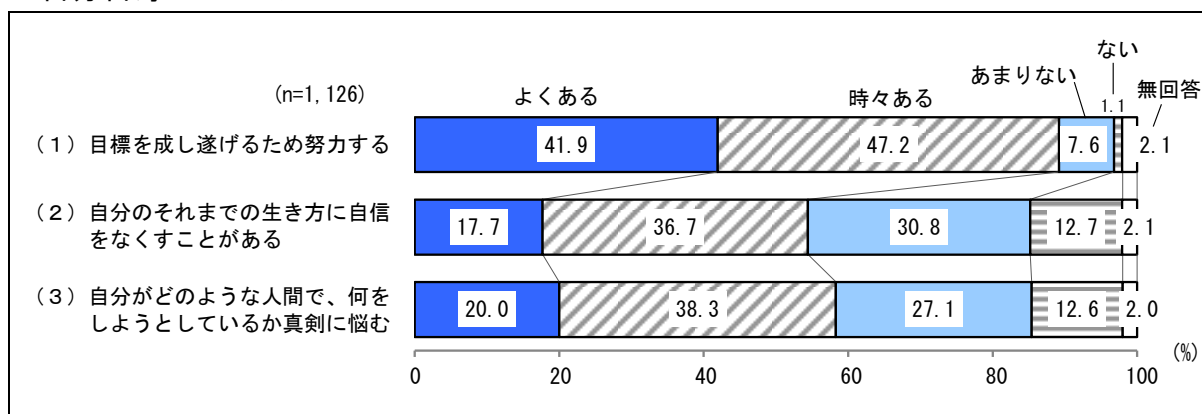


4 自分自身について

問29 あなたは次のようなことについてどう思いますか。(1)から(3)のそれぞれについてあなたの気持ちに近い番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

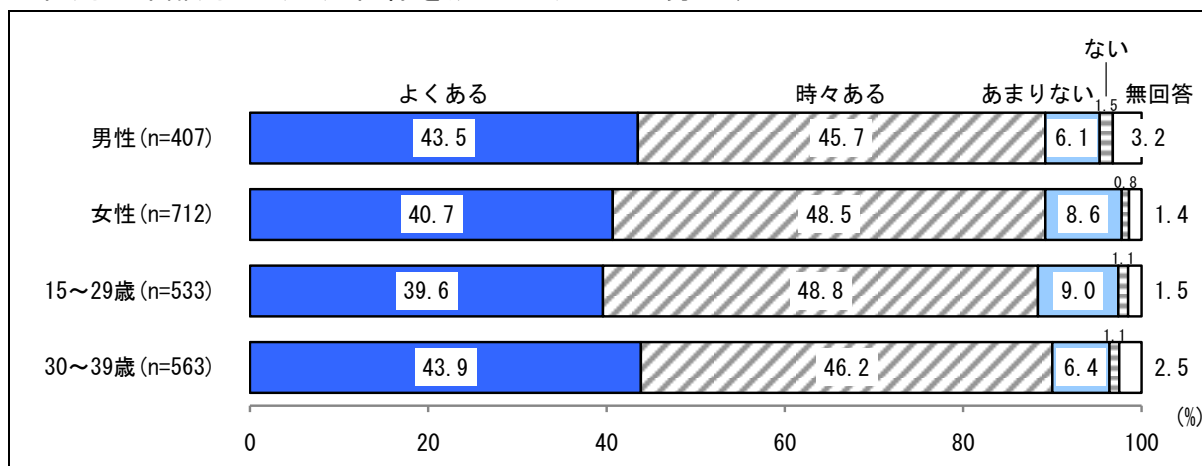
- 自分自身については、“目標を成し遂げるため努力する”は、「時々ある」が47.2%で最も多く、次いで「よくある」が41.9%となっており、両者をあわせた89.1%が『努力する』と回答している。
- “自分のそれまでの生き方に自信をなくすことがある”は、「時々ある」が36.7%で最も多く、次いで「あまりない」が30.8%、「よくある」が17.7%となっており、「よくある」と「時々ある」をあわせると54.4%が『自信をなくすことがある』と回答している。
- “自分がどのような人間で、何をしようとしているか真剣に悩む”は、「時々ある」が38.3%で最も多く、次いで「あまりない」が27.1%、「よくある」が20.0%となっており、「よくある」と「時々ある」をあわせると58.3%が『真剣に悩むことがある』と回答している。

・ 自分自身について



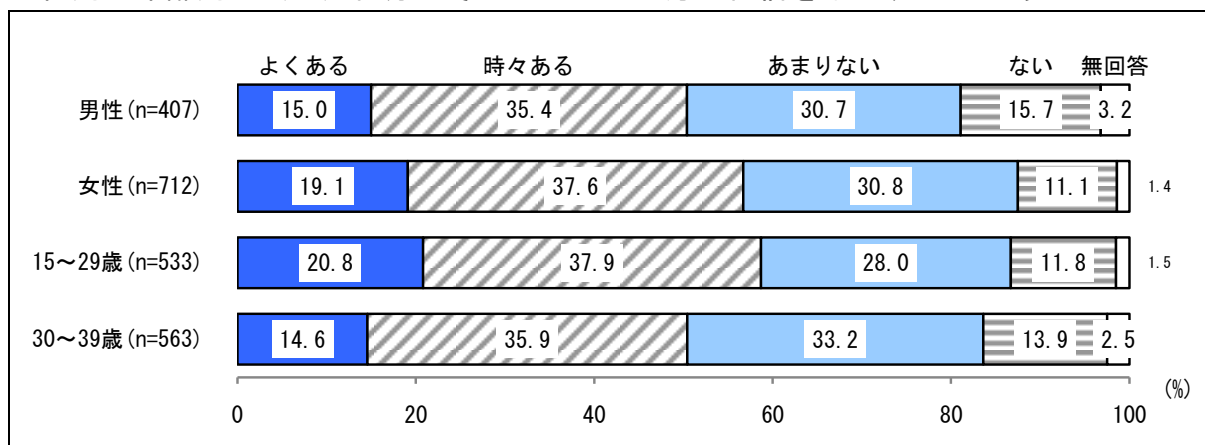
- “目標を成し遂げるため努力する”について、性別・年齢別でみると、『努力する』は性別でみても、年齢別でみても大きな差はみられない。

・ 性別・年齢別 (1) 目標を成し遂げるため努力する



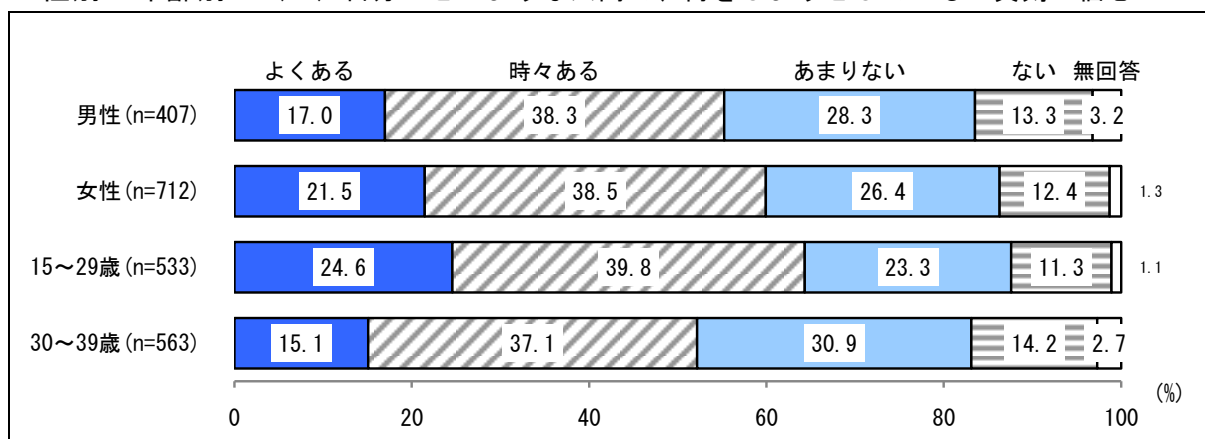
- “自分のそれまでの生き方に自信をなくすことがある”について、性別でみると、『自信をなくすことがある』は男性（50.4%）より女性（56.7%）のほうが6.3ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、『自信をなくすことがある』は30～39歳（50.5%）より15～29歳（58.7%）のほうが8.2ポイント高くなっている。

・ 性別・年齢別 （2）自分のそれまでの生き方に自信をなくすことがある



- “自分がどのような人間で、何をしようとしているか真剣に悩む”について、性別でみると、『真剣に悩むことがある』は男性（55.3%）より女性（60.0%）のほうが4.7ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、『真剣に悩むことがある』は30～39歳（52.2%）より15～29歳（64.4%）のほうが12.2ポイント高くなっている。

・ 性別・年齢別 （3）自分がどのような人間で、何をしようとしているか真剣に悩む

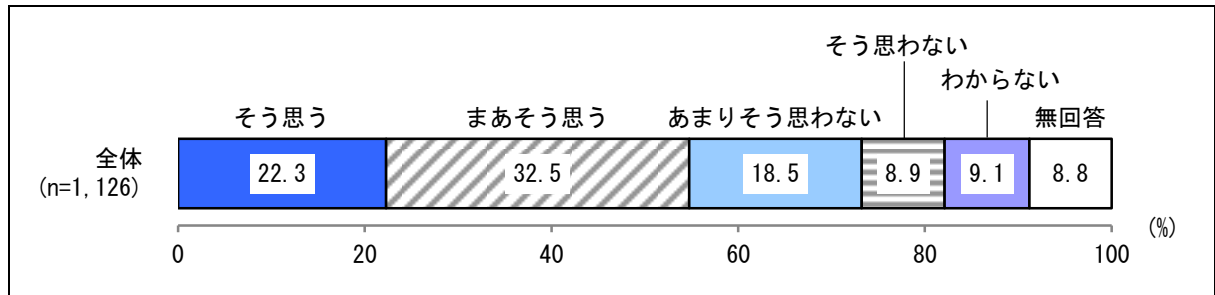


5 自分がかげがえのない存在だと思うか

問30 あなたは自分がかげがえのない存在だと思いますか。（○は1つ）

- 自分がかげがえのない存在だと思うかについては、「まあそう思う」が32.5%で最も多く、次いで「そう思う」が22.3%で、両者をあわせた54.8%が『自分がかげがえのない存在だと思う』と回答している。

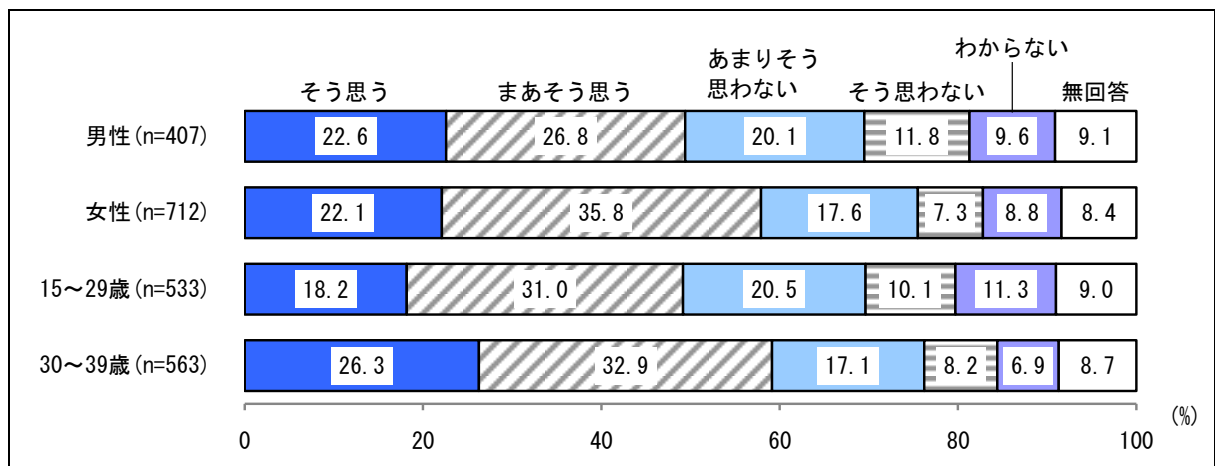
・ 自分がかげがえのない存在だと思うか



- 性別でみると、『自分がかげがえのない存在だと思う』は男性（49.4%）より女性（57.9%）のほうが8.5ポイント高くなっている。

- 年齢別でみると、『自分がかげがえのない存在だと思う』は15～29歳（49.2%）より30～39歳（59.2%）のほうが10.0ポイント高くなっている。

・ 性別・年齢別 自分がかげがえのない存在だと思うか

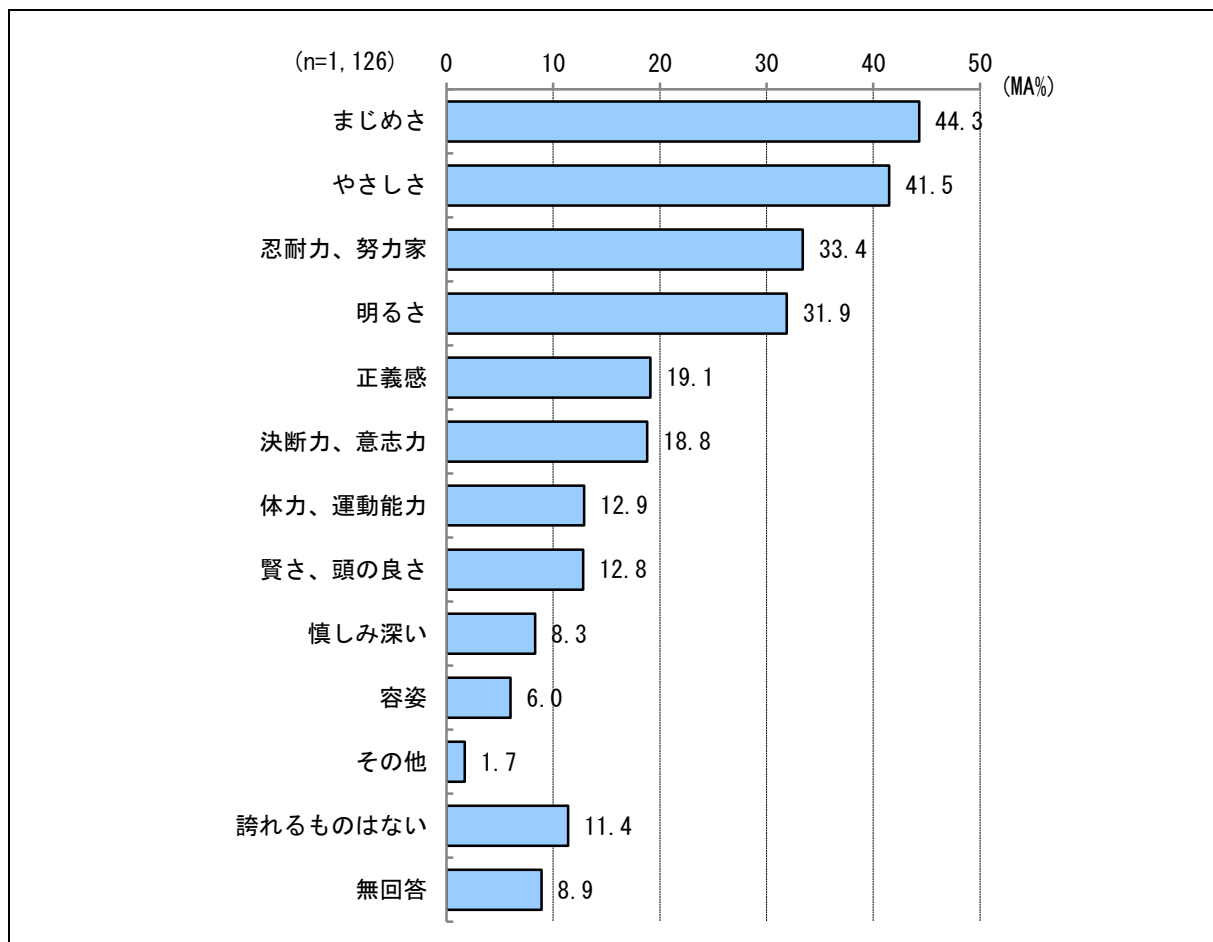


6 自分自身に誇れるもの

問31 あなた自身のことについておうかがいします。あなたは自分自身について誇れるものをもっていますか。（○はいくつでも）

■ 自分自身に誇れるもの「まじめさ」が44.3%で最も多く、次いで「やさしさ」が41.5%、「忍耐力、努力家」が33.4%、「明るさ」が31.9%となっている。

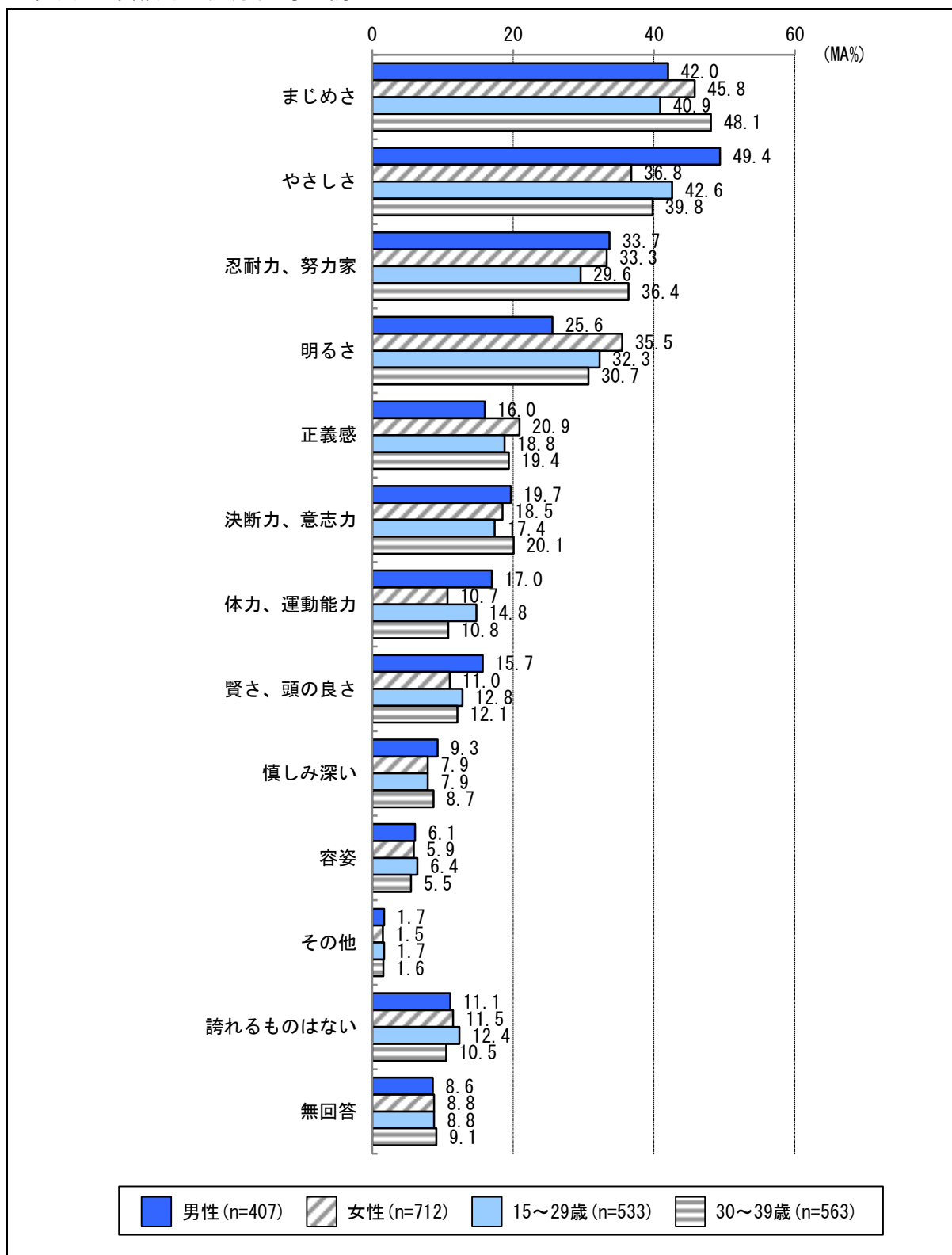
・ 自分自身に誇れるもの



■性別でみると、「やさしさ」は女性（36.8%）より男性（49.4%）のほうが12.6ポイント高く、「明るさ」は男性（25.6%）より女性（35.5%）のほうが9.9ポイント高くなっている。

■年齢別でみると、「まじめさ」は15～29歳（40.9%）より30～39歳（48.1%）のほうが7.2ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 自分自身に誇れるもの

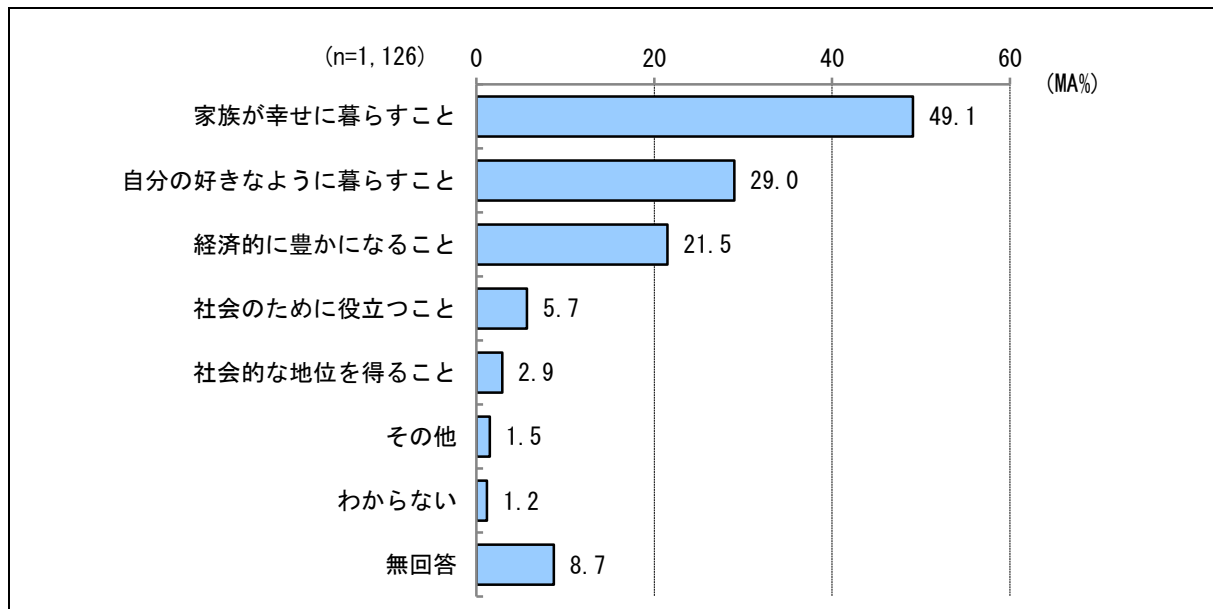


7 理想とする生き方について

問32 あなたの理想とする生き方についてお答えください。(あなたのお考えにもっとも近い番号1つに○)

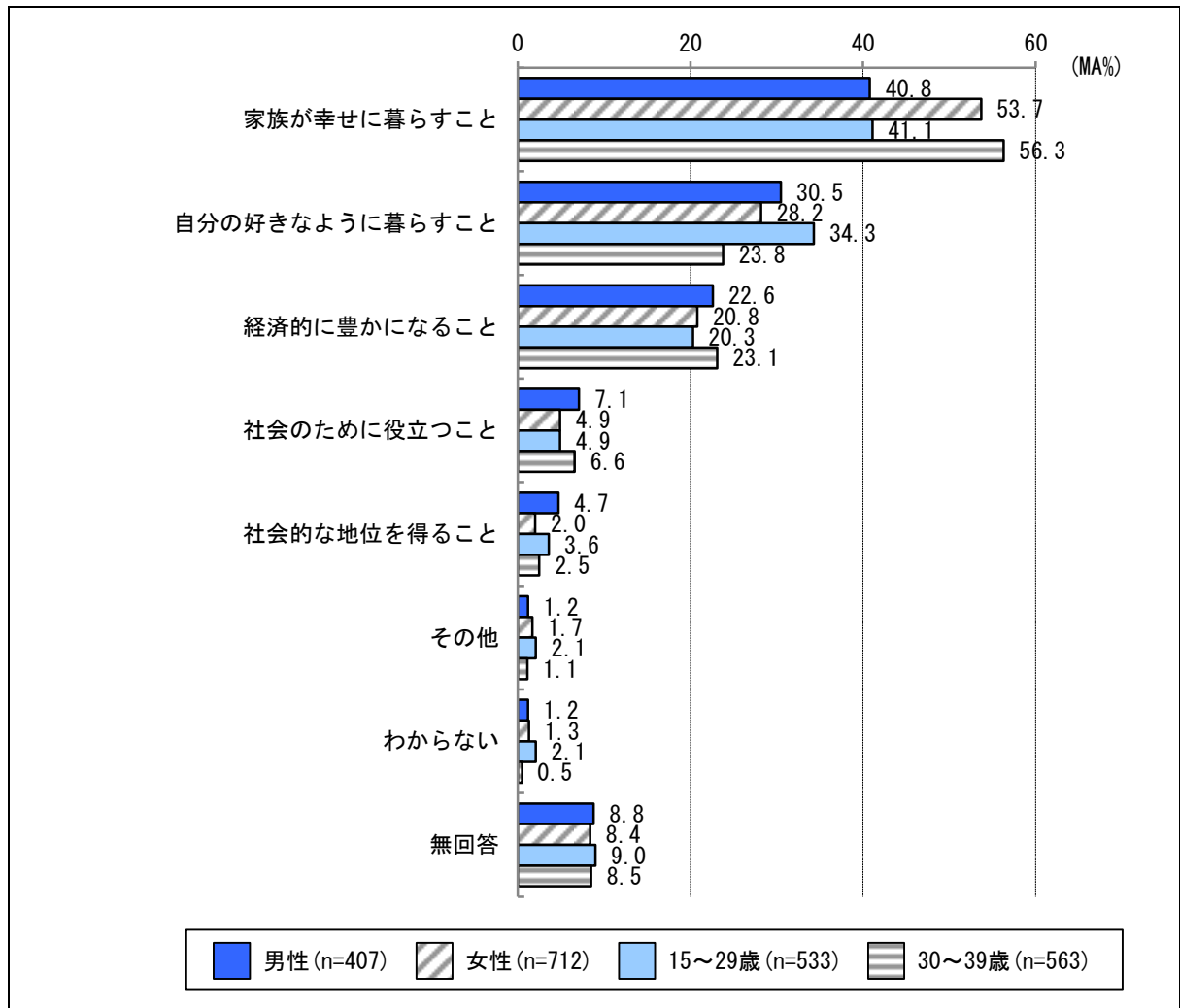
■理想とする生き方については、「家族が幸せに暮らすこと」が49.1%で最も多く、次いで「自分の好きなように暮らすこと」が29.0%、「経済的に豊かになること」が21.5%となっている。

・理想とする生き方について



- 性別でみると、「家族が幸せに暮らすこと」は男性（40.8%）より女性（53.7%）のほうが12.9ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「家族が幸せに暮らすこと」は15～29歳（41.1%）より30～39歳（56.3%）のほうが15.2ポイント高く、「自分の好きなように暮らすこと」は30～39歳（23.8%）より15～29歳（34.3%）のほうが10.5ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 理想とする生き方について

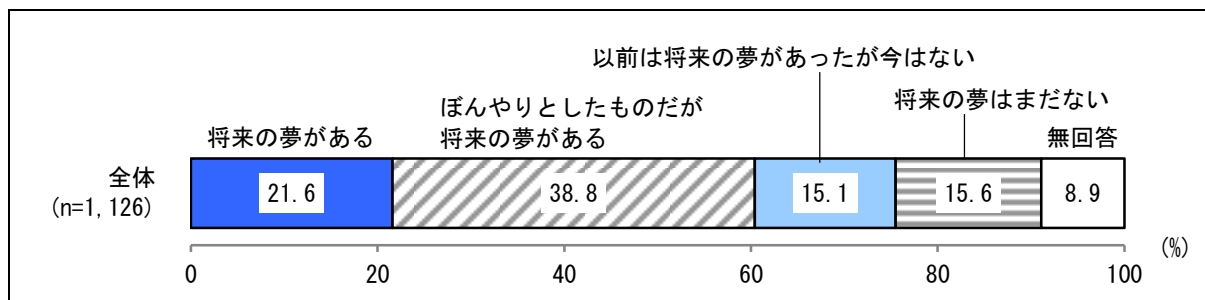


8 将来の夢の有無

問33 あなたの「将来の夢」についておうかがいします。あなたは、将来こんなことがしたい、こんな人になりたい、こうなりたいという将来の夢をお持ちですか。
(○は1つ)

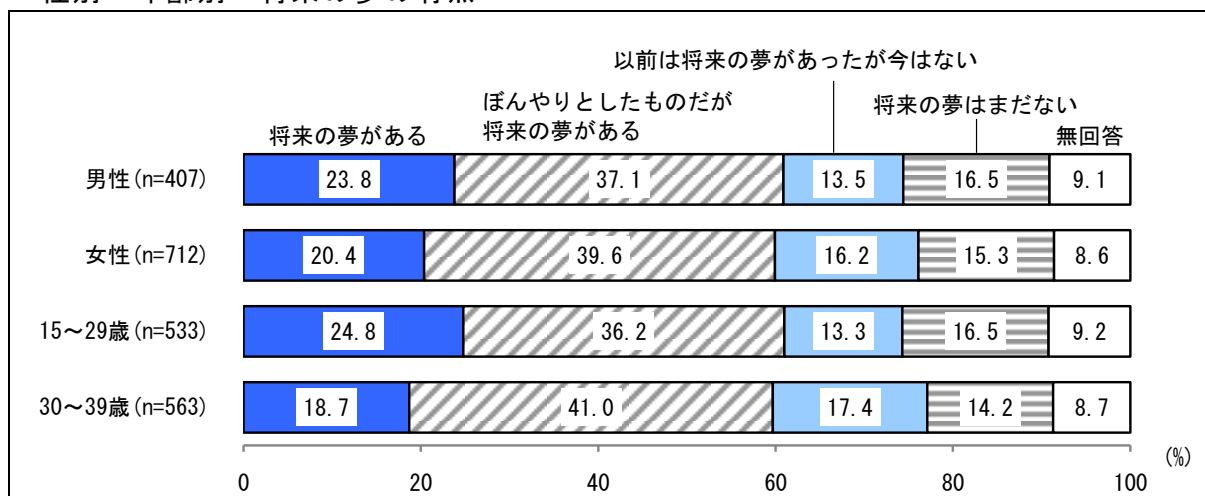
■ 将来の夢の有無については、「ぼんやりとしたものだが将来の夢がある」が38.8%で最も多く、次いで「将来の夢がある」が21.6%で、両者をあわせた60.4%が『将来の夢がある』と回答している。

・ 将来の夢の有無



■ 「将来の夢がある」と「ぼんやりとしたものだが将来の夢がある」をあわせた『将来の夢がある』は性別でみても、年齢別でみても、大きな差はみられない。

・ 性別・年齢別 将来の夢の有無

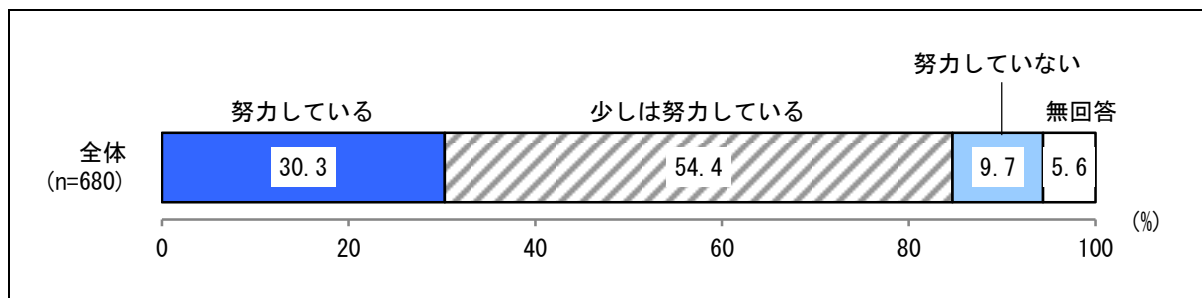


9 将来の夢を現実にするための努力

問33-1 問33で「1」または「2」を選んだ方におうかがいします。あなたは、その将来の夢を実現するために、何か具体的な努力を行っていますか。(○は1つ)

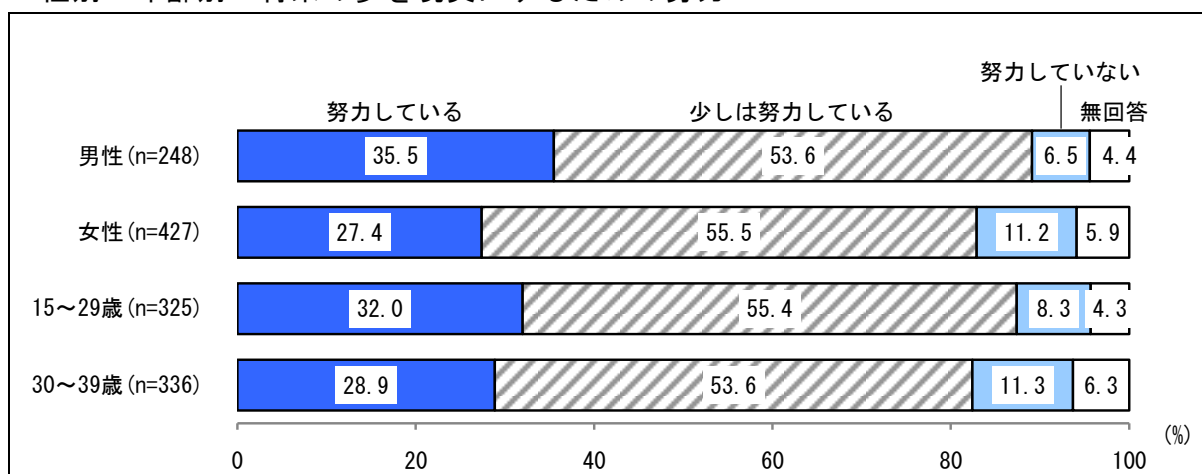
- 将来の夢があると回答した人に、将来の夢を現実にするための努力を行っているかをたずねると、「少しは努力している」が54.4%で最も多く、次いで「努力している」が30.3%、「努力していない」が9.7%となっている。

・ 将来の夢を現実にするための努力



- 性別でみると、「努力している」は女性（27.4%）より男性（35.5%）のほうが8.1ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「努力している」は30～39歳（28.9%）より15～29歳（32.0%）のほうが3.1ポイント高くなっている。

・ 性別・年齢別 将来の夢を現実にするための努力

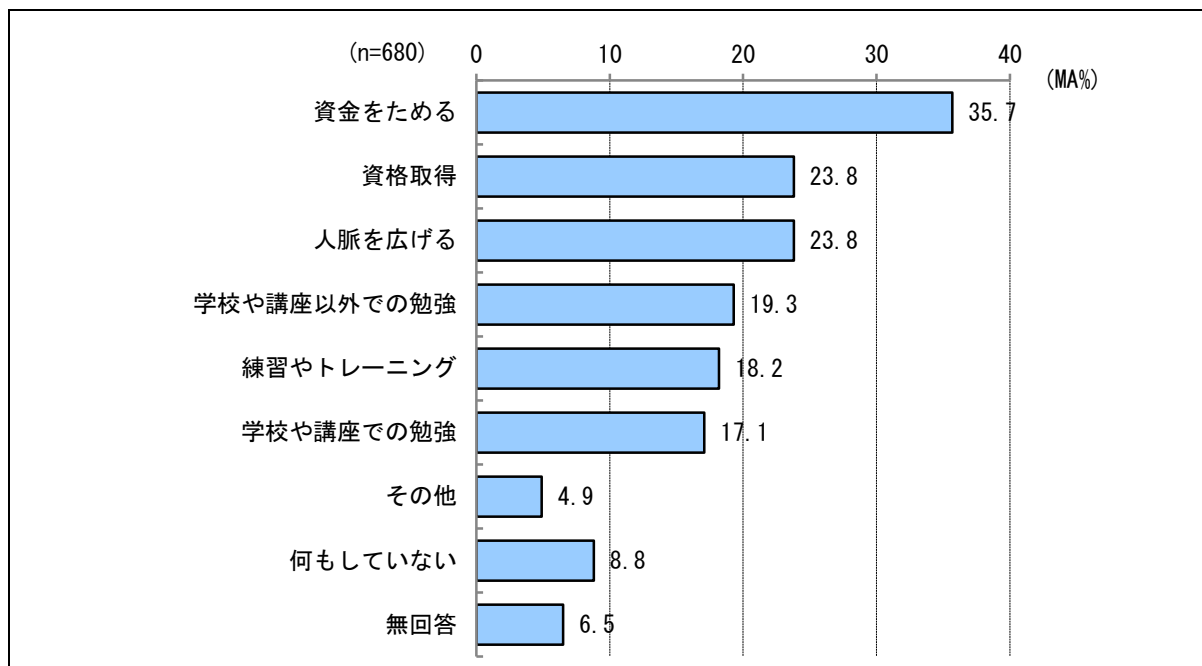


10 将来の夢のために現在準備していること

問33-2 問33で「1」または「2」を選んだ方におうかがいします。将来の夢のために、あなたが現在準備として行っているものをお答えください。（〇はいくつでも）

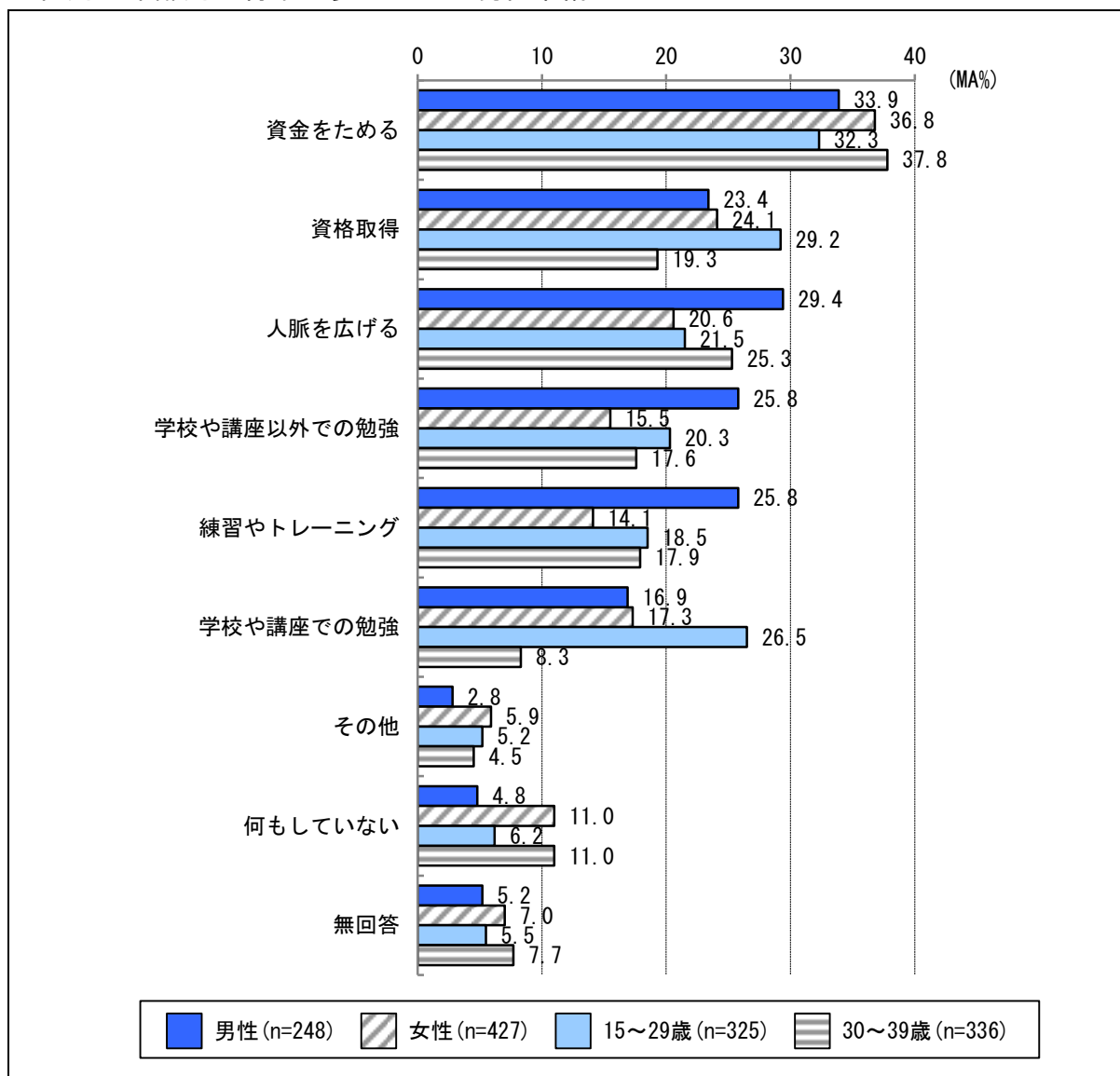
■ 将来の夢を現実にするための努力をしていると回答した人に、そのために現在準備していることについてたずねると、「資金をためる」が35.7%で最も多く、次いで「資格取得」、「人脈を広げる」がともに23.8%となっている。

・ 将来の夢のために現在準備していること



- 性別でみると、「練習やトレーニング」は女性（14.1%）より男性（25.8%）のほうが11.7ポイント、「学校や講座以外での勉強」は女性（15.5%）より男性（25.8%）のほうが10.3ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「学校や講座での勉強」は30～39歳（8.3%）より15～29歳（26.5%）のほうが18.2ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 将来の夢のために現在準備していること

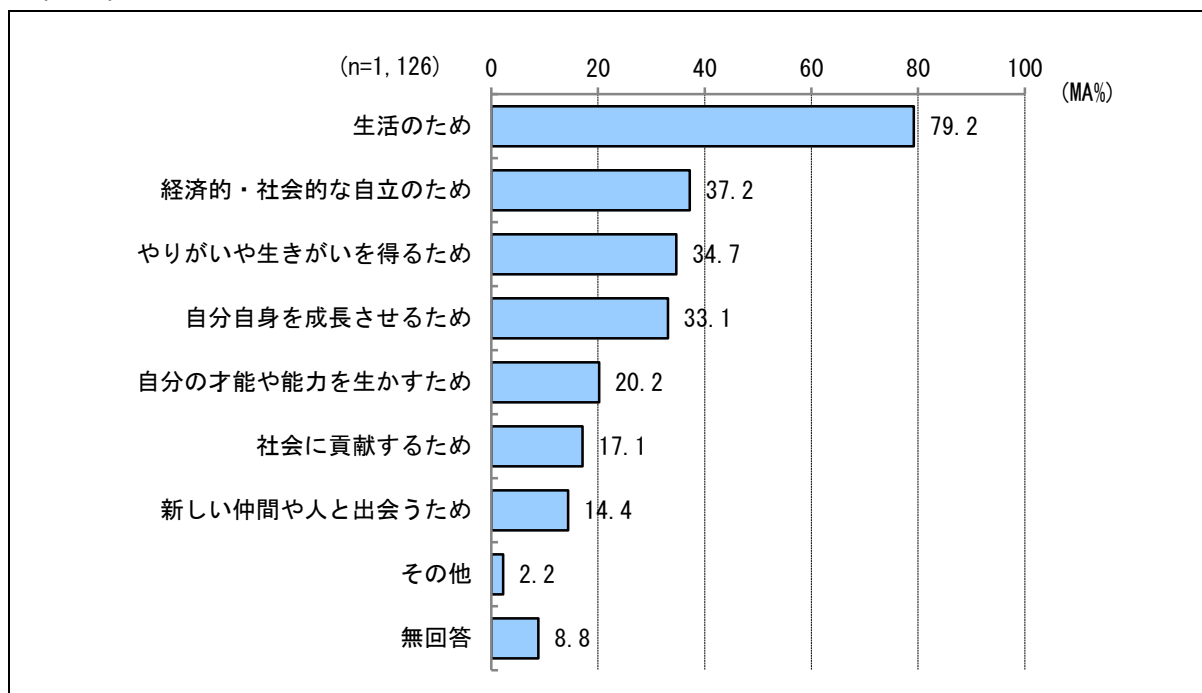


11 働く目的

問34 あなたが働く目的は何ですか。（〇はいくつでも）

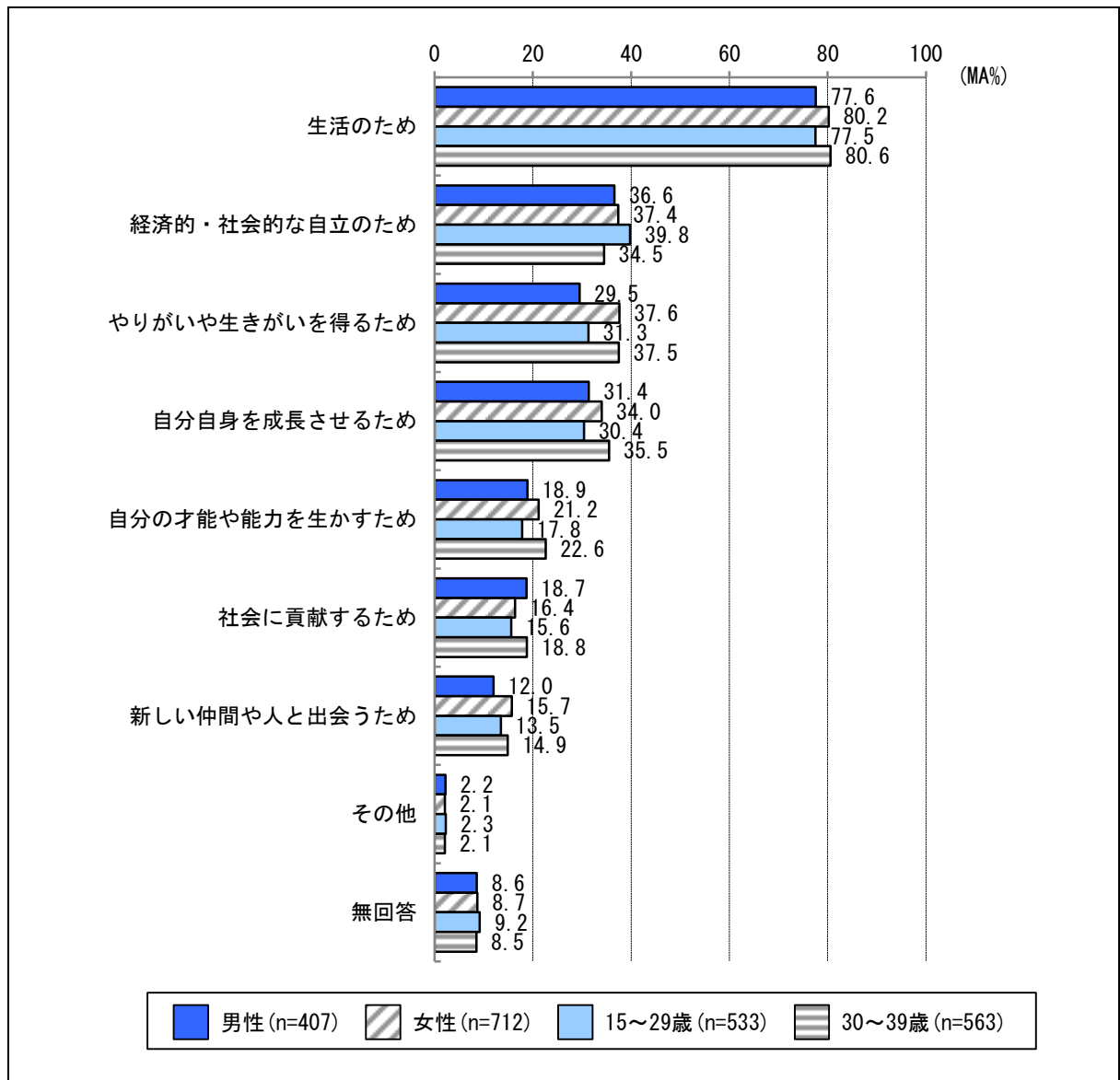
■働く目的については、「生活のため」が79.2%で最も多く、次いで「経済的・社会的な自立のため」が37.2%、「やりがいや生きがいを得るため」が34.7%、「自分自身を成長させるため」が33.1%となっている。

・働く目的



- 性別でみると、「やりがいや生きがいを得るため」は男性(29.5%)より女性(37.6%)のほうが8.1ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「やりがいや生きがいを得るため」は15～29歳(31.3%)より30～39歳(37.5%)のほうが6.2ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 働く目的

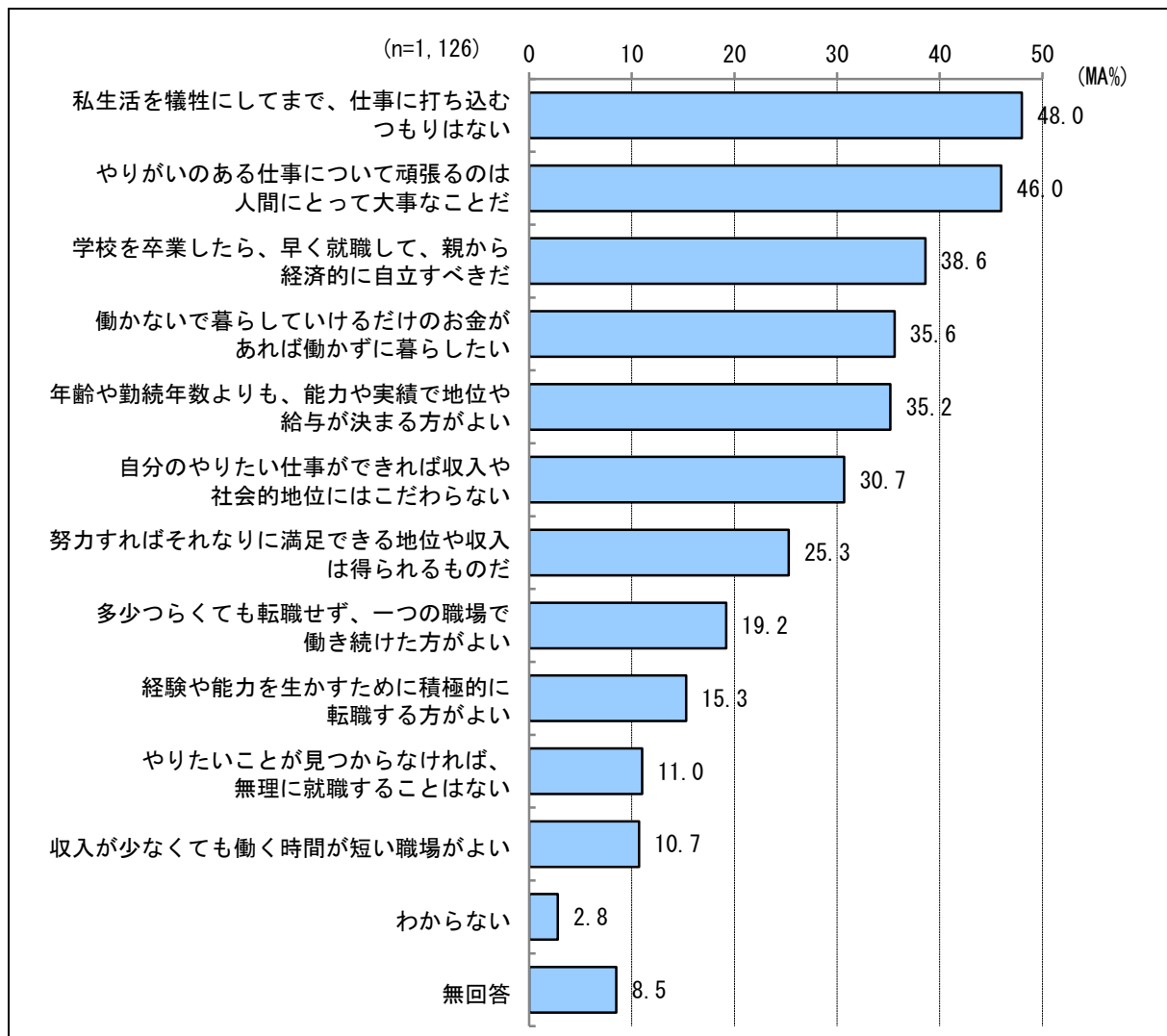


12 職業に対する考え

問35 職業についてのあなたのお考えをお答えください。（〇はいくつでも）

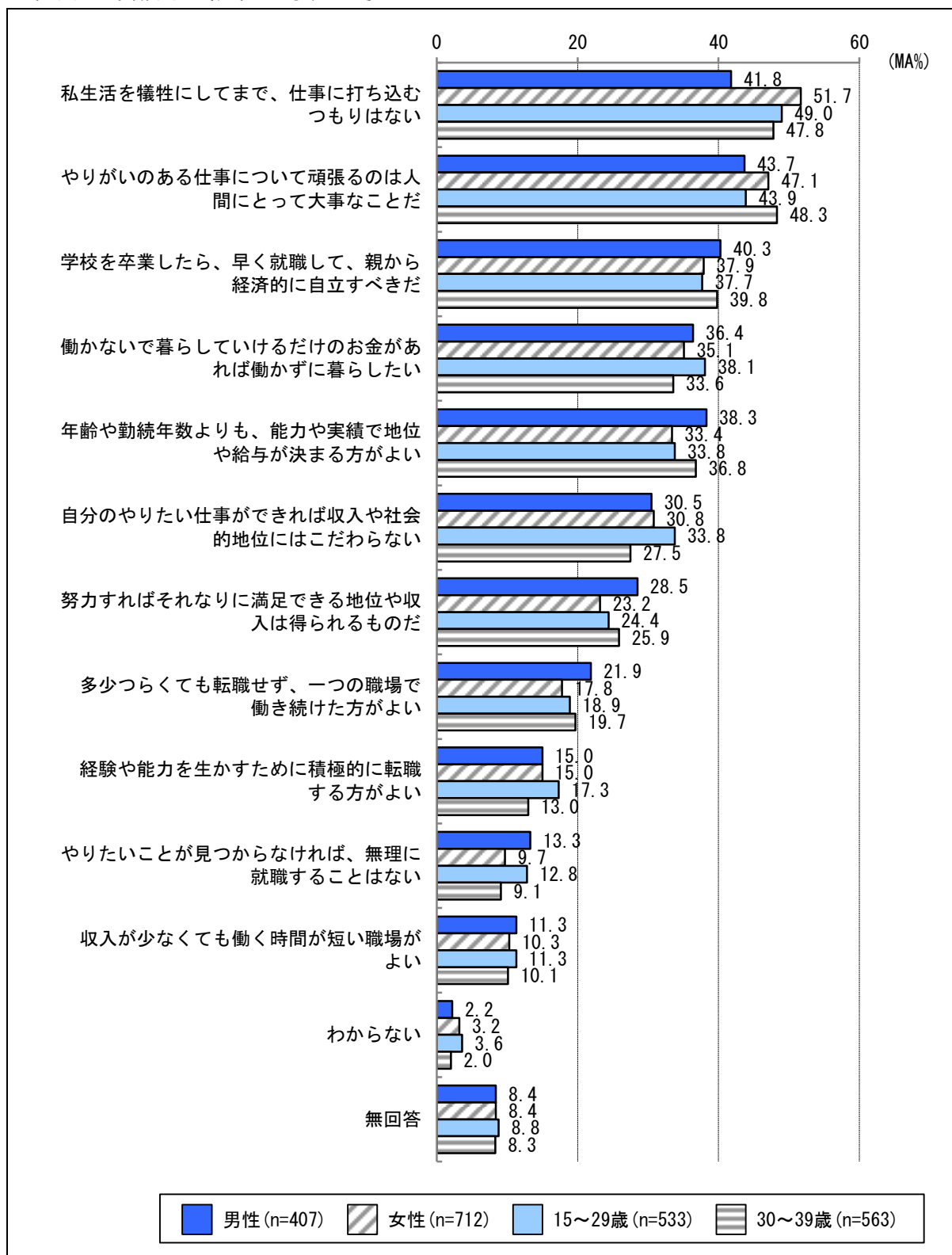
■ 職業に対する考えについては、「私生活を犠牲にしてまで、仕事に打ち込むつもりはない」が48.0%で最も多く、次いで「やりがいのある仕事について頑張るのは人間にとって大事なことだ」が46.0%、「学校を卒業したら、早く就職して、親から経済的に自立すべきだ」が38.6%となっている。

・ 職業に対する考え



- 性別でみると、「私生活を犠牲にしてまで、仕事に打ち込むつもりはない」は男性（41.8%）より女性（51.7%）のほうが9.9ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「自分のやりたい仕事があれば収入や社会的地位にはこだわらない」は30～39歳（27.5%）より15～29歳（33.8%）のほうが6.3ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 職業に対する考え



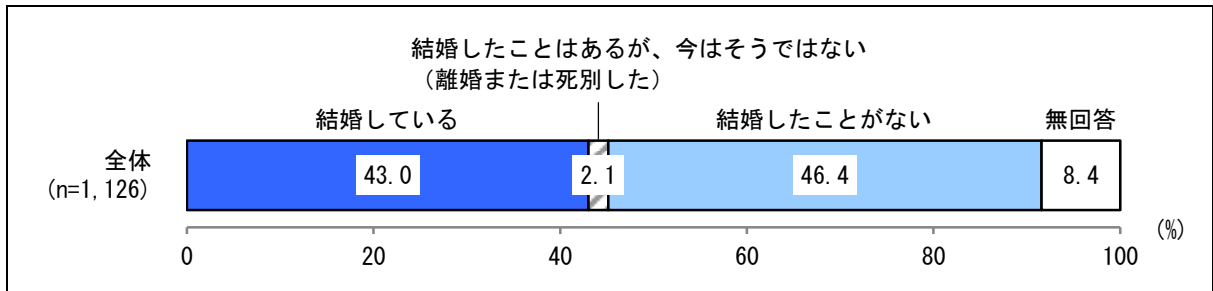
13 結婚の有無

問36 現在、あなたは結婚されていますか。（○は1つ）

※戸籍の届出の有無にかかわらず、実生活の上で配偶者と同様であるパートナーとの、パートナーシップ関係や内縁関係も含めます。

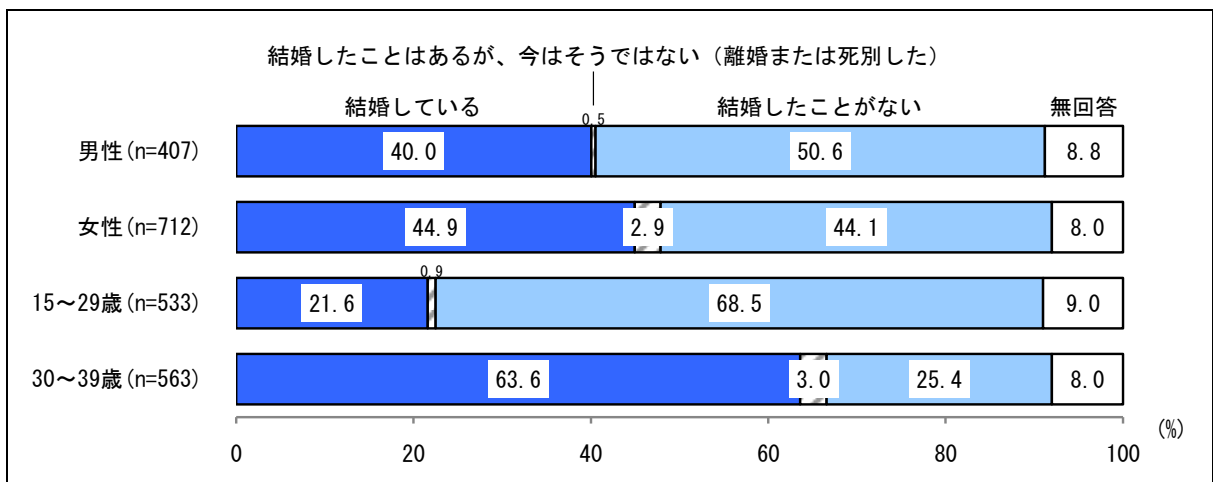
- 結婚の有無については、「結婚したことがない」が46.4%で最も多く、次いで「結婚している」が43.0%、「結婚したことはあるが、今はそうではない（離婚または死別した）」が2.1%となっている。

・ 結婚の有無



- 性別でみると、「結婚したことがない」は女性（44.1%）より男性（50.6%）のほうが6.5ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「結婚している」は15～29歳（21.6%）より30～39歳（63.6%）のほうが42.0ポイント高くなっている。

・ 性別・年齢別 結婚の有無

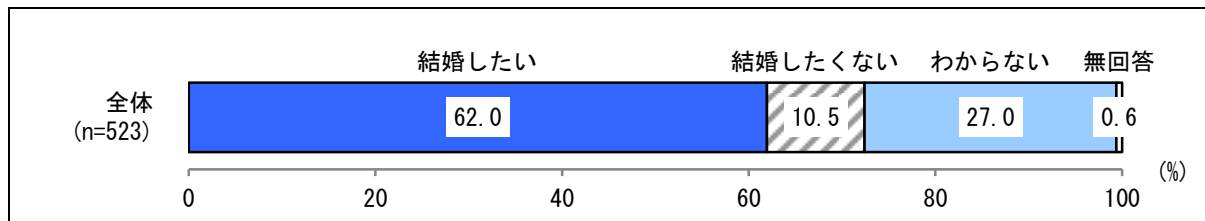


14 今後の結婚意向

問36-1 問36で「3. 結婚したことがない」を選んだ方におうかがいします。
あなたは、今後結婚をしたいと思いますか。（○は1つ）

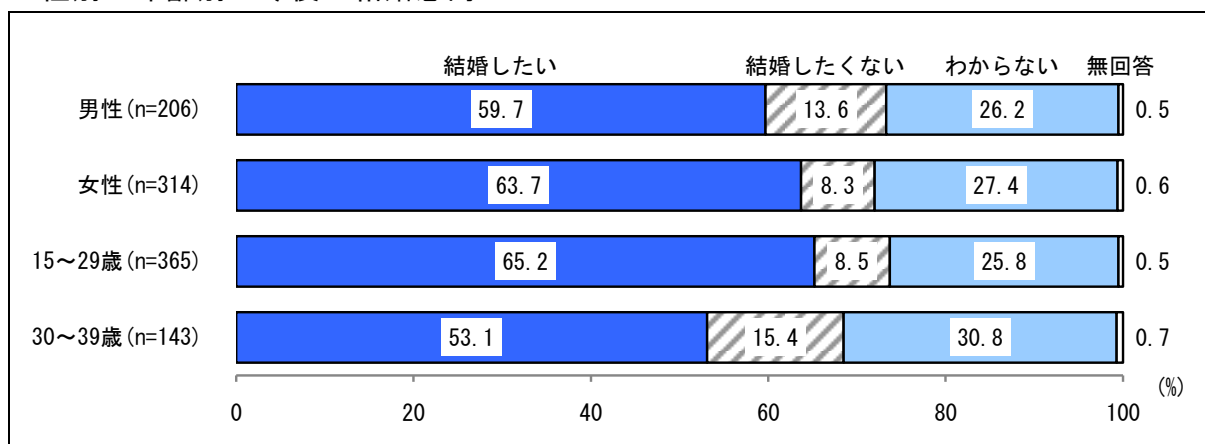
- 結婚したことがないと回答した人に、今後の結婚についてたずねると、「結婚したい」が62.0%で最も多く、次いで「結婚したくない」が10.5%となっており、「わからない」が27.0%を占めている。

・今後の結婚意向



- 性別でみると、「結婚したい」は男性（59.7%）より女性（63.7%）のほうが4.0ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「結婚したい」は30～39歳（53.1%）より15～29歳（65.2%）のほうが12.1ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 今後の結婚意向

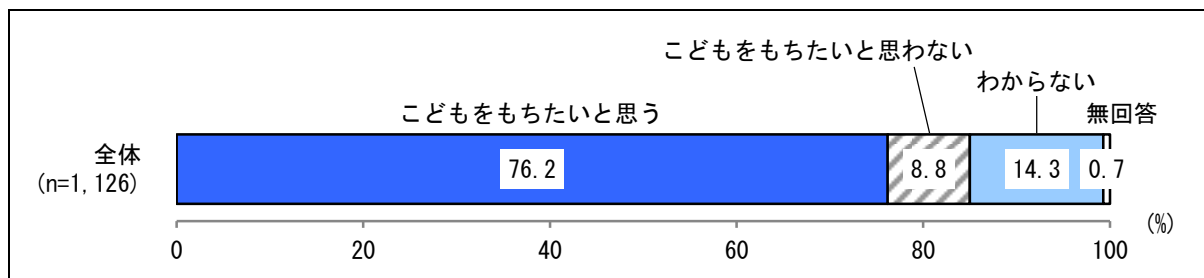


15 こどもをもつことの意向

問37 あなた自身がこどもをもつことについて、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

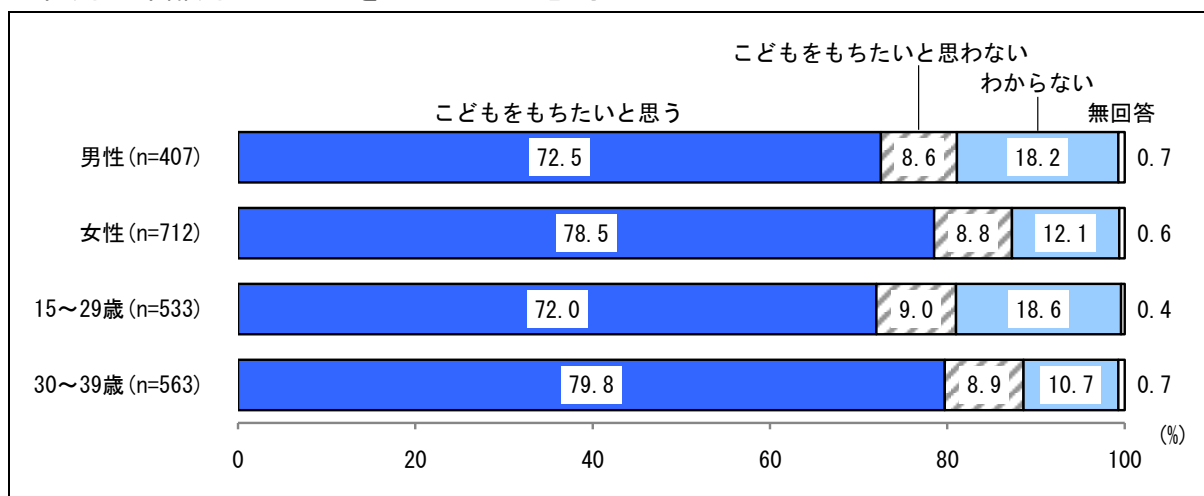
- こどもをもつことについては、「こどもをもちたいと思う」が76.2%で最も多く、次いで「こどもをもちたいと思わない」が8.8%であり、「わからない」が14.3%となっている。

・ こどもをもつことの意向



- 性別でみると、「こどもをもちたいと思う」は男性（72.5%）より女性（78.5%）のほうが6.0ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「こどもをもちたいと思う」は15～29歳（72.0%）より30～39歳（79.8%）のほうが7.8ポイント高くなっている。

・ 性別・年齢別 こどもをもつことの意向

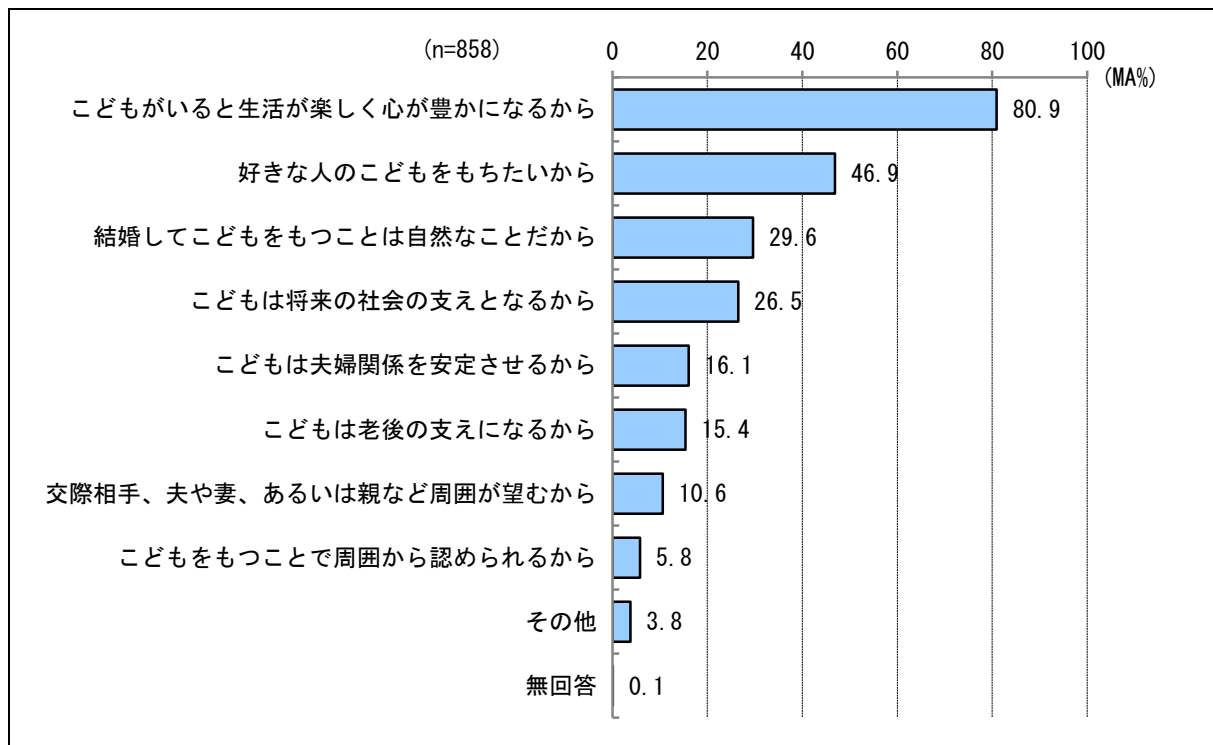


16 こどもをもちたいと思う理由

問37-1 問37で「1. こどもをもちたいと思う」を選んだ方におうかがいします。
その理由をお答えください。（〇はいくつでも）

- こどもをもちたいと回答した人に、その理由についてたずねると、「こどもがいると生活が楽しく心が豊かになるから」が80.9%で最も多く、次いで「好きな人のこどもをもちたいから」が46.9%、「結婚してこどもをもつことは自然なことだから」が29.6%となっている。

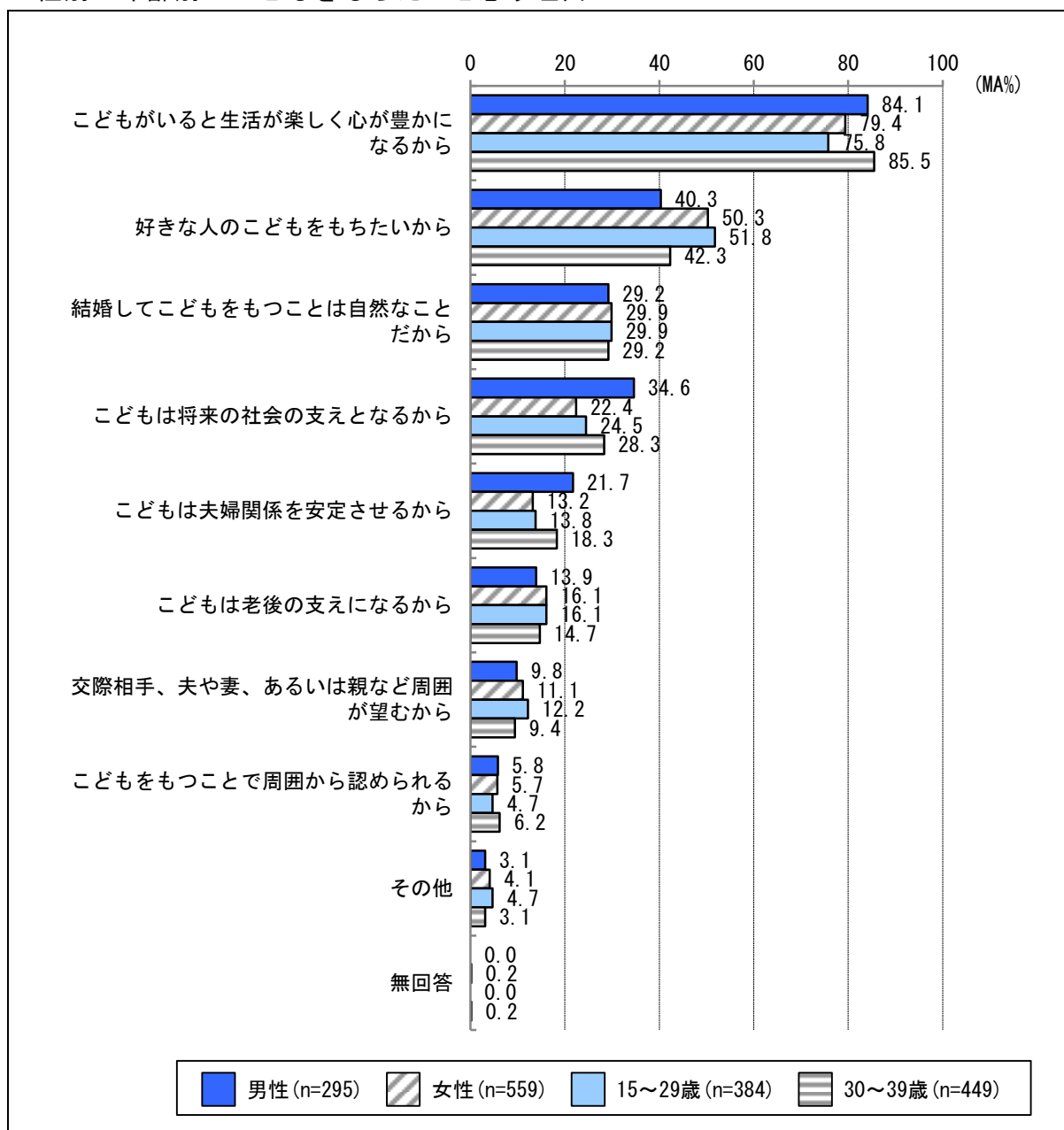
・ こどもをもちたいと思う理由



■性別でみると、「こどもは将来の社会の支えとなるから」は女性（22.4%）より男性（34.6%）のほうが12.2ポイント高いが、「好きな人のこどもをもちたいから」は男性（40.3%）より女性（50.3%）のほうが10.0ポイント高くなっている。

■年齢別でみると、「こどもがいると生活が楽しく心が豊かになるから」は15～29歳（75.8%）より30～39歳（85.5%）のほうが9.7ポイント高いが、「好きな人のこどもをもちたいから」は30～39歳（42.3%）より15～29歳（51.8%）のほうが9.7ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 こどもをもちたいと思う理由

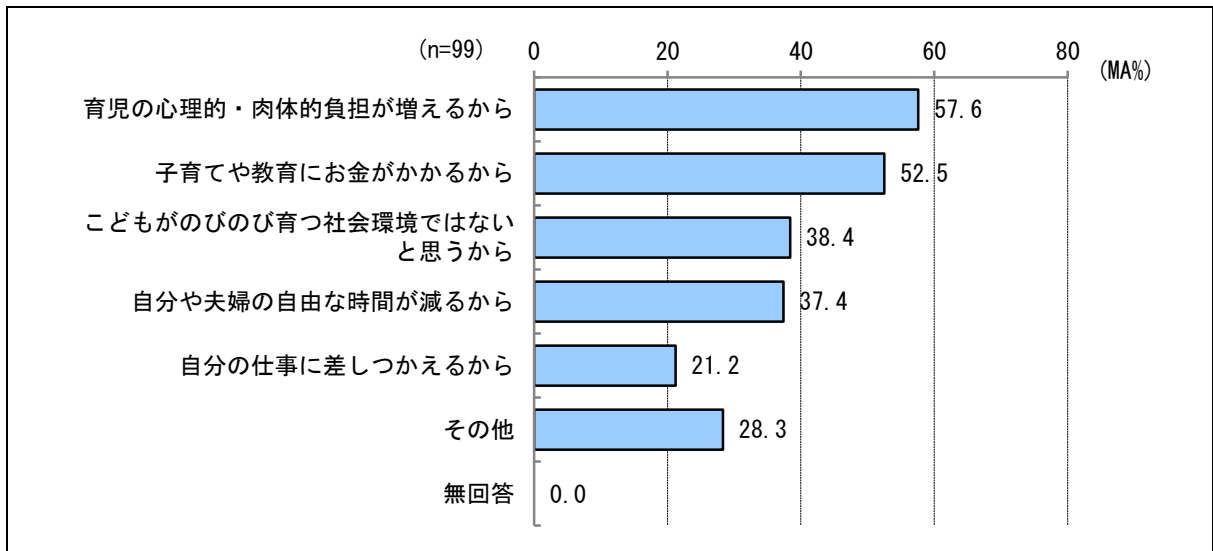


17 こどもをもちたいと思わない理由

問37-2 問37で「2. こどもをもちたいと思わない」を選んだ方におうかがいします。
その理由をお答えください。（〇はいくつでも）

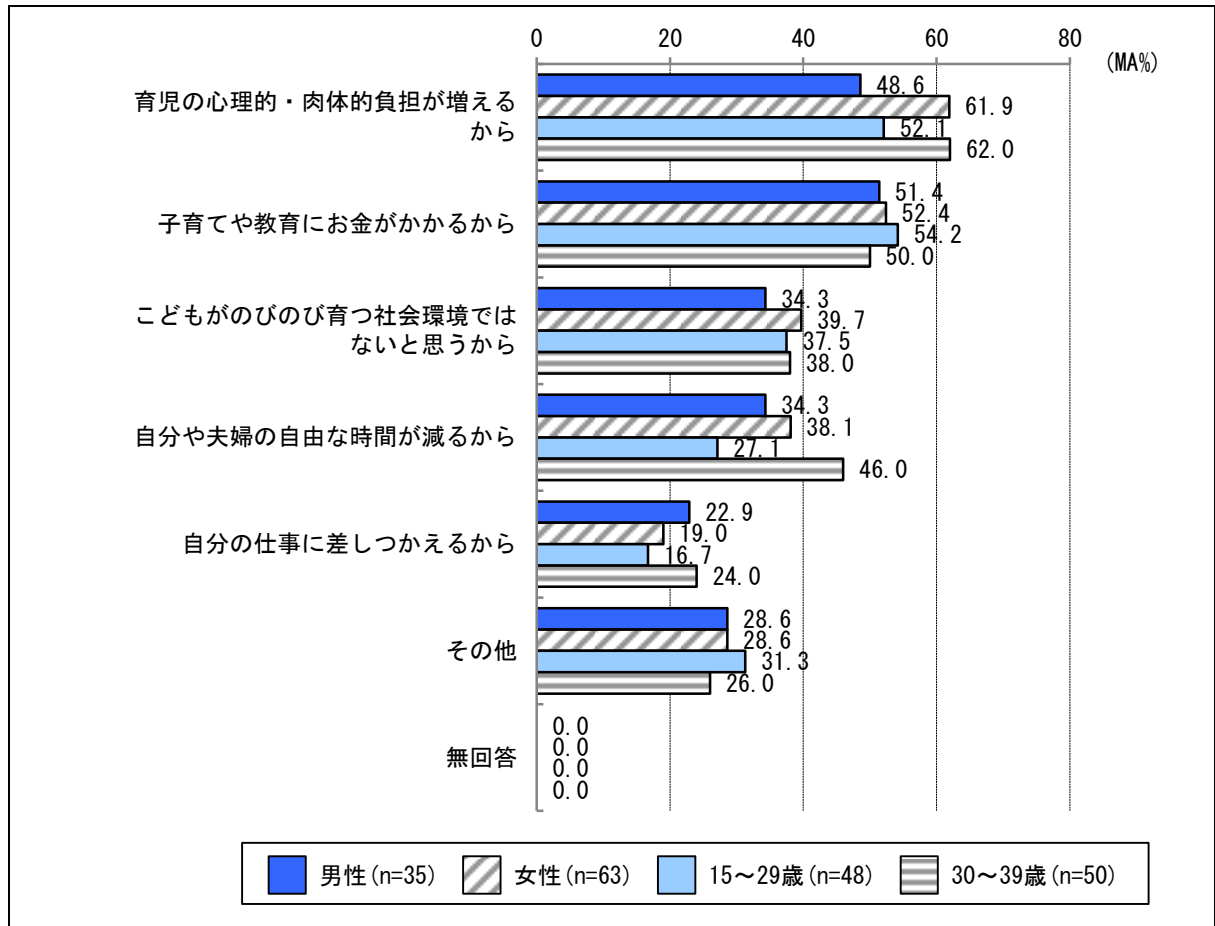
- こどもをもちたいと思わないと回答した人に、その理由についてたずねると、「育児の心理的・肉体的負担が増えるから」が57.6%で最も多く、次いで「子育てや教育にお金がかかるから」が52.5%、「こどもがのびのび育つ社会環境ではないと思うから」が38.4%となっている。

・ こどもをもちたいと思わない理由



- 性別でみると、「育児の心理的・肉体的負担が増えるから」は男性（48.6%）より女性（61.9%）のほうが13.3ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「自分や夫婦の自由な時間が減るから」は15～29歳（27.1%）より30～39歳（46.0%）のほうが18.9ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 こどもをもちたいと思わない理由

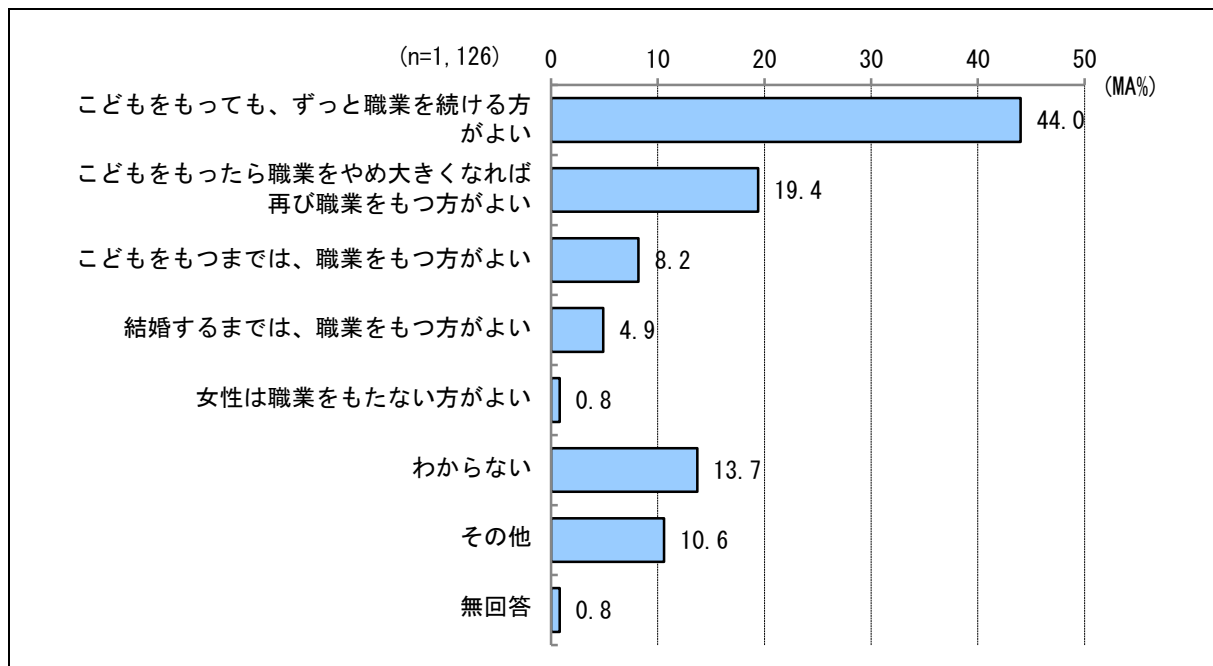


18 女性が職業をもつことの考え

問38 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。（○は1つ）

■ 女性が職業をもつことについては、「こどもをもっても、ずっと職業を続ける方がよい」が44.0%で最も多く、次いで「こどもをもったら職業をやめ大きくなれば再び職業をもつ方がよい」が19.4%、「こどもをもつまでは、職業をもつ方がよい」が8.2%となっている。

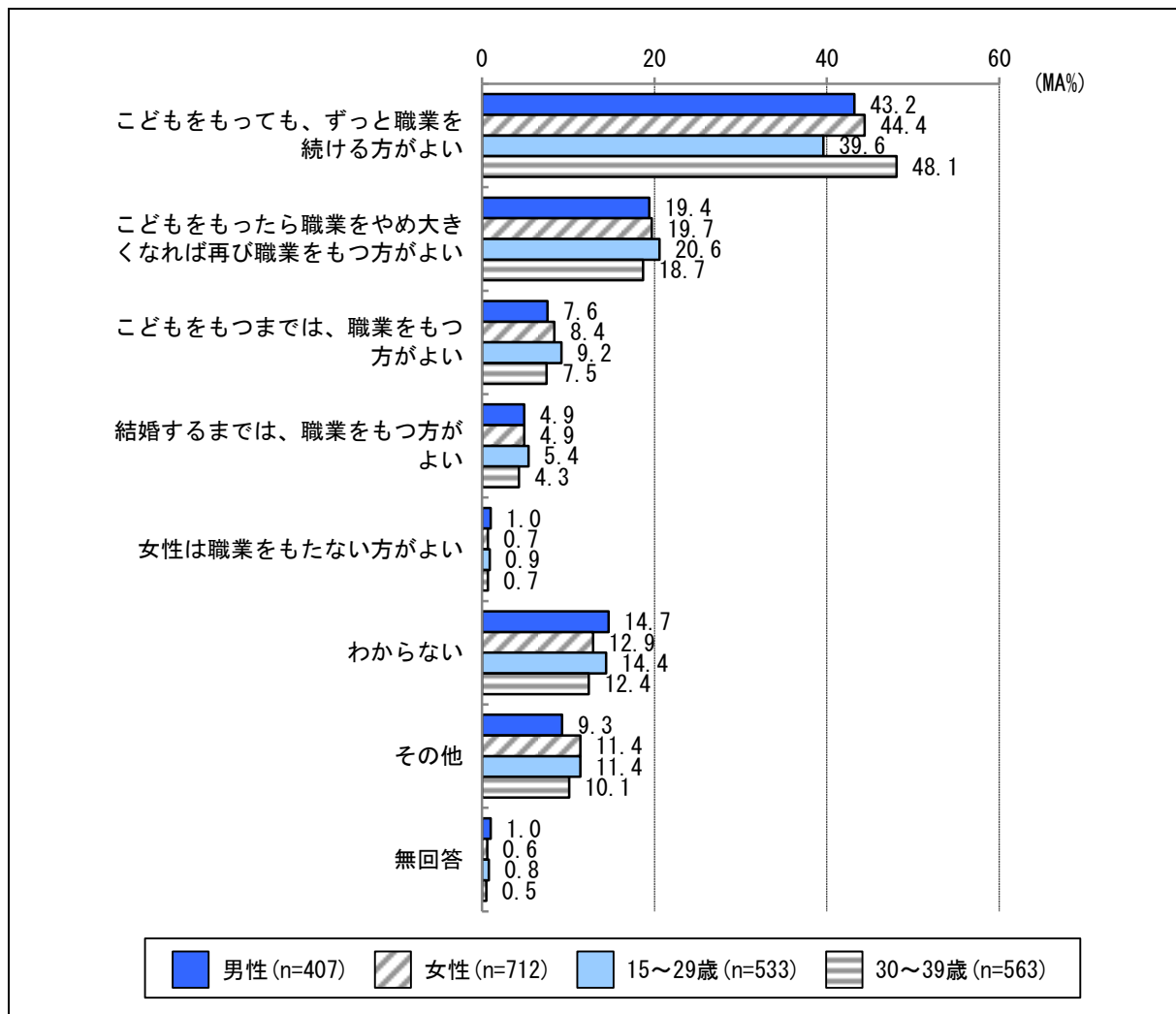
・ 女性が職業をもつことの考え



■性別でみても、大きな差はみられない。

■年齢別でみると、「子どもをもっても、ずっと職業を続ける方がよい」は15～29歳（39.6％）より30～39歳（48.1％）のほうが8.5ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 女性が職業をもつことの考え



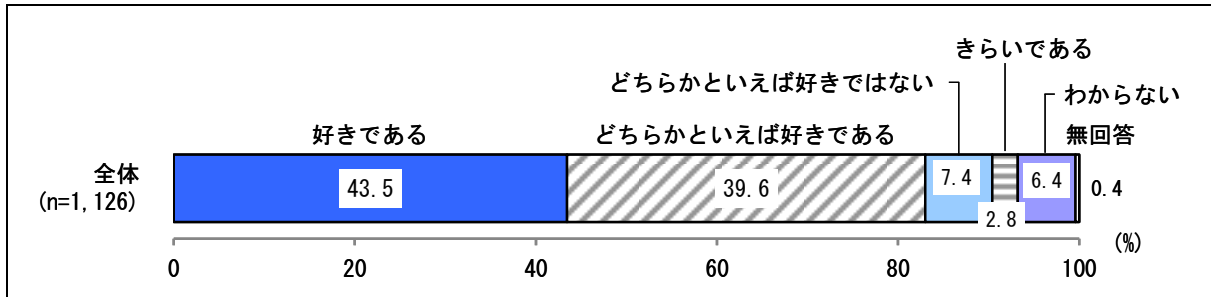
Ⅷ. 地域への愛着について

1 現在住んでいるところの愛着度

問39 あなたは、現在住んでいるところが好きですか。（○は1つ）

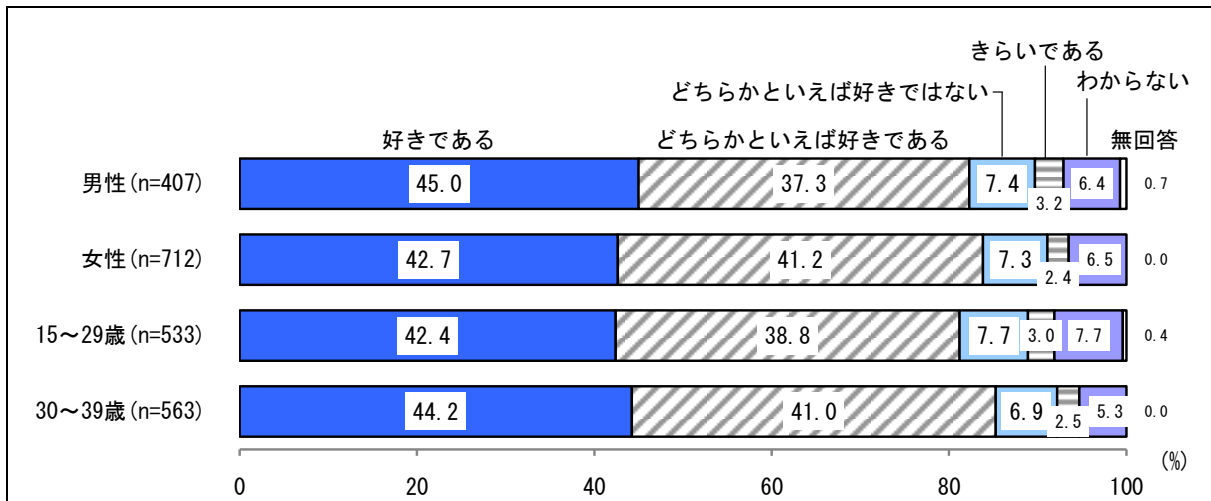
- 現在住んでいるところが好きかについては、「好きである」が43.5%で最も多く、次いで「どちらかといえば好きである」が39.6%で、両者をあわせた83.1%は『好き』だと回答している。一方、「どちらかといえば好きでない」(7.4%)と「きらいである」(2.8%)をあわせると10.2%が『好きではない』と回答している。

・ 現在住んでいるところの愛着度



- 性別でみると、『好き』は男女で大きな差はみられない。
- 年齢別でみると、『好き』は15～29歳（81.2%）より30～39歳（85.2%）のほうが4.0ポイント高くなっている。

・ 性別・年齢別 現在住んでいるところの愛着度

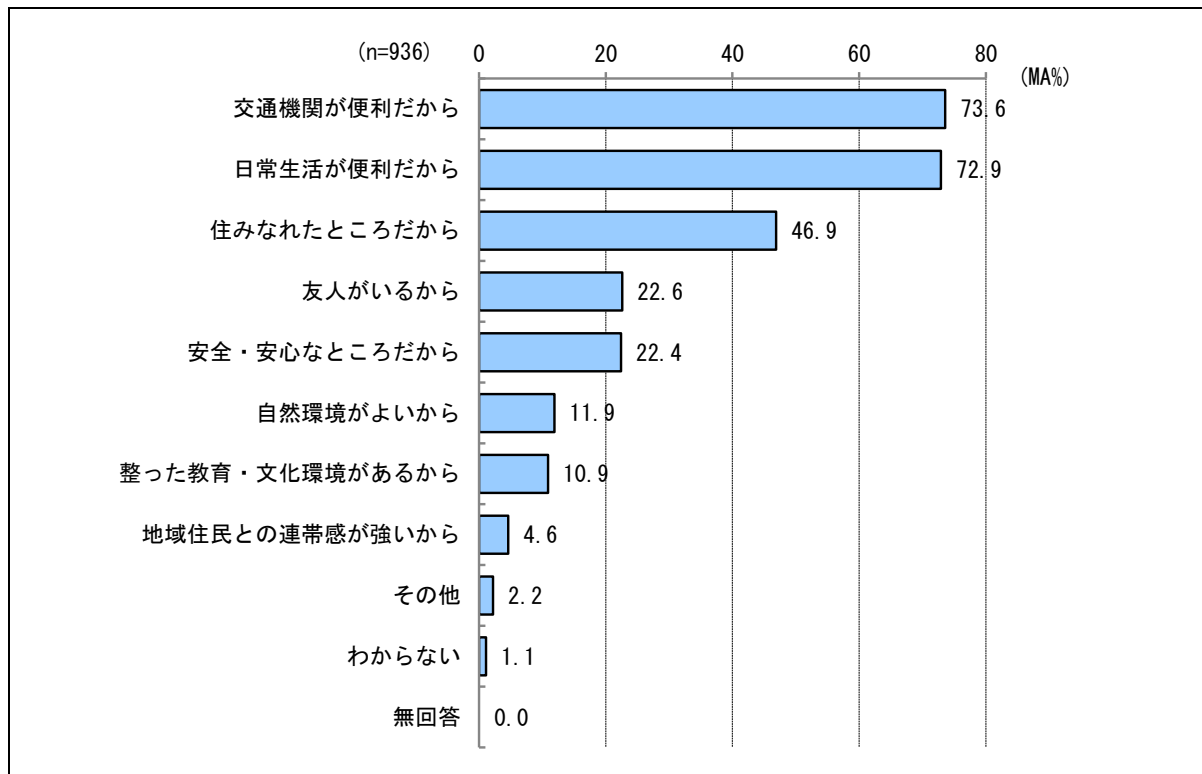


2 現在住んでいるところが好きな理由

問39-1 問39で「1」または「2」を選んだ方におうかがいします。その理由をお答えください。（〇はいくつでも）

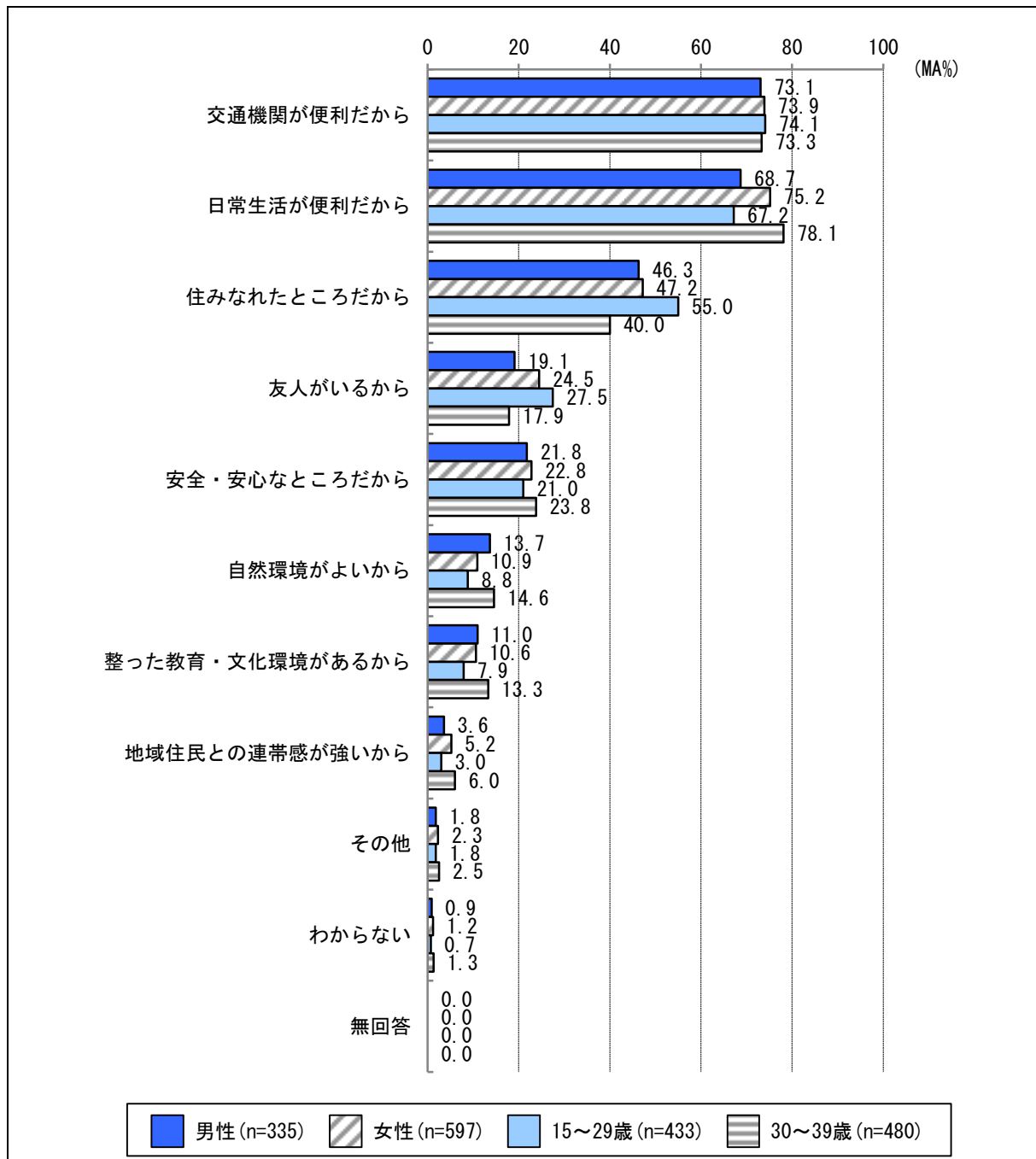
■現在住んでいるところが好きと回答した人に、その理由についてたずねると、「交通機関が便利だから」が73.6%で最も多く、次いで「日常生活が便利だから」が72.9%、「住みなれたところだから」が46.9%となっている。

・現在住んでいるところが好きな理由



- 性別でみると、「日常生活が便利だから」は男性（68.7%）より女性（75.2%）のほうが6.5ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「住みなれたところだから」は30～39歳（40.0%）より15～29歳（55.0%）のほうが15.0ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 現在住んでいるところが好きな理由

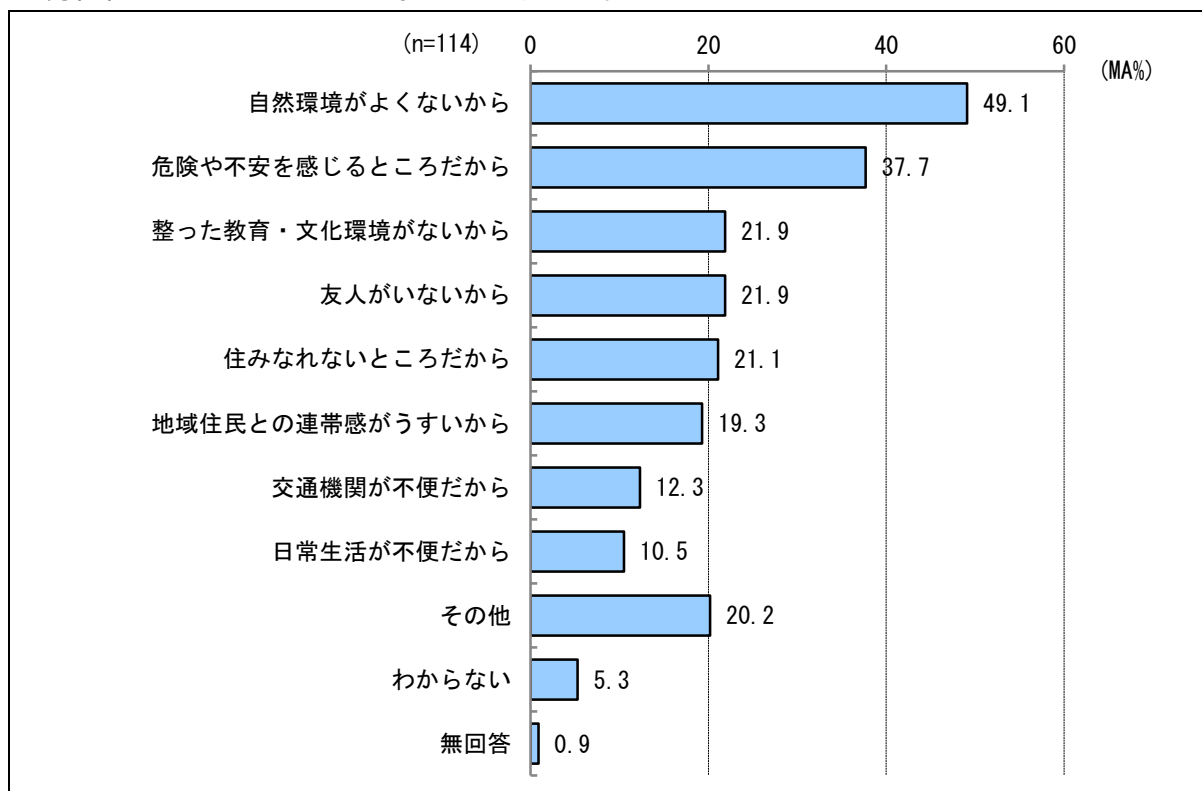


3 現在住んでいるところが好きではない理由

問39-2 問39で「3」または「4」を選んだ方におうかがいします。その理由をお答えください。（〇はいくつでも）

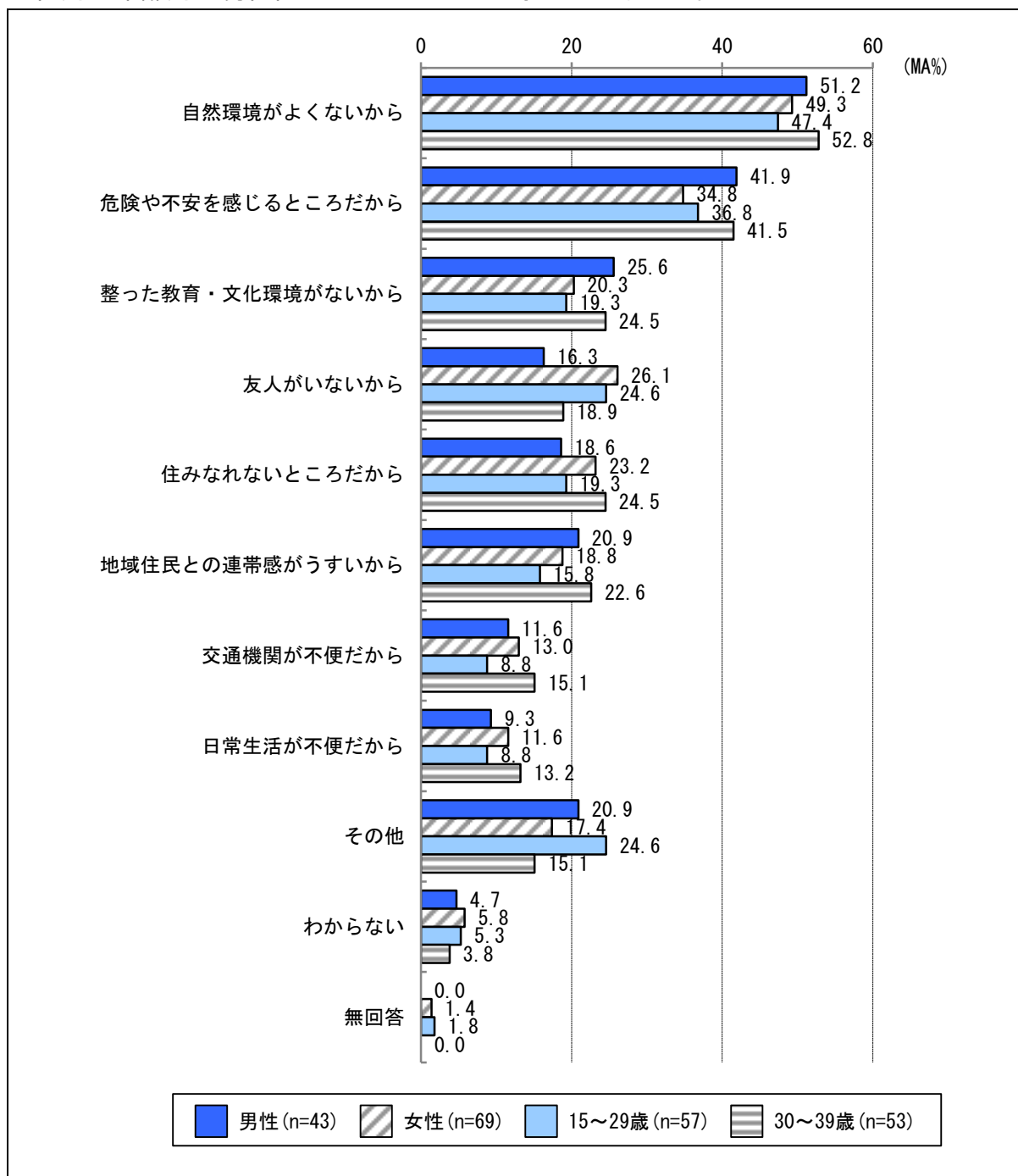
■現在住んでいるところが好きではないと回答した人に、その理由についてたずねると、「自然環境がよくないから」が49.1%で最も多く、次いで「危険や不安を感じるところだから」が37.7%、「整った教育・文化環境がないから」、「友人がいないから」がそれぞれ21.9%となっている。

・現在住んでいるところが好きではない理由



- 性別でみると、「友人がいないから」は男性（16.3%）より女性（26.1%）のほうが9.8ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「地域住民との連帯感がうすいから」は15～29歳（15.8%）より30～39歳（22.6%）のほうが6.8ポイント、「交通機関が不便だから」は15～29歳（8.8%）より30～39歳（15.1%）のほうが6.3ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 現在住んでいるところが好きではない理由

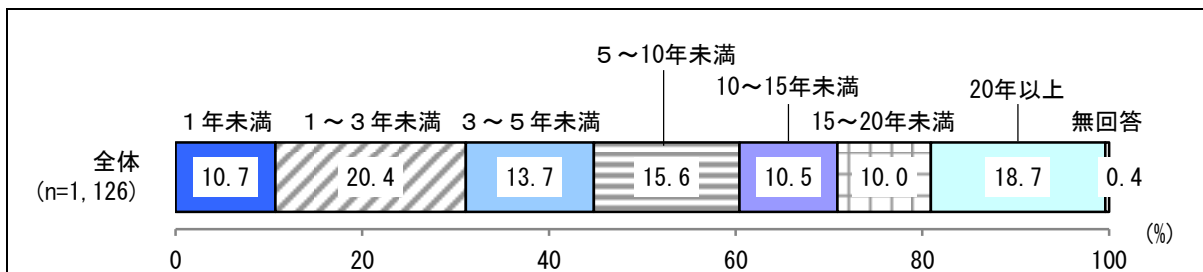


4 居住年数

問40 あなたは、今のところに住みはじめてからどのくらい経ちますか。(○は1つ)

■今のところの居住年数は、「1～3年未満」が20.4%で最も多く、次いで「20年以上」が18.7%、「5～10年未満」が15.6%となっている。

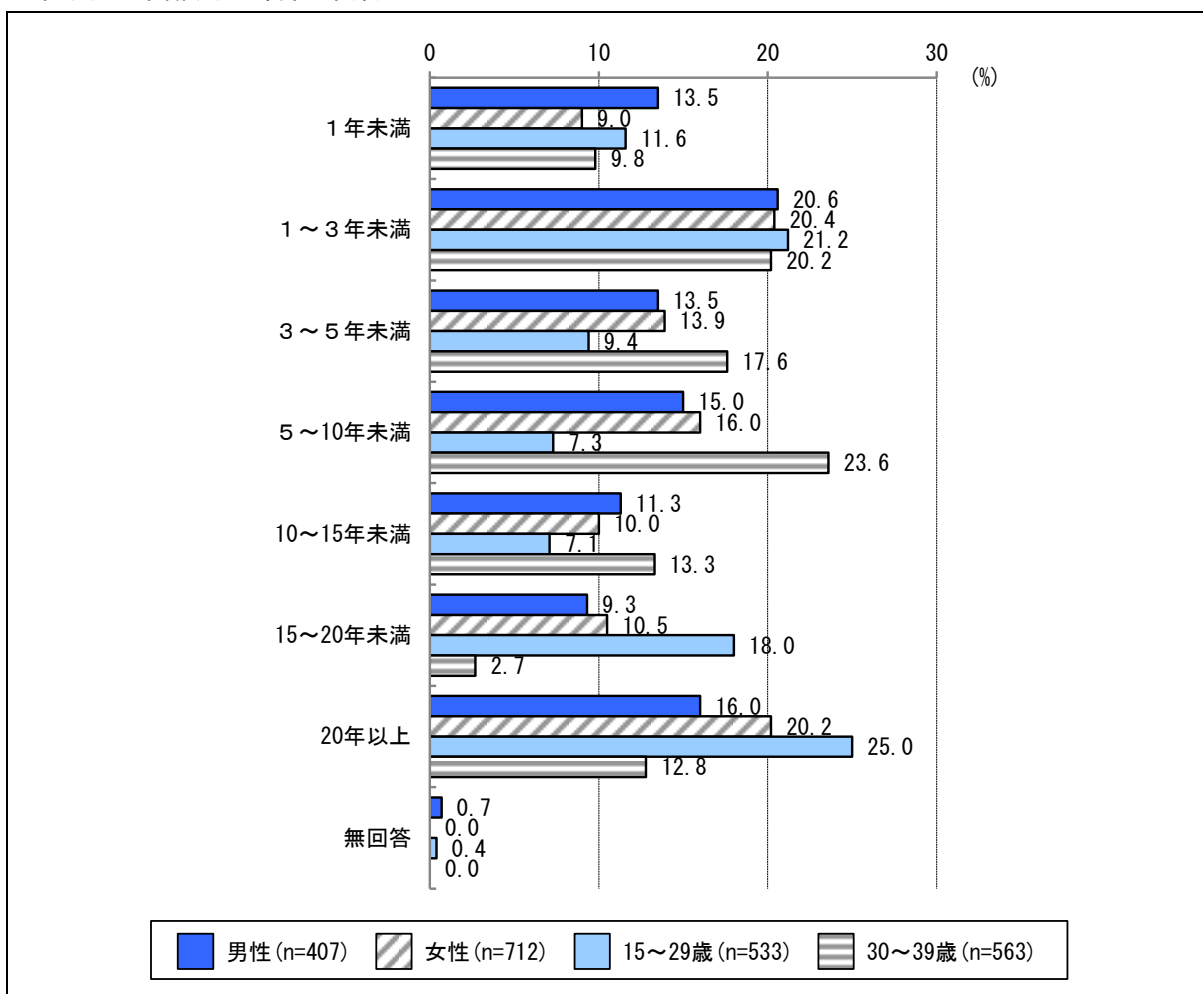
・居住年数



■性別でみると、「20年以上」は男性（16.0%）より女性（20.2%）のほうが4.2ポイント高くなっている。

■年齢別でみると、15～29歳は「20年以上」（25.0%）が最も多く、30～39歳（12.8%）より12.2ポイント高くなっている。30～39歳は「5～10年未満」（23.6%）が最も多くなっている。

・性別・年齢別 居住年数

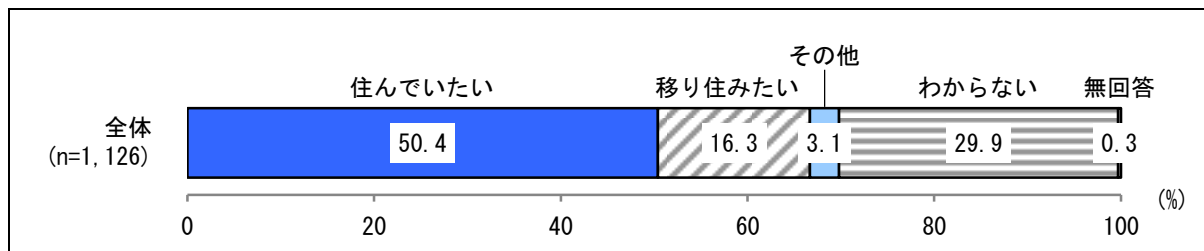


5 大阪市の継続居住意向

問41 あなたは、将来ずっと大阪市に住んでいたいと思いますか。（○は1つ）

■ 将来ずっと大阪市に住んでいたいかについては、「住んでいたい」が50.4%で最も多く、「移り住みたい」は16.3%となっている。

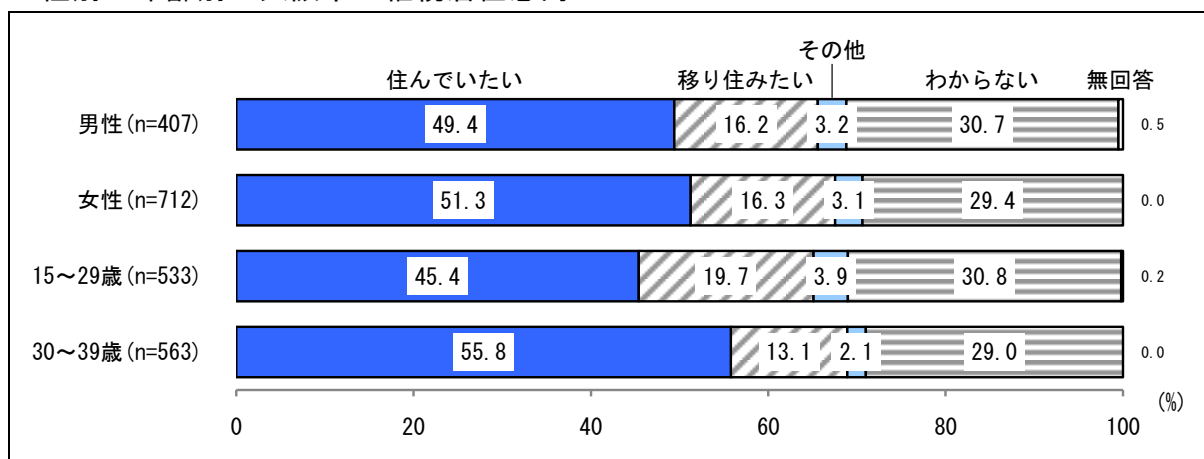
・大阪市の継続居住意向



■ 性別でみても、大きな差はみられない。

■ 年齢別でみると、「住んでいたい」は15～29歳（45.4%）より30～39歳（55.8%）のほうが10.4ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 大阪市の継続居住意向



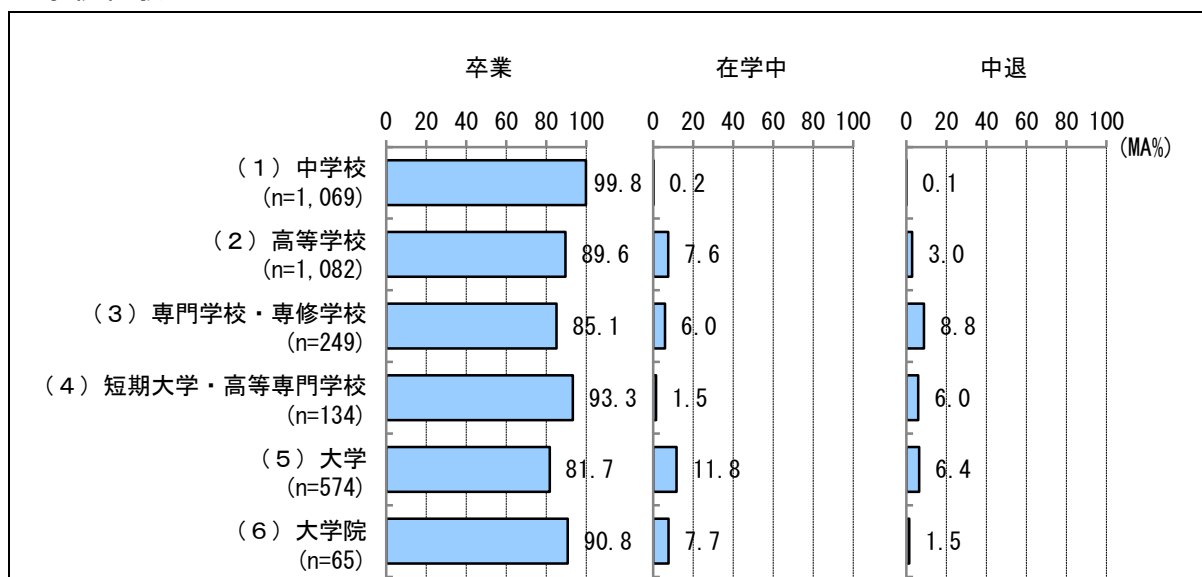
IX. 学校の経験や市の施策について

1 学校経験

問42 あなたの学校の経験について、学校ごとにあてはまる番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

- 学校の経験については、中学校は、「卒業」が99.8%で最も多くとなっている。
- 高等学校は、「卒業」が89.6%で最も多く、次いで「在学中」が7.6%となっている。
- 専門学校・専修学校は、「卒業」が85.1%で最も多く、次いで「中退」が8.8%となっている。
- 短期大学・高等専門学校は、「卒業」が93.3%で最も多く、次いで「中退」が6.0%となっている。
- 大学は、「卒業」が81.7%で最も多く、次いで「在学中」が11.8%、「中退」が6.4%となっている。
- 大学院は、「卒業」が90.8%で最も多く、次いで「在学中」が7.7%となっている。

・学校経験



- 性別でみると、“専門学校・専修学校”の「中退」は女性（6.4％）より男性（14.1％）のほうが7.7ポイント高い。“中学校”、“短期大学・高等専門学校”、“大学”、“大学院”はそれぞれ女性より男性のほうの割合が高くなっている。
- 年齢別でみると、15～29歳の「在学中」は“高等学校”で14.8％、“専門学校・専修学校”で17.4％、“大学”で23.9％となっている。

・性別・年齢別 学校経験

(1) 中学校					(2) 高等学校				
	(MA%)					(MA%)			
	在学中	卒業	中退	無回答		在学中	卒業	中退	無回答
男性(n=384)	-	100.0	-	-	男性(n=391)	8.7	89.0	2.6	-
女性(n=680)	0.3	99.7	0.1	-	女性(n=686)	6.9	90.1	3.2	-
15～29歳(n=507)	0.2	99.6	0.2	-	15～29歳(n=514)	14.8	83.1	2.1	-
30～39歳(n=536)	0.2	100.0	-	-	30～39歳(n=541)	0.2	96.3	3.9	-

(3) 専門学校・専修学校					(4) 短期大学・高等専門学校				
	(MA%)					(MA%)			
	在学中	卒業	中退	無回答		在学中	卒業	中退	無回答
男性(n=78)	7.7	78.2	14.1	-	男性(n=25)	-	100.0	-	-
女性(n=171)	5.3	88.3	6.4	-	女性(n=108)	1.9	91.7	7.4	-
15～29歳(n=86)	17.4	72.1	10.5	-	15～29歳(n=56)	1.8	89.3	8.9	-
30～39歳(n=158)	-	91.8	8.2	-	30～39歳(n=74)	1.4	95.9	4.1	-

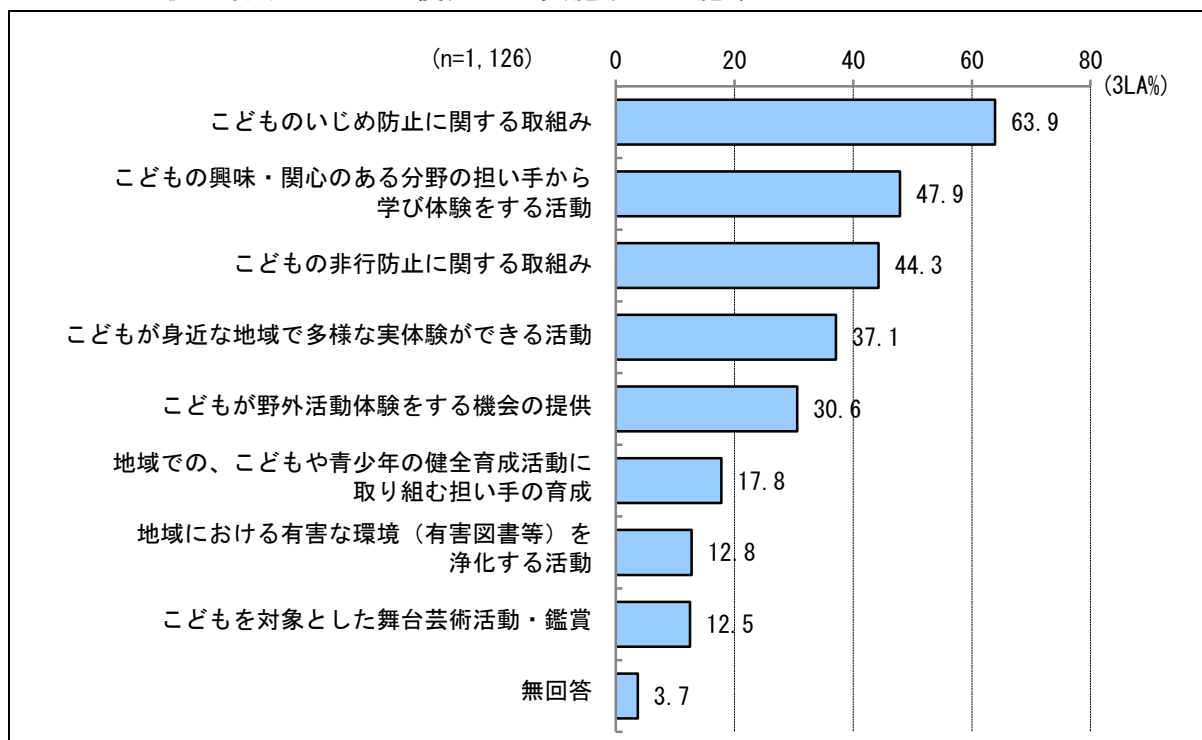
(5) 大学					(6) 大学院				
	(MA%)					(MA%)			
	在学中	卒業	中退	無回答		在学中	卒業	中退	無回答
男性(n=256)	9.4	82.4	8.2	-	男性(n=44)	9.1	90.9	-	-
女性(n=314)	13.7	81.2	5.1	-	女性(n=21)	4.8	90.5	4.8	-
15～29歳(n=280)	23.9	68.2	7.9	-	15～29歳(n=20)	10.0	90.0	-	-
30～39歳(n=283)	-	95.1	4.9	-	30～39歳(n=44)	6.8	90.9	2.3	-

2 こどもの健全育成のために優先して実施すべき施策

問43 こどもの健全育成のために、大阪市が実施している次の施策のうち、優先して実施すべきと思う施策をお答えください。（優先度の高いものから上位3つまでに○）

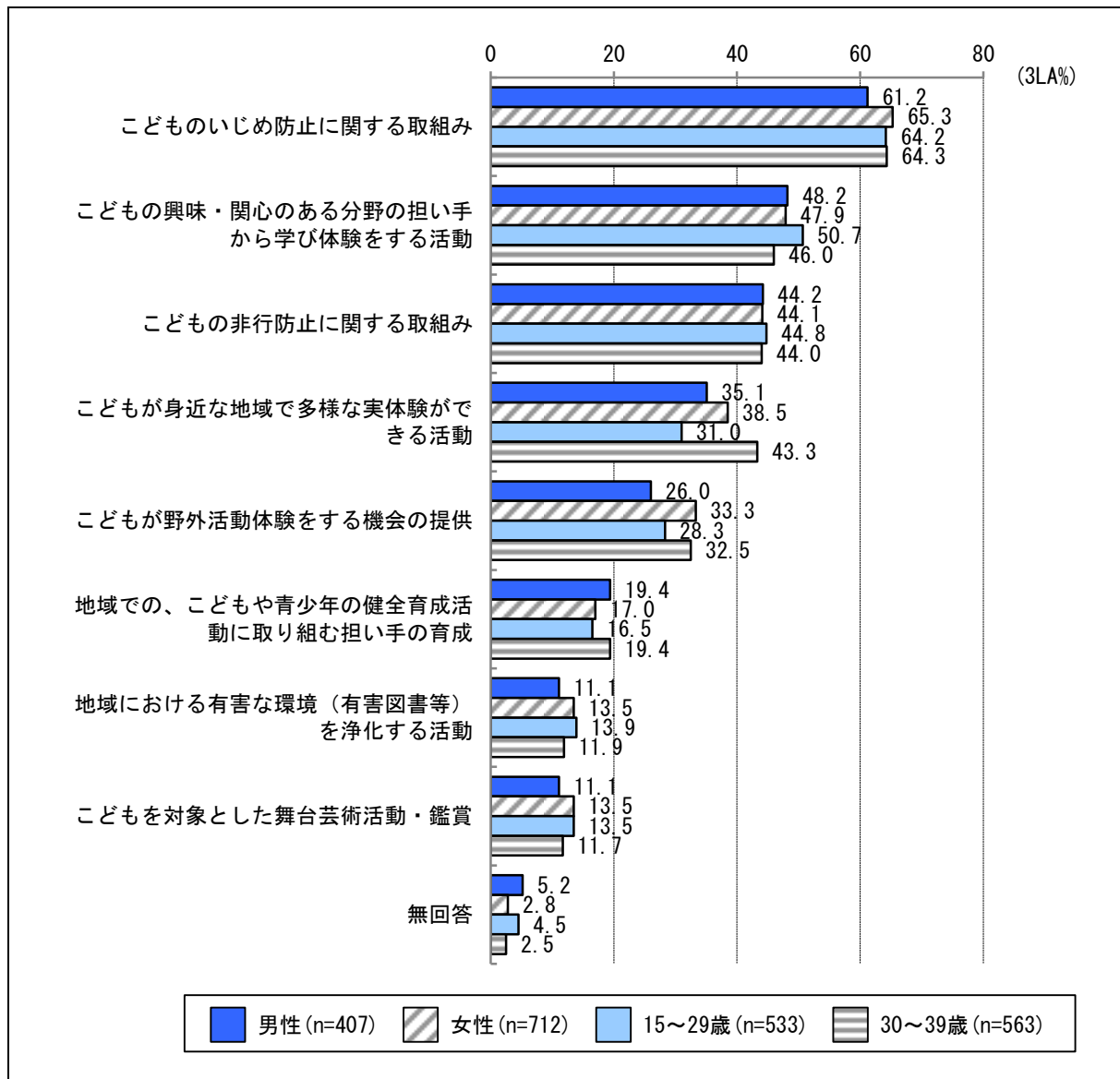
■ こどもの健全育成のために優先して実施すべき施策については、「こどものいじめ防止に関する取組み」が63.9%で最も多く、次いで「こどもの興味・関心のある分野の担い手から学び体験をする活動」が47.9%、「こどもの非行防止に関する取組み」が44.3%となっている。

・ こどもの健全育成のために優先して実施すべき施策



- 性別でみると、「こどもが野外活動体験をする機会の提供」は男性（26.0％）より女性（33.3％）のほうが7.3ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「こどもが身近な地域で多様な実体験ができる活動」は15～29歳（31.0％）より30～39歳（43.3％）のほうが12.3ポイント高くなっている。

・性別・年齢別 こどもの健全育成のために優先して実施すべき施策



大阪市こども・子育て支援に関するニーズ調査
報 告 書

発行 大阪市こども青少年局企画部経理・企画課
〒530-8201 大阪市北区中之島1丁目3番20号
電話 06-6208-8150 FAX 06-6202-7020
